



# 取扱説明書

詳細版

*ARROWS* Tab  
QHシリーズ

# サポート情報のご案内

紙

マニュアル

## 『箱の中身を確認してください』

添付品の一覧です。ご購入後、すぐに添付品が揃っているか確認してください。

## 『取扱説明書』(本書)

使い始めるために必要な情報を中心に説明しています。

お使いの機種により、これ以外にもマニュアルや重要なお知らせなどの紙・冊子類があります。

電子

マニュアル

インターネットに  
接続してください

## 『取扱説明書<詳細版>』

このパソコンの取り扱い方法や、細かい設定を変更する方法などを説明しています。

## 『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

Windows 8.1の基本的な操作や、詳しい操作・便利な使い方などを紹介します。

※お使いの機種により、上記以外の電子マニュアルがWebに用意されている場合があります。  
Webに掲載されている電子マニュアルの参照方法については「マニュアルの表記」をご覧ください。



「富士通アドバイザー」からご覧ください。  
スタート画面のタイルをクリックします。

## 『取扱説明書<詳細版>』

## 『Windows 8.1基本操作クイックガイド』

クリックし、「トラブル解決」の一覧が表示されたら、「Windows 8.1 基本操作クイックガイド」をクリックしてください。



※デスクトップ版「富士通アドバイザー」からもご覧になれます。

FMV

サポート

インターネットに  
接続してください

## サポートページ <http://azby.fmworld.net/support/>

FMVに関するQ&A事例や活用情報など、「知りたい・困った」ときに役立つ情報を提供しています。



さまざまな使い方のご提案  
「パソコン活用情報」

豊富な「Q&A」で  
トラブルを解決!

「富士通アドバイザー」の「サポートページで調べる」からサポートページを開くこともできます。

※デスクトップ版「富士通アドバイザー」では「サポート&サービス情報」タブにリンクがあります。

(この画面は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。)

# 目次

このタブレットをお使いになる前に	4
マニュアルの表記	7
安全上のご注意	10
取り扱い上のご注意	14
タブレットの使用環境についての注意	14
使用上のお願い	14
疲れにくい使い方	15
認定および準拠について	15
各部の名称について	16
<b>1. セットアップする</b>	
セットアップを始める前のチェック	17
セットアップの流れを確認する	17
タブレットの準備をする	18
Windows のセットアップをする	19
タブレットを快適にお使いいただくための準備をする	32
「富士通アドバイザー」の準備をする	32
「はじめに行う設定」で初期設定する	34
<b>2. 各部の名称と働き</b>	
タブレット本体表面	35
タブレット本体裏面	36
<b>3. 取り扱い</b>	
Windows をスタートする／終了する	37
Windows をスタートする	37
Windows を終了する	38
スリープにする／復帰させる	38
スリープにするときの注意	38
スリープにする	38
スリープから復帰する	39
バッテリー	39
バッテリーの充電	39
充電状態や残量の確認	40
タッチ機能	40
タッチ機能をお使いになるうえでの注意事項	40
タッチ機能を使う	41
音量	43
画面の明るさ	43
メモリーカード	44
お使いになるうえでの注意	44
使えるメモリーカード	44
メモリーカードを差し込む／取り出す	45
周辺機器の取り扱い	46
周辺機器の取り扱い上のご注意	46
お手入れ	46
<b>4. 便利な機能のご紹介</b>	
My Cloud	48
MyCloud でできること	48
F-LINK (ケータイ連携機能)	49
F-LINK をお使いになるうえでの注意	49
Skype	50
Skype でできること	50
ステータスパネルスイッチ	50
ステータスパネルスイッチをお使いになるうえでの注意	50
ステータスパネルスイッチの使い方	51
各モードの設定を変更する	51

## 5. バックアップ

バックアップナビ	52
バックアップナビの機能	52
バックアップナビをお使いになるうえでの注意事項	52
マイデータ	53
バックアップ／復元できる項目	53
「マイデータ」の注意事項	53
「マイデータ」のバックアップ／コピー／復元方法	53
パソコンの状態	54
「パソコンの状態」の注意事項	54
「パソコンの状態」をバックアップする場所	54
「パソコンの状態」をバックアップする	54
「パソコンの状態」を復元する	55
「パソコンの状態」のバックアップデータを削除する	56

## 6. 困ったときは

メールや Office で困ったときは	57
ウイルス対策アプリなどで困ったときは	58
マカフィー リブセーフのお問い合わせ先	58
その他のアプリのお問い合わせ先	59
よくあるトラブルと解決方法	61
トラブルが発生した場合、まず次の点を確認してください	61
起動・終了時のトラブル	61
ディスプレイのトラブル	62
ここまでの確認でトラブルが解決しない場合	63
「富士通ハードウェア診断ツール」を使う	63
タブレットを以前の状態に戻す	64
「トラブル解決ナビ」を起動する	64
富士通の窓口にご相談する	66
ユーザー登録のご案内	66
サポート&サービス紹介	67

## 7. ご購入時の状態に戻す

ご購入時の状態に戻すリカバリとは	72
ご購入時の状態に戻すリカバリの準備	72
ご購入時の状態に戻すリカバリの注意	72
作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法	73
ディスクが必要な場合	73
ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する	73
C ドライブを初期状態に戻す	73
Windows のセットアップをする	74

## 8. 使いこなすために

ディスプレイ	75
解像度と発色数についての注意	75
液晶ディスプレイに表示できる解像度と発色数	75
外部ディスプレイやデジタルテレビの接続	75
外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数	77
画面の解像度の変更	79
表示するディスプレイの切り替え	80
画面表示の回転	83
ディスプレイ省電テクノロジー設定	84
サウンド	84
再生時／録音時のサウンドを調節する	84
通信	87
有線 LAN	87
無線 LAN	91
Bluetooth ワイヤレステクノロジー	95
無線通信機能の電波を発信する／停止する	98

スリープ	99
スリープとは	99
スリープにするうえでの注意	99
スリープの設定変更	100
電源プラン	101
タブレットの節電	102
省電力モード	102
バッテリーユーティリティ - 満充電量の設定	102
アプリ	102
Windows ストア アプリ	102
デスクトップアプリ	103
フラッシュメモリディスクの領域について	106
リカバリ領域を削除する	106
リカバリ領域を復元する	106
BIOS の設定	108
BIOS セットアップの操作	108
BIOS のパスワード機能	110
BIOS が表示するメッセージ一覧	113

## 9. 付録

インターネットに接続せずにセットアップしたときは	114
Windows セットアップ時にローカルアカウントを取得する	114
インターネットに接続する	114
Microsoft アカウントに切り替える	116
インターネットを安心してお使いいただくために	116
青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について	116
タブレットの電源を完全に切る	117
廃棄・リサイクルのご案内	117
タブレットの廃棄・譲渡時のフラッシュメモリディスク上のデータ消去に関するご注意	118
富士通パーソナルコンピュータ修理規定	119
文字コードの取り扱いに関する注意	121
環境依存文字の取り扱いについて	121
Windows 8.1、Windows 7 と Windows XP 以前との文字の互換性	122

## 10. 仕様一覧

タブレット本体の主な仕様	124
仕様一覧の注記について	124

# このタブレットをお使いになる前に

## 安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。  
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

## 保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをおとりください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後6年間です。

## 使用許諾契約書（ライセンス条項）

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくことを使用の条件とさせていただいている「ソフトウェアの使用条件」は、本製品内のハードディスクに格納しています。セットアップ時にご同意いただいた後に再度ご覧になりたい場合は、ファイルの検索で「OEMEULA.rtf」を検索してください。ただし、本ソフトウェアのうち、Windows ストア アプリについては、本契約は適用されず、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項が適用されます。なお、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項に加えて、個別の追加条件が適用される場合があります。

## データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。  
データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日ごろからバックアップをとられることをお勧めします）。

## 添付品は大切に保管してください

ディスクやマニュアル等の添付品は、本製品をご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

## 液晶ディスプレイの特性について

- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- ・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります。これは故障ではありません。

## 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。  
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。  
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。  
・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

## 有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1日約8時間、1ヶ月に25日のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液のもれや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品一覧>

液晶ディスプレイ、フラッシュメモリディスク、ACアダプタ

## 消耗品について

一般的にバッテリーパックは、800～1000回の充放電で寿命となります。(温度条件や使用環境によって異なります。)

## 24時間以上の連続使用について

本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっていません。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

## 無線 LAN について

2.4 DS/OF 4

- ・上記表示の2.4GHz帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DSSS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は40mです。
- ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
  - (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  - (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
  - (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。  
連絡先:「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- ・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・タブレット本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し半径25m以内、IEEE 802.11n 準拠では見通し半径50m以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を5チャンネル以上あけてお使いください。
- ・本製品と5GHzの周波数帯を使用する無線 LAN とは、使用している周波数帯域が異なるため、通信できません。ご注意ください。
- ・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。


## Bluetooth® ワイヤレステクノロジーについて

### 2.4 FH1

- ・ 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式として FHSS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 10m です。
- ・ 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
  - (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  - (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
  - (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。  
連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- ・ 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・ タブレット本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し半径 10m 以内（出力 Class2 の最大値）です。ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・ 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。また、バッテリー残量が不十分な場合は、規定の耐力がないため不都合が生じることがあります。

本装置は、VCCI 自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合したマークを画面に表示することができます。表示の操作方法は、「認定および準拠について」(→ P.15) をご覧ください。

本装置は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技適マーク  を画面に表示することができます。表示の操作方法は、「認定および準拠について」(→ P.15) をご覧ください。



## マニュアルの表記

このマニュアルの内容は 2014 年 10 月現在のものです。

お問い合わせ先や URL などが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

### ■本文中での書き分けについて


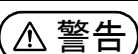
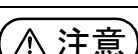
このマニュアルには、複数の機種の内容が含まれています。機種によっては、記載されている機能が搭載されていない場合があります。また、機種により説明が異なる場合は、書き分けています。

お使いの機種に機能が搭載されているかを「各部の名称と働き」、「仕様一覧」、富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/fmv/>) で確認して、機種にあった記載をお読みください。

### ■安全にお使いいただくための絵記号について




このマニュアルでは、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するためのシンボルマークと警告絵文字を使っています。

#### □警告レベルを表すシンボルマーク








 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

#### □危険や障害の内容を表す警告絵文字




△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。

 破裂注意	特定の条件において、破裂する可能性について注意を喚起します。	 高温注意	特定の条件において、高温による傷害の可能性について注意を喚起します。
 レーザー光注意	特定の条件において、レーザー光を直視する危険性について注意を喚起します。	 指のケガ注意	特定の条件において、けがする可能性について注意を喚起します。

⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。

 一般禁止	一般的な禁止行為や禁止事項を示します。	 火気禁止	特定の条件において、外部の火気によって製品の発火する可能性を示します。
 接触禁止	特定の条件において、機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示します。	 水場使用禁止	防水処理のない機器を水場で使用して漏電によって傷害が起こる可能性を示します。
 分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。	 ぬれ手禁止	機器を濡れた手で扱うと、感電する可能性を示します。
 水ぬれ禁止	防水処理のない機器を水がかかる場所で使用または、水に濡らすなどして使用すると、漏電して感電や発火する可能性を示します。		

●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

 <small>アース線を接続せよ</small>	安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続するように指示します。	 <small>プラグを抜け</small>	故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示します。
 <small>一般指示</small>	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。		








## ■危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。

これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

## ■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	以降の手順が分かれることを表しています。
	冊子のマニュアルを表しています。
	「富士通アドバイザー」で見るマニュアルを表しています。参照方法は表紙の裏面をご覧ください。
	CD や DVD などのディスクを表しています。
	参照ページを表しています。

## ■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

## ■操作手順について

このマニュアルでは、連続する操作手順を「▶」でつなげて記述しています。

なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

## ■電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されている AC アダプタの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。マニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。マニュアルでは「コンセント」と表記しています。

## ■タッチ操作について

タッチ操作の場合、クリックと記載されている箇所をタップと読み替えてください（タップとは画面の一点を軽く1回たたく操作です）。

基本的なタッチ操作について詳しくは、『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』をご覧ください。

## ■製品の呼び方

本文中では、製品名称を次のように略して表記することがあります。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 8.1	Windows または Windows 8.1
Windows 8.1 Pro	
Windows 8.1 with Bing	
Windows Internet Explorer 11	Internet Explorer 11 または Internet Explorer
Microsoft Office Personal 2013	Office または Office Personal 2013
Microsoft Office Home and Business 2013	Office または Office Home and Business 2013
Microsoft Word 2013	Word
Microsoft Excel 2013	Excel
Microsoft Outlook 2013	Outlook
Windows Media <sup>®</sup> Player 12	Windows Media Player
Windows Live <sup>®</sup>	Windows Live
Bluetooth <sup>®</sup>	Bluetooth

## ■Webに掲載されている電子マニュアルの参照方法

サポートページ（<http://azby.fmworld.net/support/>）の「機種別サポート情報・ダウンロード」からご覧ください。


## 安全上のご注意


本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。


「安全上のご注意」はインターネット上でも公開しています。  
<http://azby.fmworld.net/support/manual/safety/>  
ACアダプタと電源ケーブルが添付されている場合、ここでは、ACアダプタのケーブルと電源ケーブルを合わせて「電源ケーブル」と表記している箇所があります。  
お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。


## 設置／準備


### 警告


 コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。  
万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながるおそれがあります。


 梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。  
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。


 台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄りしたりしないように載せてください。  
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。


 振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。  
本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。


 本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。  
火災の原因になります。


 矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。  
火災の原因になることがあります。


 本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。  
ケーブルに足を引っかけて、転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

 添付もしくは指定された以外の AC アダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。  
感電、火災の原因になります。

 電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。  
間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。


 電源ケーブルやACアダプタは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。  
不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。


 タコ足配線をしないでください。  
感電、火災の原因になります。


 濡れた手で電源ケーブルや AC アダプタを抜き差ししないでください。  
感電の原因になります。

 ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。  
発熱して、火災の原因になります。

### 注意


 本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。  
感電、火災の原因になることがあります。


 本製品や AC アダプタを直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。  
感電、火災、故障の原因になります。


 本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。  
電源ケーブルや AC アダプタが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。  
・電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。  
・接続されたケーブルなどを外してください。  
・作業は足元に充分注意して行ってください。

## 使用時

### 警告

 火中に投入、加熱しないでください。  
発煙、発火、破裂の原因になります。

 端子をショートさせないでください。  
感電、火災の原因になります。

 発熱や煙、臭気や異音などの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。  
異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



プラグを抜く

落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。感電、火災の原因になります。



一般禁止

本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に載ったり、寄りかかったりしないでください。本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般禁止

排気孔付近や AC アダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。排気孔からの送風に長時間あたらさないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。低温やけどの原因になります。



水電使用禁止

風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。感電、火災の原因になります。



水ぬれ禁止

本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。



一般禁止

使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないようにしてください。通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にはこりを取ってください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。



一般指示

ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。



一般禁止

AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。感電、火災の原因になります。



一般禁止

AC アダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

自転車、バイク、自動車などを運転中に本製品を使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因になります。安全な所に止めてからお使いください。



一般禁止

歩行中に本製品を使用しないでください。駅のホームや道路などで歩きながら本製品を使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因になります。安全な場所で立ち止まってからお使いください。

バッテリーパックや電池を取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- 液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。
- 指定された方法以外で使用しない
- 分解や改造をしない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- 熱器具に近づけない
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
- 先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えない
- ショートさせない
- 端子部分をめらしたり、水の中に入れてたりしない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに携帯、保管しない
- お子様の手の届く所に保管しない
- 乾電池を充電しない
- ハンダ付けしない

特に、バッテリーパックは、落下などの衝撃による内部の電池や回路基板の損傷によって発熱・発火し、けがの原因になったり、破裂・液もれによる周囲の汚損の原因になることがあります。バッテリーパックに衝撃を与えた場合、あるいは外観に明らかな変形や破損が見られる場合には、使用をやめてください。



一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタが傷ついている場合は使用しないでください。感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。感電、火災の原因になります。



一般禁止

ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。感電、火災の原因になります。



一般禁止

AC アダプタ本体にケーブル類をきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。ケーブル類の芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。

### 無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー、NFC ポート、CLEARSURE、ワイヤレスキーボード/マウスの注意

次の場所では、無線通信機能を停止してください。「ワイヤレススイッチ自動オン機能」対応の CLEARSURE 搭載機種の場合は、自動的に無線通信機能がオンにならないようにしてください。

無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- ・病院内や医療用電子機器のある場所  
特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- ・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- ・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- ・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
- ・満員電車の中など付近（15cm(NFCポートは12cm)）に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所



一般指示

### 本製品は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

・光源部を見ないでください。  
光学ドライブのレーザー光の光源部を直接見ないでください。

また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。

レーザー光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。

・お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。

レーザー光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。



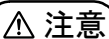
レーザー光 注意

### レーザーマウスは底面から、目に見えないレーザー光が出ています。

クラス 1 レーザー製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。



レーザー光 注意



注意

### 本製品の上に重いものを置かないでください。

けがの原因となることがあります。



一般禁止

### 本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 ~ 15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。

・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。  
・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。

・キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。



一般指示

### 液晶ディスプレイを開閉するとき、手などをはさまないように注意してください。

けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



指のケガに 注意



指のケガに 注意

光学ドライブのトレーやスロット、コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。ディスクなどをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れないでください。

けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般禁止

### ヘッドホン・イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因になります。



一般指示

### 電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。

ヘッドホン・イヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因になります。



高温注意

### 「ExpressCard™」、「PC カード」、「SD メモリーカード」、「メモリスティック」、「UIM カード」の使用終了直後は、高温になっていることがあります。

これらを取り外すときは、使用後十分に温度が下がるのを待ってから取り出してください。  
やけどの原因になります。



一般禁止

### マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザー光が出ています。

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

## メンテナンス／増設



警告



分解禁止

### お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。

けが、感電、火災の原因になります。  
修理や点検などが必要な場合は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

### 取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お客様の手の届く所に置かないでください。

誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



一般禁止

### 清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

故障や火災の原因になります。



一般禁止

### 本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。

取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、弊社問い合わせ窓口にご相談ください。



一般指示

### 必ず本製品に添付のバッテリーパックを使用してください。寿命などでバッテリーパックを交換する場合は、必ず指定品を使用してください。

指定以外のバッテリーパックは、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発熱のおそれがあります。



指定以外の電池は使用しないでください。  
また、2 本以上セットする場合は、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。  
電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因になります。



電源ケーブルや AC アダプタはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。  
ほこりがたまつたままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1 年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。



内蔵オプションや周辺機器の取り付け/取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。  
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも外してください。  
故障、感電、火災の原因になります。



周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。  
誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。

### 注意



周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。  
けが、故障の原因になります。

## 異常時

### 警告



本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。  
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。  
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。  
落雷の可能性のある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。  
落雷による故障、感電、火災の原因になります。



タッチパネルのガラスにヒビ、傷などがあつた場合は、すみやかにご使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。  
そのまま使用するとけがをするおそれがあります。



バッテリーパックや電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。  
失明など障害の原因になります。  
液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

### 注意



カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。  
破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。  
中毒を起こすおそれがあります。  
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

## 保管/廃棄

### 警告



バッテリーパックの廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。  
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。  
バッテリーパックはリチウムイオン電池を使用しており、一般のゴミといっしょに火中に投げられると破裂のおそれがあります。

### 注意



本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜いてください。  
バッテリーパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。  
火災の原因になります。



本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。  
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。  
本製品はリチウム電池を使用しております。  
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには、乾電池、充電電池を使用しております。  
一般のゴミといっしょに火中に投げられると電池が破裂するおそれがあります。  
使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

## 取り扱い上のご注意

### タブレットの使用環境についての注意

タブレットは精密機器です。使用環境に注意してご利用ください。取り扱い方法を誤ると故障や機能低下、破損の原因となります。

内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

#### ・タブレットをお使いになる環境の温度と湿度

次の範囲内としてください。

・動作時：温度 5～35℃／湿度 20～80%RH

・非動作時：温度 -10～60℃／湿度 20～80%RH

#### ・タブレットの結露

動作時、非動作時にかかわらず、タブレット本体が結露しないようにご注意ください。

結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。タブレットを温度の低い場所から温度の高い場所、または、温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、タブレット内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したままタブレットを使用すると故障の原因となります。

タブレットを移動したときは、直射日光が当たらない風通りの良い場所に設置し、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

#### ・タブレットをお使いになれない場所

##### ・直射日光のあたる場所

感電、火災、破損や故障の原因となります。

##### ・水など液体のかかる場所

タブレット内部の回路がショートして、壊れてしまうことがあります。

##### ・ほこりの多い場所や、油を使用する場所

故障の原因となります。

##### ・熱がこもりやすい場所（ふとんやクッションの上など）

放熱が妨げられ、故障の原因となります。

##### ・静電気の発生しやすい場所

タブレットは、静電気に対して弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。使用する前には、アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。

##### ・電磁波の影響を受けやすいもの（テレビやラジオなど）や、磁気を発生するもの（モーターやスピーカーなど）に近い場所

故障や機能低下の原因となります。

##### ・腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所

タブレット本体が腐食する可能性があります。

#### ・無線通信機能をお使いになる場所

・タブレット本体に搭載されている無線通信機能をお使いになるときは、できるだけ見通しの良い場所でお使いください。電子レンジの近く、アマチュア無線機の近くや足元など見通しの悪い場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、接続が正常に行えないことがあります。

・お使いになる場所によっては電波を停止する必要があります（「安全上のご注意」▶「無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー、NFC ポート、CLEARSURE、ワイヤレスキーボード/マウスの注意」（→ P.12））。機内モードに切り替えて電波の発信を止めてください。

手順については、サポートページから Q&A ナンバー「5909-9593」を検索してご覧ください。

### 使用上のお願ひ

#### ■タブレット本体の取り扱い上の注意

- ・衝撃や振動を与えないでください。
- ・操作に必要な力を超えたり、必要以上の力を加えたりしないでください。
- ・磁気プレスレットや磁気ネックレスなど、磁気を発生するものを身につけたまま、操作しないでください。画面が表示されなくなるなどの故障の原因となる可能性があります。
- ・水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。故障の原因になる可能性があります。
- ・タブレット本体を立てたり、傾けて置かないでください。タブレット本体が倒れて、故障の原因となることがあります。
- ・タブレット本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。
- ・タブレットを投げ付けたり、不安定な姿勢で使用したりしないでください。落下などにより、けがや故障の原因となります。

#### ■タブレットの温度上昇に関して

- ・長時間使用すると、タブレット表面の温度が上昇して、温かく感じるがありますが、故障ではありません。これは、タブレット内部の温度が一定以上になると、装置全体から放熱するためです。
- ・タブレットの表面、裏面は熱くなります。長時間触れたままにすると、低温やけどの原因になります。

#### ■タブレットを持ち運ぶ場合の注意

- ・タブレット本体を持ち上げたり移動させたりするときは、落としたりしないように、タブレット本体をしっかりと掴んでください。
- ・タブレット本体や AC アダプタを運ぶ場合は、ぶつけたり落としたりしないでください。かばんなどに入れて衝撃や振動から保護してください。
- ・タブレット本体をかばんなどに入れて持ち運ぶ場合には、次の点に注意してください。
  - ・タブレット本体に無理な力がかかったり、強い衝撃が伝わったりしないように、かばんなどに入れてください。
  - ・AC アダプタをいっしょに入れて持ち運ぶと、AC アダプタでタブレット本体を傷つけたり、破損したりするおそれがあります。
  - ・液晶ディスプレイの傷や破損にご注意ください。



- ・タブレット本体を自動車内に設置した状態での使用は、保証しておりません。
- ・自転車やバイクのカゴなどに載せて運ばないでください。衝撃や振動により故障するおそれがあります。また、落下などにより、けがや故障の原因となります。

### ■液晶ディスプレイの取り扱い上の注意

- ・液晶ディスプレイをたたいたり強く押ししたりしないでください。また、ひっかいたり先のとがったもので押ししたりしないでください。
- ・表示面・裏面にかかわらず、液晶ディスプレイに強い圧力が加わると、画面にムラが発生する場合があります。
- ・液晶ディスプレイにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。

### ■雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、タブレットの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでタブレット本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。

安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

ただし、どのような避雷器をお使いになってもタブレット本体を保護できない場合があります。あらかじめご了承ください。

#### □落雷について

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類あります。直撃雷と誘導雷のどちらでも避雷器で保護できない可能性があります。

##### ・直撃雷

避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できます。

ただし、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもタブレット本体を保護できないことがあります。

##### ・誘導雷

タブレットの故障は主に誘導雷によって起こります。

雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。タブレットの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LANケーブルなどから誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

#### □落雷時の故障について

落雷によるタブレット本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。

故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

また、場合によっては、落雷によってタブレット本体だけでなく周辺機器などが故障することもあります。

## 疲れにくい使い方

タブレットを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。タブレットをお使いになるときは姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。

- ・次のようにして、画面の向きや角度を調節しましょう。
  - ・直射日光があたらないようにする
  - ・外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないようにする
- ・画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調節しましょう。
- ・目と画面との距離をとり、疲れにくい位置を保って利用しましょう。
- ・1時間以上続けて作業しないようにしましょう。
  - ・続けて作業をする場合には、1時間に10～15分程度の休憩時間をとりましょう。
  - ・休憩時間までの間に1～2分程度の小休止を1～2回取り入れましょう。

## 認定および準拠について

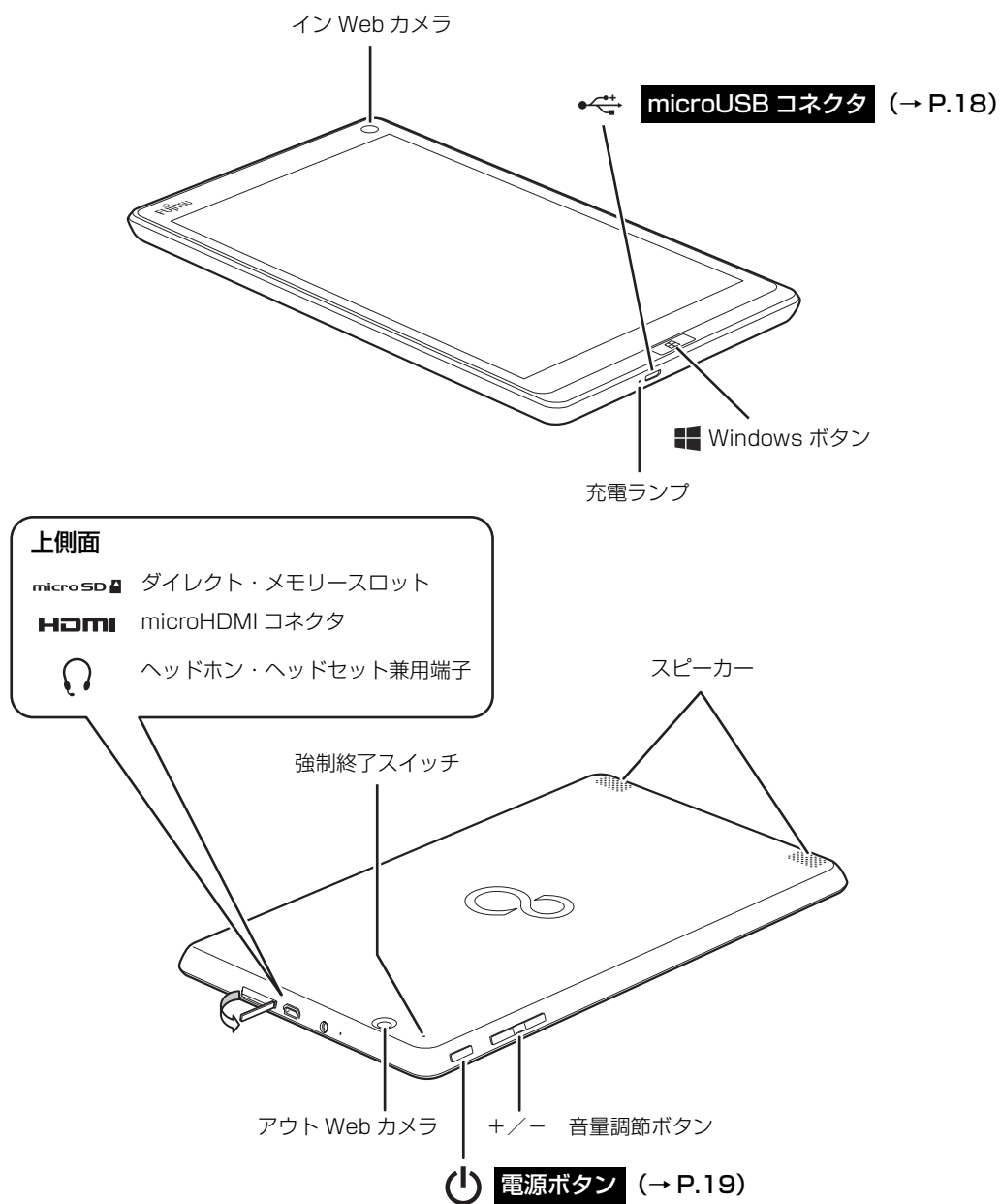
このタブレットに固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、次の手順で表示される画面で確認できます。

1 BIOS セットアップを起動します。

2 「情報」(「Info」)メニューから「認証表示」(「Display Regulatory Compliance」)を選択します。  
BIOS セットアップについて、詳しくは「BIOS の設定」(→P.108)をご覧ください。

## 各部の名称について

このタブレットの各部の名称は次のとおりです。




### Point

- ▶ ダイレクト・メモリスロットを使うときはカバーを開けます。カバーを開閉するときは、強く引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
- ▶ 各部の動きなど詳しくは、「各部の名称と動き」(→ P.35) をご覧ください。

## セッアップを始める前のチェック

セッアップの準備が整っているか確認してください。

□添付品の確認は済んでいますか？

→まだの場合は、『箱の中身を確認してください』をご覧ください。

□タブレットを使用する場所は決まっていますか？

→使用場所については、「タブレットの使用環境についての注意」(→ P.14)をご覧ください。

□インターネットに接続する準備ができていますか？

→できていない場合は、プロバイダーと契約してください。

□ワイヤレス(無線 LAN)で接続するため、ネットワーク名(SSID)とパスワードが必要です！  
→セッアップの途中で必要になりますので、あらかじめ記載しておいてください。

※わからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。  
パスワードはセキュリティキーなどの名称で説明されていることもあります。



ネットワーク名 (SSID)

パスワード

## セッアップの流れを確認する

タブレットの準備をする (→ P.18)



Windows のセッアップをする (→ P.19)

Windows のセッアップをする



Windows を終了する



タブレットを快適にお使いいただくための準備をする (→ P.32)

●セッアップ前に周辺機器を接続しないでください  
メモリーカードなどは、「Windows のセッアップをする」が終わるまで接続しないでください。

●必ず AC アダプタを接続してください  
途中でバッテリー残量がなくなると電源が切れてしまい、故障の原因になる場合があります。

所要時間は約 30 分～ 1 時間です。

●このあいだは絶対に電源を切らないでください  
途中で電源を切ると、故障の原因になる場合があります。

●時間に余裕をもって作業してください

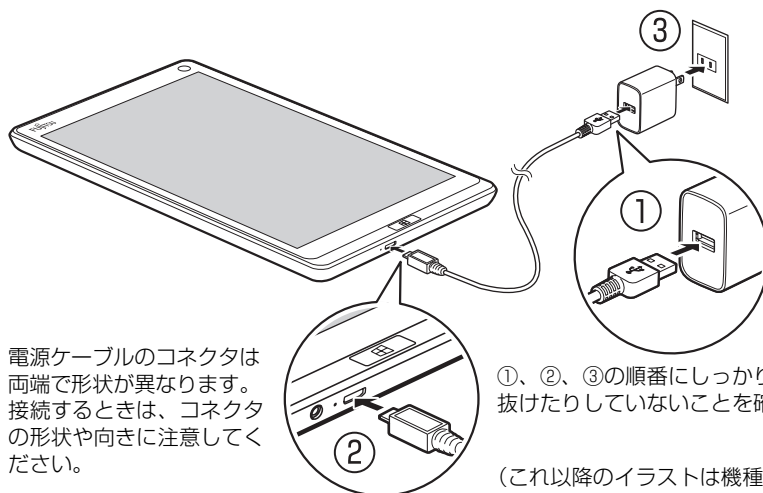
# タブレットの準備をする

## 重要

▶ 電源を入れる前に必ず AC アダプタを接続してください。

## 1 タブレットを電源に接続します。

- ① AC アダプタに電源ケーブルを接続します。
- ② タブレット本体側面のmicroUSBコネクタ(→P.16)に電源ケーブルを接続します。
- ③ AC アダプタ (電源プラグ) をコンセントに接続します。



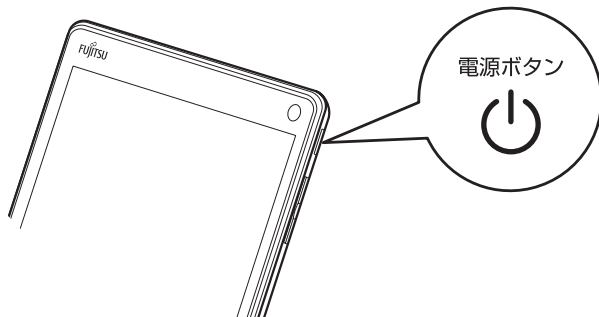
## 重要

- ▶ 添付の電源ケーブルは本製品専用です。上記のイラストのように、タブレット本体を画面が見える向きにしたときに、microUSB プラグの USB の刻印が下側に向くように接続してください。接続できない場合は、無理に力を加えず、刻印のある面が下になっているか、もう一度確認してください。
- ▶ 充電する場合、必ず、添付の電源ケーブルと AC アダプタをお使いください。

## Windows のセットアップをする

- 1 無線 LAN をお使いになる場合、接続するネットワーク名 (SSID) とパスワードを確認します (→ P.17)。
- 

- 2 電源ボタン (⏻) を 2 秒ほど押し続けます。



### **重要**


- ▶ 「地域と言語」画面が表示されるまで絶対に電源を切らないでください。

### 3 「地域と言語」画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。



画面が何度か変化します。

#### Point

- ▶ しばらく操作をしないと省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがありますが、電源が切れたわけではありません。Windows ボタン  を押すと元の画面に戻ります。画面が戻らなかった場合は、電源ボタン (⏻) をポチッと押してください。

### 4 「地域と言語」画面が表示されたら、「次へ」をタップします。

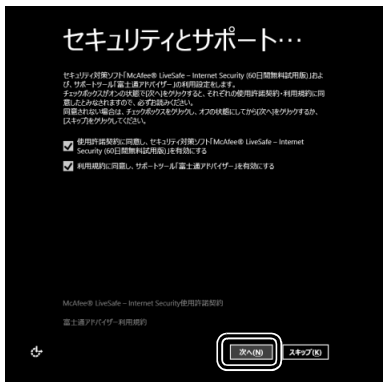


(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

# 5 「ライセンス条項」をよく読みます。読み終わったら「同意します」をタップします。



# 6 セキュリティとサポート機能についての説明をよく読んで、「次へ」をタップします。



## 7 タブレットに好きな名前（PC 名）を付けます。



### ① PC 名を入力します。

タッチキーボードを使用します。入力する場所をタップすると、画面上にタッチキーボードが表示されます。

例：「fmv1」という名前にする場合は、タッチキーボードで「f」、「m」、「v」とタップし、「123」をタップして英字キーと、記号キー／数字キーの画面を切り替えて「1」をタップします。

### ② 「次へ」をタップします。

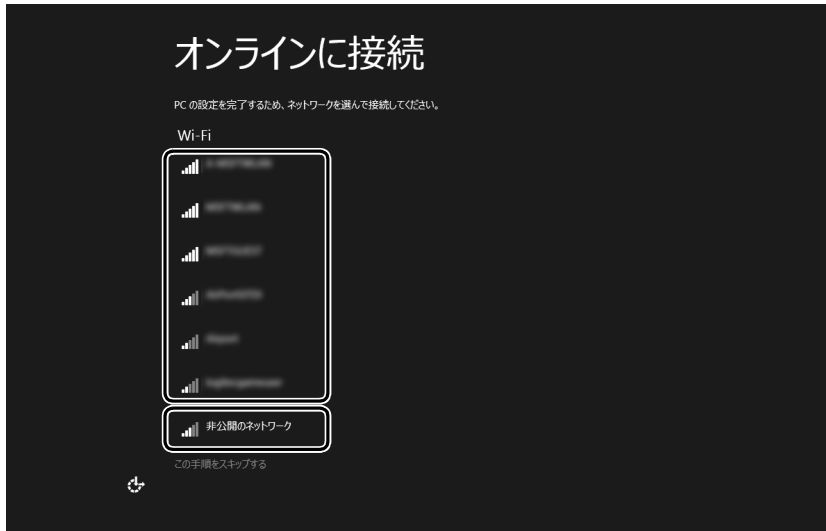
#### **P**oint

- ▶ PC 名は、12 文字以内の半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) で好きな名前を入力してください。数字を使う場合は英字と組み合わせてください。



## 8 「セットアップを始める前のチェック」(→ P.17) で記入したネットワーク名 (SSID) をタップします。

わからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



### Point

- ▶ セキュリティのためネットワーク名 (SSID) が表示されないように設定している場合は、「非公開のネットワーク」をタップし、画面の表示に従って操作してください。

## 9 このネットワークのパスワードを入力します。



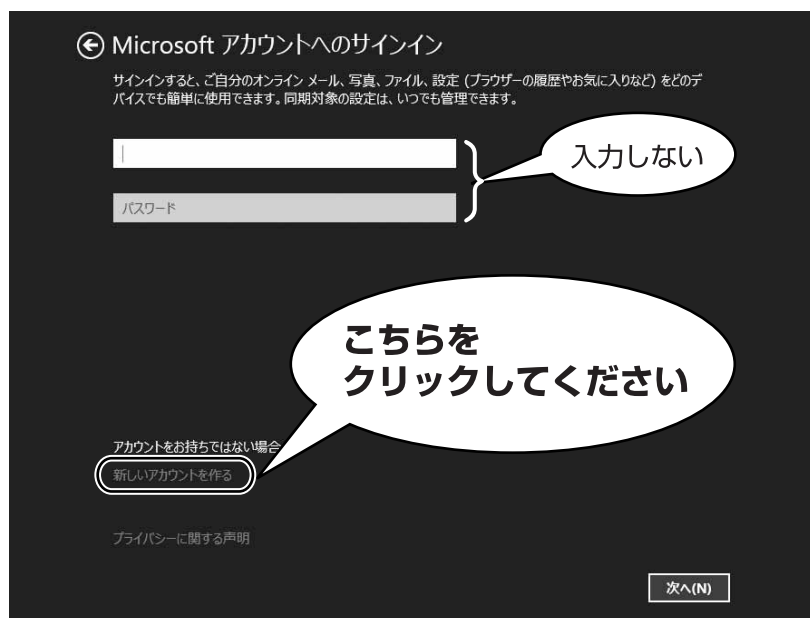
- ① 「セットアップを始める前のチェック」(→P.17) で記入したパスワードを入力します。「ルーターのボタンを押しても接続できます。」と表示されていたら、無線LANアクセスポイント (ルーター) のボタンを押して接続できる場合があります。詳しくは、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- ② 「次へ」をタップします。

## 10 「簡単設定を使う」をタップします。



# 11 「新しいアカウントを作る」をタップします。

タブレットへサインインするための Microsoft アカウント（メールアドレス）を新規作成します。



## Point

- ▶ 右のような画面が表示された場合は、「インターネットに接続せずにセットアップしたときは」（→ P.114）の手順に従って、セットアップを続けてください。



## アカウント取得についてのお問い合わせ

手順 11 ~ 17 の Microsoft アカウントを取得する操作については、日本マイクロソフト株式会社のサーバーにインターネットで接続して行っています。本書と異なる画面が表示された場合など、ご不明な点は日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

### 日本マイクロソフト株式会社 パーソナルサポート窓口

※お電話で問い合わせると、「マイクロソフト コミュニティ」のご利用を案内される場合があります。

電話番号：0120-54-2244

受付時間：月～金 / 9:30-12:00、13:00-19:00（土・日・祝祭日および指定休業日を除く）

マイクロソフト コミュニティ

URL：<http://answers.microsoft.com/ja-jp/>

## 12 新しくメールアドレスを作ります。

Microsoft アカウントの作成

普段使っているメール アドレスを利用できます。Xbox Live、Outlook.com、Windows Phone、または OneDrive を既にお使いの場合は、ここでそのアカウントを使うと、あらゆる情報をこの PC で利用できるようになります。

姓 (例: 田中)

名 (例: 太郎)

メールアドレス   
outlook.jp  
普段使っているメールを使う

パスワードの作成

パスワードの再入力

国/地域

Microsoft アカウントを使わずにサインインする

次へ(N)

① 姓・名を入力します。  
② メールアドレスとして使いたい文字列を入力します。  
③ パスワードを設定します。下段には設定したパスワードを再度入力してください。  
④ 「次へ」をタップします。

① 姓・名を入力します。

② メールアドレスとして使いたい文字列を入力します。

半角英数字 (a ~ z、A ~ Z、0 ~ 9) およびピリオド (.)、ハイフン (-)、下線 (\_) のみ使用できます。

③ パスワードを設定します。下段には設定したパスワードを再度入力してください。

【パスワードの作成例】

半角英字

半角数字

半角記号

ab1-c23d4

8文字以上

安全性を高めるため、8文字以上で、半角英数字 (a ~ z、A ~ Z、0 ~ 9) および半角記号を組み合わせて作成してください。

※ 例とまったく同じ文字をパスワードとして使わないでください。

④ 「次へ」をタップします。

## 13 次の欄に手順12で作ったメールアドレスとパスワードを記入します。

メールアドレス (Microsoft アカウント)

パスワード

@

パスワードは絶対に忘れないようにしてください。  
サインインのときに毎回入力が必要です。

※参照しやすいよう本書の巻末にも記入欄を用意しています。  
※第三者に漏れないように十分に注意して管理してください。

# 14 パスワードを忘れた場合のセキュリティ情報を入力します。

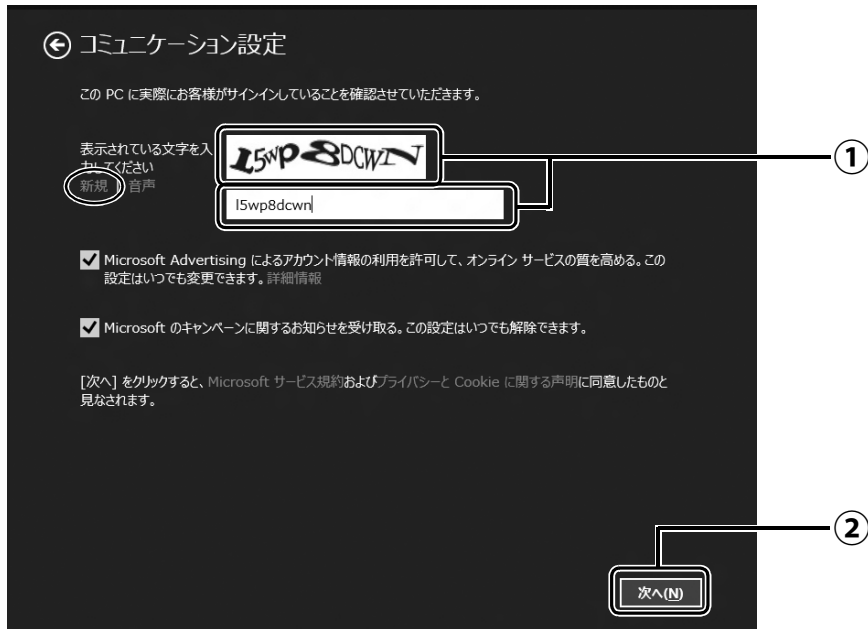
ここで入力した情報で、パスワードを再設定することができます。

「電話番号」と「連絡用メールアドレス」のどちらか1つは必ず入力してください。

The screenshot shows a dark-themed interface titled "セキュリティ情報の追加" (Add Security Information). Below the title is a note: "この情報は、アカウントをより安全に保ちながら、パスワードを復元できるようにする目的でのみ使用されます。" (This information is used only for the purpose of restoring your password while keeping your account safer). The form contains five fields: "生年月日" (Date of Birth) with three dropdown menus, "性別" (Gender) with a dropdown menu showing "男" (Male), "国コード" (Country Code) with a dropdown menu showing "日本 (+81)", "電話番号" (Phone Number) with a text input field and an "X" icon, and "連絡用メールアドレス" (Contact Email Address) with a text input field. At the bottom right is a button labeled "次へ(N)" (Next (N)). Numbered callouts 1 through 5 point to the date dropdowns, the gender dropdown, the phone number field, the email address field, and the "Next" button, respectively.

- ①  をタップし、生年月日を選択します。
- ② 性別を選択します。
- ③ 電話番号を入力します。固定電話と携帯電話（スマートフォンを含む）、どちらの番号も使用できます。  
本人確認をするときに必要になります。すぐに対応できる電話番号を入力してください。
- ④ 以前から使用しているメールアドレスを入力します（携帯電話およびスマートフォンのメールアドレスを除く）。  
本人確認をするときに必要になります。すぐに対応できるメールアドレスを入力してください。
- ⑤ 「次へ」をタップします。

# 15 最終設定を行います。

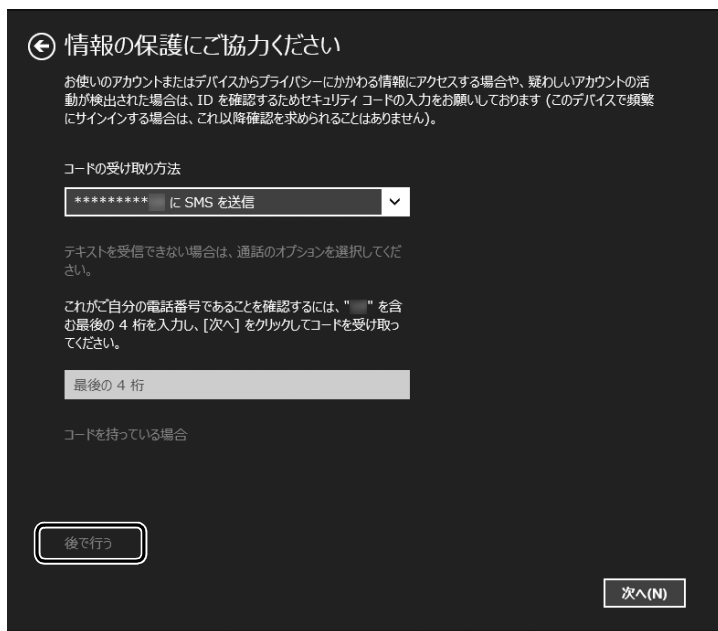


- ① 画面に表示されている文字を入力します。  
文字が読めない場合は「新規」をタップします。新しい文字が表示されます。
- ② 「次へ」をタップします。

## Point

- ▶ 文字の入力を失敗した場合、「入力した文字が画面の文字と一致しません」というメッセージが表示され、新しい文字が表示されます。表示されている文字を再度入力してください。
- ▶ セキュリティ情報の入力に間違いがあった場合は、手順 14 に戻ります。入力内容を修正した後、手順 15 をやり直しになります。

## 16 「後で行う」をタップします。



### Point

- ▶ 「コードの受け取り方法」を選択し、電話番号の最後の 4 桁がメールアドレスを入力して、「次へ」をタップした場合は、右の画面が表示され、選択した方法でコードが送られてきます。

送られてきたコードを入力し、「次へ」をタップします。

電話が聞き取れなかったり、メールが受信できなかったりした場合は、②をタップして手順 14 へ戻り、その場で対応できる電話番号またはメールアドレスに変更し、やり直してください。



# 17 OneDrive の説明が表示された場合は、「次へ」をタップします。

画面が何度か変化します。

スタート画面が表示されるまでお待ちください。



画面が何度か変化します



(スタート画面)



## 18 Windows を終了するため、電源ボタン (⏻) をポチッと押します。

これで、Windows のセットアップが完了しました。

### プロバイダーから提供されたメールアドレスなどでメールを使うには

Windows ストア アプリの「メール」ではお使いになれません。

「Outlook」、または「Windows Live メール」をお使いください。

使い方については、「富士通アドバイザー」の「メールの使い方」をご覧ください (→ P.32)。

「Outlook」について、ご不明な点がある場合は、次のお問い合わせ窓口をご利用ください。

### 日本マイクロソフト株式会社 技術サポート窓口

電話：0120-54-2244


受付時間：月～金 / 9:30～12:00、13:00～19:00、

土 / 10:00～17:00 (日・祝祭日および指定休業日を除く)

URL：<http://support.microsoft.com/contactus/>

# タブレットを快適にお使いいただくための準備をする

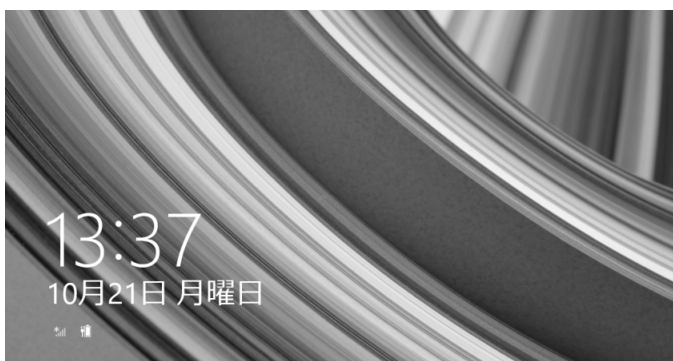
## 「富士通アドバイザー」の準備をする

「富士通アドバイザー」とは、『取扱説明書<詳細版>』を表示したり、タブレットを使うために知っておいていただきたい情報をお届けしたりするアプリです。

**1** 電源ボタン (⏻) をポチッと押します。

**2** ロック画面が表示されたら、下から上にスライドします。

スライドとは画面に指を押しつけながら動かす操作です。



**3** パスワードを入力し、 をタップします。

「Windows をセットアップする」の手順 13 で記入したパスワードです。

**4** スタート画面が表示されたら、「富士通アドバイザー」をタップします。

「富士通アドバイザー」のタイトルは画面の右側に隠れています。画面を左方向へスライドしてください。



**5** 「富士通アドバイザー」の画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、「同意する」をタップします。

**6** 「富士通アドバイザーをバックグラウンドで実行しますか？」と表示されたら、「許可」をタップします。

この後は、画面の指示に従って操作を進めます。

## ■ 次のお知らせは、できるだけ早くお読みください

### ● パソコンを最新の状態にする


Windows を最新の状態にします。

### ● Windows 8.1 の使い方

Windows 8.1 の基本操作や、スタート画面の使い方、タブレットの音量や画面の明るさの調整方法などをご紹介します。

#### **P**oint

▶ 「富士通アドバイザー」は、このほかにも、タブレットを快適にお使いいただくためのお知らせを配信します。定期的にご確認ください。

また、マニュアル（『取扱説明書<詳細版>』）とトラブル解決の事例などご覧になれます。必要に応じてご確認ください。

▶ 「富士通アドバイザー」は、タブレットだけでなく、スマートフォンでもご利用いただけます。

「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）をご利用いただくと、万が一、タブレットが起動しなかったり、インターネットに接続できなかったりする場合でも、サポート情報やマニュアルをご覧いただけます。

※ Android 4.0 以降を搭載したスマートフォンが必要です。

[ダウンロード手順]

1. 富士通アドバイザーアプリのダウンロードページを開きます。  
<http://azby.fmworld.net/support/mycloudapps/download/#fjadviser>
2. Google play バナーをタップして、アプリをダウンロードします。  
※「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）の利用設定が必要です。



スマートフォンから



タブレットの使い方を初歩から学んでみたいけれど、勉強のしかたがわからない、近くにパソコン教室がないなどでお悩みではありませんか。

富士通では、Windows 8.1 を新しく使い始めたお客様を対象に、プロの担当者が基本操作をレッスンする有償のサービスメニューをご用意しています。

お客様の予算や目的にあったサポートプランをご提案しますので、「PC つなげてレッスンに関するお問い合わせ窓口」までお電話ください。

PC つなげてレッスンに関するお問い合わせ窓口（0120-994-499）

受付時間：平日 9 時から 17 時

※土・日・祝日、当社指定の休日を除く

※本サービスをご利用いただくには、ユーザー登録が必要となります。

<http://azby.fmworld.net/support/pclesson/>




## 「はじめに行う設定」で初期設定する

「はじめに行う設定」ウィンドウから、タブレットを快適にお使いになるために必要な初期設定を行ってください。

### 1 スタート画面で「デスクトップ」をタップして、デスクトップ画面を表示します。

デスクトップ画面に、「はじめに行う設定」ウィンドウが自動で表示されます。

表示されない場合は、タブレットを再起動してください。画面右端の外から中へスワイプして「チャーム」を表示し、 (設定) ▶ 「電源」 ▶ 「再起動」の順にタップします。

### 2 「はじめに行う設定」ウィンドウに表示される項目をすべて実行します。




(機種により表示されない項目もあります)

- ① 「表示」をタップすると、「重要なお知らせ」という画面が表示されますので、よくお読みください。画面を閉じるときは、画面上端の外から一番下までスライドします。
- ② 「登録画面を表示」をタップすると、「はじめに行う設定 - ユーザー登録をする」ウィンドウが表示されます。「パソコンの情報を送信する (推奨)」をタップしてください。インターネットのユーザ登録専用ホームページが表示されます。ユーザー登録については、「ユーザー登録のご案内」(→ P.66)をご覧ください。
- ③ 「実行」をタップすると、各アプリが起動するので初期設定してください。実行した項目は、左側のアイコンが「対応済」に変わります。

すべての項目を実行した場合は、タブレットを再起動したときに、「はじめに行う設定」ウィンドウが表示されなくなります。

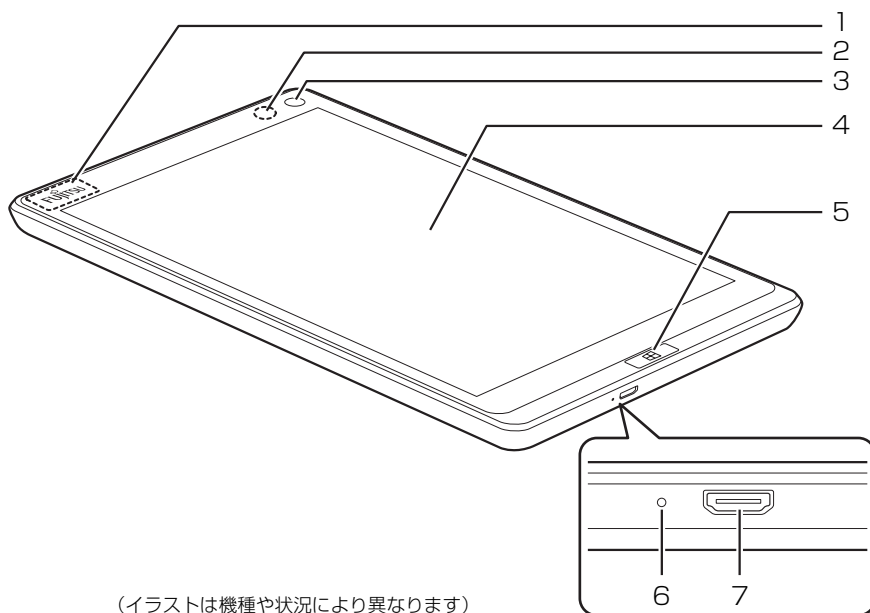
#### Point

▶ 富士通からの「重要なお知らせ」を再度確認したい場合は、スタート画面でまっすぐ上にスライドし、「はじめに行う設定」をタップしてください。

 『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

すべての項目を実行するとセットアップは完了です。

## タブレット本体表面



(イラストは機種や状況により異なります)

### 1 内蔵無線 LAN・内蔵 Bluetooth ワイヤレステクノロジー兼用アンテナ

無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジー兼用のアンテナが内蔵されています。

#### Point

▶ 無線 LAN、Bluetooth ワイヤレステクノロジーについて、詳しくは「通信」(→ P.87) をご覧ください。

### 2 明るさセンサー

周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動的に調節します (→ P.43)。

### 3 イン Web カメラ

自分を撮影するときなどに使います。  
このイン Web カメラは、次の機能で使います。  
・ Skype (→ P.50)

### 4 液晶ディスプレイ (タッチパネル)

入力した内容や、タブレット内のデータなどを表示します。画面に触れて操作することができます (→ P.40)。

液晶ディスプレイに強い圧力が加わると、画面にムラが発生する場合があります。

### 5 Windows ボタン

スリープから復帰 (レジューム) したいときや、スタート画面を表示したいときに押します。

### 6 充電ランプ

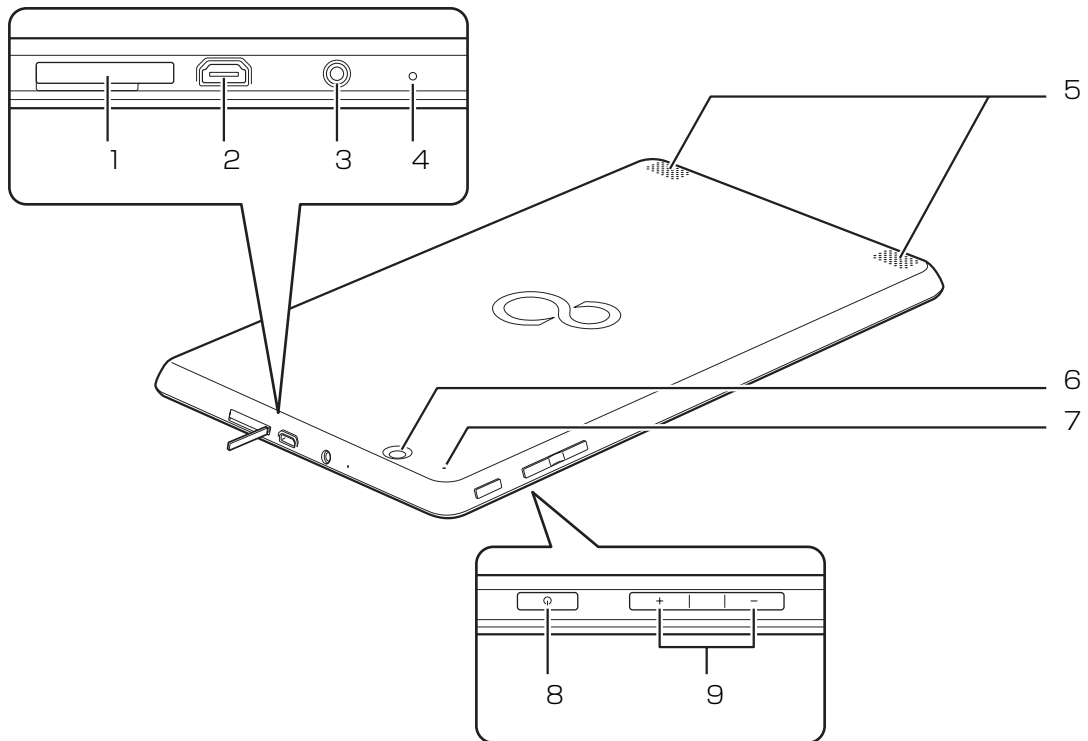
AC アダプタに接続されている場合に、バッテリーの充電状態を表示します (→ P.40)。

### 7 microUSB コネクタ (•⇄)

電源ケーブルを接続し、タブレット本体を充電します。また、USB 変換アダプタなど、microUSB 対応の各種変換アダプタやケーブル (別売) を接続します。

microUSB2.0 に対応しています。接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

## タブレット本体裏面



(イラストは機種や状況により異なります)

### 1 ダイレクト・メモリスロット (microSD)

microSD メモリーカードを差し込みます (→ P.44)。

### 2 microHDMI コネクタ (HDMI)

デジタルテレビや、デジタル接続の外部ディスプレイを接続します。

#### Point

▶ 同時表示やマルチモニター表示、HDMI 出力端子接続時の出力方式などについては、「外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数」(→ P.77) をご覧ください。

### 3 ヘッドホン・ヘッドセット兼用端子 (3.5mm)

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホン・ヘッドセットを接続します。

### 4 内蔵マイク

タブレット本体のみで、テレビ電話用アプリを利用して音声通話するときに使います。

### 5 スピーカー

タブレットの音声を出力します (→ P.43)。

### 6 アウト Web カメラ

静止画や動画を撮影するときに使用します。Skype (→ P.50) などでも使用します。

### 7 強制終了スイッチ

電源ボタンで電源が切れなくなったときに使用します (→ P.62)。

### 8 電源ボタン (Power)

Windows をスタート/終了します (→ P.37)。

### 9 音量調節ボタン (+/-)

音量を調節します。

## Windows をスタートする／終了する

## Windows をスタートする

## ⚠ 注意

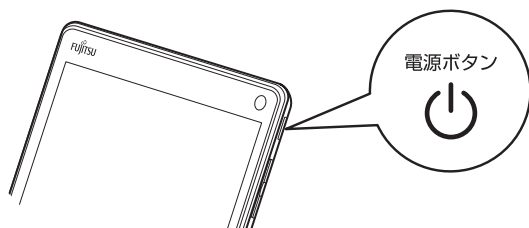
- ⊘ AC アダプタを接続しているとき、落雷の可能性がある場合は、あらかじめタブレット本体の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。落雷による感電、火災の原因となります。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
- ❗ AC アダプタは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、タブレット本体が故障する原因となります。

## 重要

- ▶ タブレットを長時間お使いになる場合は、バッテリー切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。
- ▶ AC アダプタを取り付けるときは、変形や破損のないことを確認してください。
- ▶ 電源を入れてから Windows がスタートするまでは、画面やキーボードなどで操作しないでください。正常にスタートできない場合があります。

## 1 電源ボタンを 2 秒ほど押し続けます。


電源ボタンを 10 秒以上押し続けると、タブレットの電源が強制的に切れてしまいます。データが失われる場合もありますので、ご注意ください。



ロック画面が表示されます。

- 2 ロック画面を下から上にスライドします。  
パスワードを入力する画面が表示されます。
- 3 パスワードを入力し、➡ をタップします。  
スタート画面が表示されます。

## Point


- ▶ 手順 3 で入力するパスワードは、Windows のセットアップのときに入力したパスワードです。パスワードについて、詳しくは「アプリ画面」の「ヘルプとサポート」をタップして Windows のヘルプを表示し、「パスワード」で検索して表示される内容をご覧ください。  
「アプリ画面」の表示方法は、『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』をご覧ください。
- ▶ Windows がスタートしないときは
  - ・ AC アダプタを接続している場合  
AC アダプタが正しく接続されているか確認してください (→ P.18)。
  - ・ バッテリーのみで使う場合  
バッテリー残量が少ないと電源を入れても Windows が起動しないことがあります。この場合は、AC アダプタを接続して、しばらく充電してから起動してください。  
それでも Windows がスタートしない場合は、「起動・終了時のトラブル」(→ P.61) をご覧ください。
- ▶ 「Windows のライセンス認証」の青い画面が表示されたときは、「富士通アドバイザー」の「トラブル解決」から「Windows・アプリ関連のトラブル」をご覧ください。

## Windows を終了する

### 重要

- ▶ Windowsを終了する前に、作業中のデータがある場合は保存してください。
- ▶ 次のような場合は、「タブレットの電源を完全に切る」(→ P.117) をご覧になり、電源を切ってください。
  - ・トラブル解決ナビを起動する
  - ・BIOS セットアップを起動する
- ▶ Windows がスタートして 1 分以上たってから終了するようにしてください。

1 画面右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示します。

『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

2 「設定」をタップします。

3 「電源」▶「シャットダウン」の順にタップします。しばらくすると Windows が終了します。

### Point

- ▶ 次の手順で終了することもできます。
  1. 電源ボタンを 4 秒以上押します。
  2. 「スライドしてPCをシャットダウンします」と表示されたら、画面をまっすぐ下にスライドします。
- ▶ Windows が終了できないときは、「起動・終了時のトラブル」(→ P.61) をご覧ください。
- ▶ タブレットはWindowsを終了した状態でも少量の電力を消費し、バッテリー残量が減ります。長期間タブレットを使用しない場合は、タブレットの電源を完全に切ってください。AC アダプタを接続している場合は取り外してください。
  - ・AC アダプタや電源ケーブルは、変形したり、割れたり、傷が付かないように保管してください。保管するときは、AC アダプタにケーブル類を巻きつけたりしないでください。

## スリープにする／復帰させる

スリープとは、Windows を終了せずに、作業中のデータなどをメモリに保存して、タブレットを待機状態にすることです。

スリープにしておくと、次にタブレットを使うときにすぐに使い始めることができます。

### スリープにするときの注意

次の場合は、いったんタブレットの電源を切り、電源を入れ直してください。

- タブレットを長期間使わないとき
- タブレットの動作が遅くなったり、正常に動作しなくなったりするとき

### 重要


- ▶ スリープ中は、メモリに保存したデータなどを保持するために少しずつ電力を消費しています。

### Point

- ▶ Web カメラを使用するアプリを起動中は、一定時間タブレットを操作しない場合に自動的にスリープになる機能はご使用になれません。

## スリープにする

1 画面右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示します。

『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

2 「設定」をタップします。


3 「電源」▶「スリープ」の順にタップします。ディスプレイの表示が消えスリープになります。

### Point


- ▶ 電源ボタンを押すことで、スリープにすることもできます。



## スリープから復帰する

- 1 電源ボタンを押します。  
ロック画面が表示されます。  
電源ボタンは 10 秒以上押さないでください。タブレットの電源が切れてしまいます。
- 2 ロック画面を下から上にスライドします。
- 3 パスワードを入力する画面が表示されたら、パスワードを入力し、 をタップします。  
画面が表示され、スリープから復帰します。

### Point

- ▶ スリープにした後は、必ず 10 秒以上たってから復帰（レジューム）するようにしてください。
- ▶ 復帰（レジューム）させた後は、必ず 10 秒以上たってから、スリープにするようにしてください。
- ▶  を押すことで、復帰（レジューム）することもできます。
- ▶ 電源ボタンを押す以外の方法でスリープからレジュームさせると、Windows の仕様により、画面が表示されない場合があります。  
画面が表示されない場合は、画面をタップすると画面が表示されます。
- ▶ レジューム後、画面が表示されないままの状態ですら一定時間経過すると、再度スリープになります。

## バッテリー

このタブレットは、バッテリーのみで動作させることができます。

### 重要

- ▶ バッテリーのみで使用する場合は、バッテリーが充電されているか確認してください。特にご購入時にはバッテリーが充電されていない場合があるので、ご注意ください。
- ▶ お客様自身でバッテリーを交換することはできません。

### Point

- ▶ バッテリー残量が少ない場合、ACアダプタを接続しないと、タブレットの電源が入らないことがあります。
- ▶ バッテリー残量が 0% になると、内蔵の時計がリセットされます。デスクトップ画面の右下の日付と時刻 ▶ 「日付と時刻の設定の変更」の順にタップし、日付と時刻を設定し直してください。

## バッテリーの充電

- AC アダプタを接続すると、バッテリーの充電を開始します。充電が始まると、充電ランプが点灯します。
- バッテリー残量が 95% 以上の場合は、AC アダプタを取り付けても充電されません。94% 以下になると充電を開始します。

## 充電状態や残量の確認

### ■充電状態の確認


バッテリーの充電状態は、充電ランプで確認できます。

#### ●ACアダプタ接続時

充電ランプの表示	状態
オレンジ色点灯	充電中


- ACアダプタ未接続時は、充電ランプは消灯します。
- バッテリー残量が少なくなると、バッテリーの残り時間とバッテリー残量の不足を案内するポップアップや、「省電源移行バッテリーレベル」ウィンドウが表示されます。表示された場合は、ACアダプタを接続してください。

### ■残量の確認

バッテリーの残量は、デスクトップ画面右下の通知領域にある  (電源アイコン) で確認できます。

なお、表示されるバッテリーの残量は、バッテリーの特性上、使用環境(温度条件やバッテリーの充放電回数など)により実際のバッテリーの残量とは異なる場合があります。

#### Point

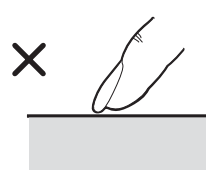
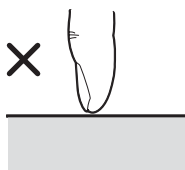
- ▶ バッテリーの詳細な情報を確認する場合は、次のように操作します。
  1. スタート画面でまっすぐ上にスライドします。 『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』
  2. 「FUJITSU-バッテリーユーティリティ」の「バッテリーユーティリティ」をタップします。「バッテリーユーティリティ」ウィンドウが表示されます。
  3. 「バッテリーの情報」をタップします。

## タッチ機能

このタブレットは、液晶ディスプレイ(タッチパネル)を直接指先でタッチして操作できるタッチ機能を搭載しています。画面を指でタッチするだけで操作することができます。画面上で直接操作できるので、直感的でスピーディな操作が可能です。

### タッチ機能をお使いになるうえでの注意事項

- 液晶ディスプレイを強く押さないでください。
- 液晶ディスプレイ表面をひっかいたり、金属製のものや固いもので突いたりしないでください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。
- 濡れた手や、指先が汚れた状態で操作しないでください。
- アプリによっては、タッチ機能の反応が悪かったり、タッチ機能に対応していない場合があります。
- つめや手袋をした指では操作できません。必ず、指の皮膚の部分が画面に触れるようにしてください。




(イラストは機種や状況により異なります)

- 液晶ディスプレイ(タッチパネル)に、ほこりや皮脂が付着していると、タッチ機能が正しく動作しない場合があります。液晶ディスプレイは、ときどき清掃してください(→P.46)。

## Point

▶ 「タブレット PC 設定」ウィンドウの「画面」タブにある「調整」▶「タッチ入力」をタップして表示される画面で、タッチする位置を調整しないでください。調整してしまった場合は、ご購入時の設定に戻してください。ご購入時の設定に戻す方法は、次のとおりです。

1. デスクトップ画面左下隅の  を右タップします。
  2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
  3. 「ハードウェアとサウンド」▶「タブレット PC 設定」の順にタップします。「タブレット PC 設定」ウィンドウが表示されます。
  4. 「画面」タブで、「リセット」をタップします。ご購入時の設定に戻ります。
- ▶ このタブレットのタッチパネルでは、複数箇所を同時にタッチして操作することができます。

## タッチ機能を使う

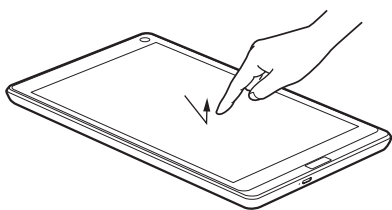
画面上でタップ（マウスのクリックと同様の操作）をする場合は、指で操作します。

マウスポインターは、画面上をなぞった方向に移動します。

タッチ機能を使った主な操作は次のとおりです。

### ■タップ

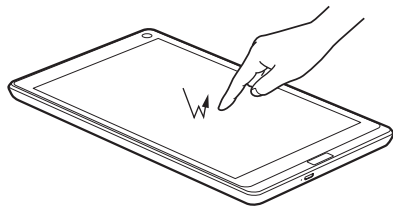
画面を 1 回素早くたたきます。



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

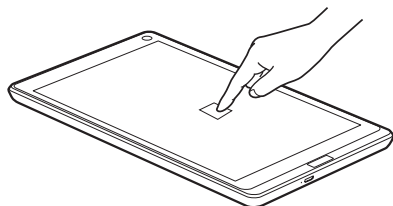
### ■ダブルタップ

画面を素早く 2 回連続して軽くたたきます。



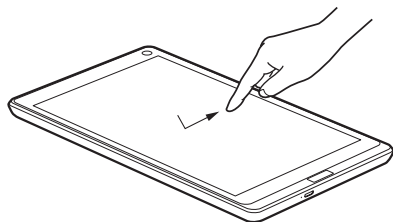
### ■右タップ

1 本指で画面を触れた状態でしばらく待ち、四角い枠が表示されたら画面から指を離します。



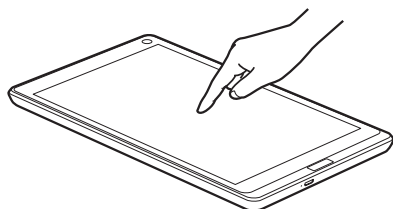
### ■ドラッグ

画面に指を軽く押しつけながらなぞります。



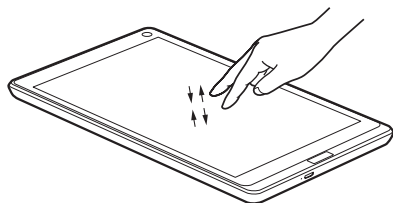
### ■ポイント

画面に軽く触れます。



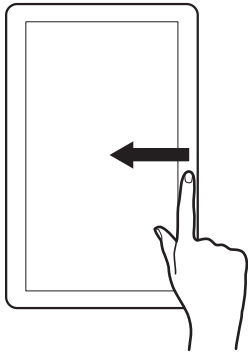
### ■拡大／縮小

2 本指を画面に軽く押しつけながら指をつまんだりひらいたりします。つまむと画像やウィンドウ内の画面が縮小表示され、ひらくと拡大表示されます。



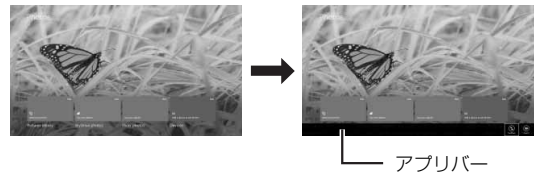
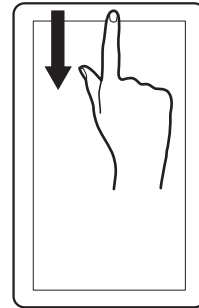
### ■「チャーム」を表示する

1本指を画面右端の外から中へスワイプすると「チャーム」が表示されます。



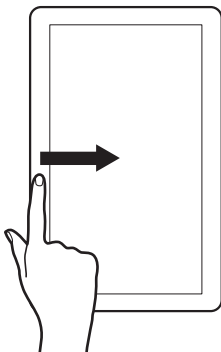
### ■「アプリバー」を表示する

1本指を画面上端または下端の外から中へスワイプすると、「アプリバー」が表示されます。



### ■アプリを切り替える

1本指を画面左端の外から中へスワイプすると起動中のアプリが切り替わります。



## 音量

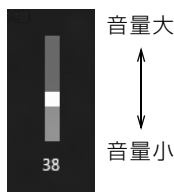
次の方法で音量を調節できます。

### 重要

- ▶ 音量はスピーカーから聞こえる音がひずまない範囲に設定・調節してください。スピーカーが故障する原因となる場合があります。
- ▶ 「ステータスパネルスイッチ」の設定で、スピーカーを「ミュート」に設定している場合、省電力モードに移行すると音声の再生や録音ができなくなります。  
設定の変更については、「ステータスパネルスイッチ」(→ P.50) をご覧ください。

### ●音量を調節する

タブレット本体の音量調節ボタンの「-」を押すと小さく、「+」を押すと大きくなります。



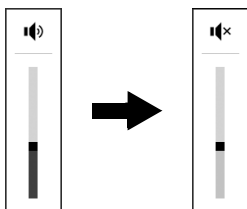
(イラストは機種や状況により異なります)

### ●音を消す

- 1 画面右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示します。

『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

- 2 (設定) をタップします。
- 3 をタップします。
- 4 スライダーの上にある をタップします。



(イラストは機種や状況により異なります)

もう一度タップすると音が出るようになります。  
音量はデスクトップ画面右下の通知領域にある でも調節できます。

## 画面の明るさ

このタブレットに搭載されている「明るさセンサー」機能を有効にすると、センサーが周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動的に調節します。ご購入時は、有効に設定されています。

「明るさセンサー」の設定は、次の手順で変更することができます。

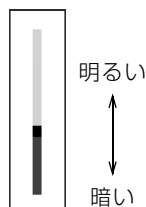
- 1 デスクトップ画面のタスクバーにある をタップします。
- 2 「ステータスパネルスイッチ」ウィンドウの「自動画面輝度調整」をタップし、「ON」に切り替えます。

### Point

- ▶ 「明るさセンサー」をテープやシールなどでふさがないでください。  
「明るさセンサー」機能が有効になっている場合、画面が暗くなります。

「ステータスパネルスイッチ」の「自動画面輝度調整」を「OFF」にすると、次の操作で画面の明るさを手動で調節できます。


- 1 画面右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示します。  
『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』
- 2 (設定) をタップします。
- 3 「設定チャーム」で「ディスプレイ」をタップします。
- 4 スライダーを上下に動かします。



(イラストは機種や状況により異なります)

## Point

### ▶ 明るさの設定について

- ・ご購入時は、ACアダプタを接続している場合は明るく、バッテリーで使っている場合は少し暗くなるように設定されています。
- ・明るさは、ACアダプタを接続している場合と、バッテリーで使っている場合とで別々に設定できます。設定を変更する場合は、次の手順で操作してください。
  1. デスクトップ画面左下隅の  を右タップします。
  2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
  3. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にタップします。
  4. 設定を変更するプランの「プラン設定の変更」をタップします。
  5. 明るさを変更し、「変更の保存」をタップします。
- ・タブレットを再起動したり、スリープから復帰（レジューム）したり、AC アダプタの接続や取り外しを行った直後は、キーボードで明るさを変更しても有効にならないことがあります。このような場合は、しばらく時間をおいてから変更してください。

## メモリーカード


ダイレクト・メモリースロットは、デジタルカメラなどに使われているメモリーカードに直接データを読み書きするためのスロットです。

### お使いになるうえでの注意

- **メモリーカードは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリーカードを取り扱う前は、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。**
- Windows の ReadyBoost には対応していません。
- メモリーカードや記録されているデータの取り扱いについては、メモリーカードや周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- メモリーカードをデジタルカメラなどで使っている場合は、お使いの機器でフォーマットしてください。このタブレットでフォーマットすると、デジタルカメラなどでメモリーカードが使えなくなります。デジタルカメラなどでのフォーマットの方法については、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。

### 使えるメモリーカード

ダイレクト・メモリースロットが対応しているメモリーカードと、その最大容量は次のとおりです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

	・ microSD カード (2GB)
	・ microSDHC カード (32GB)
[注]	・ microSDXC カード (64GB)

- 注：・マルチメディアカード、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
- ・ SDIO カードには対応していません。
  - ・ 著作権保護機能 (CPRM [シーピーアールエム]) に対応していません。

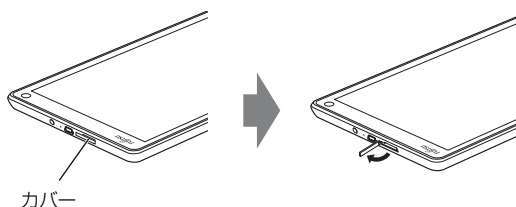
## メモリーカードを差し込む／取り出す

### ■メモリーカードを差し込む

#### ⚠ 注意

- ⚠ メモリーカードを差し込む場合は、ダイレクト・メモリスロットに指などを入れないでください。  
けがの原因となることがあります。

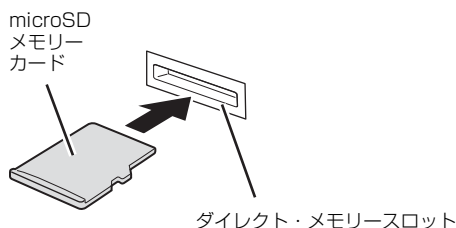
- 1 溝に指をかけて少し引き出し、矢印の方向にカバーを開けます。



#### Point

- ▶ カバーを開閉するときは、強く引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

- 2 メモリーカードをダイレクト・メモリスロットに差し込みます。



※ 製品名のある面を上側にして、まっすぐに差し込みます。

(イラストは機種や状況により異なります)

- 3 カバーを閉じます。

### ■メモリーカードを取り出す




#### ⚠ 注意

- ⚠ ● メモリーカードを取り出す場合は、ダイレクト・メモリスロットに指などを入れないでください。  
けがの原因となることがあります。

#### 重要

- ▶ ダイレクト・メモリスロットからメモリーカードを取り出す場合は、次のことに注意してください。

- ・メモリーカードを強く押さないでください。指を離れたときメモリーカードが飛び出し、紛失したり、衝撃で破損したりするおそれがあります。
- ・メモリーカードを引き抜くときは、ひねったり斜めに引いたりして、メモリーカードに無理な力がかからないようにしてください。
- ・ダイレクト・メモリスロットを人に向けたり、顔を近づけたりしないでください。メモリーカードが飛び出して、思わぬけがをするおそれがあります。
- ・必ずメモリーカードを一度押して、少し飛び出した状態にしてから引き抜くようにしてください。そのまま引き抜くと誤動作の原因になります。

- 1 デスクトップ画面右下の通知領域にある  をタップし、表示された  (ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す) をタップします。メモリーカードによっては、 (ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す) が表示されないものもあります。アイコンが表示されない場合には、メモリーカードのマニュアルをご覧ください。

- 2 「nnn の取り出し」をタップします。

nnn にはお使いのメモリーカードの名称が表示されます。

- 3 「nnn はコンピューターから安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されたら、メモリーカードをタブレットから取り出します。メモリーカードを一度押すと、少し飛び出します。飛び出したメモリーカードを引き抜きます。

## 周辺機器の取り扱い

周辺機器とは、USB マウス、プリンター、デジタルカメラ、USB メモリ、携帯オーディオプレーヤーなどのタブレット本体に接続する装置の総称です。

### 警告



- 周辺機器のなかには、取り付け／取り外しを行うときに、タブレットや周辺機器の電源を切り、AC アダプタや電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行わなければならない場合があります。必ず添付のマニュアルでご確認ください。感電の原因となります。



- 周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、タブレットおよび周辺機器が故障する原因となります。

## 周辺機器の取り扱い上の注意

- **USB 規格の周辺機器を接続する場合は、USB 変換アダプタ (別売) が必要です。**

- **microUSB コネクタに接続した場合、AC アダプタを接続できません。**

お使いの際は、バッテリーの残量にご注意ください (→ P.40)。

- **周辺機器の接続は、取り付ける周辺機器のマニュアルをよくご覧になり、正しく行ってください**

- **弊社純正品をお使いください**

弊社純正の周辺機器については、販売店にお問い合わせいただくか、富士通ショッピングサイト「WEB MART」 (<http://www.fujitsu-webmart.com/>) をご覧ください。

他社製品につきましては、このタブレットで正しく動作するかどうか、保証いたしかねます。他社製品をお使いになる場合は、製造元のメーカーにお問い合わせくださいますようお願いいたします。

- **一度に取り付ける周辺機器は1つだけにしてください**  
一度に複数の周辺機器を取り付けると、ドライバーのインストールなどが正常に行われずおそれがあります。1 つの周辺機器の取り付けと動作確認が完了してから、別の周辺機器を取り付けてください。

- **コネクタの向きを確認し、まっすぐ接続してください**

## お手入れ

このタブレットを快適にお使いいただくための、日ごろのお手入れについて説明します。

### 警告



- 感電やけがの原因となるので、お手入れの前に、次の事項を必ず行ってください。
  - ・ タブレット本体の電源を切り、AC アダプタを取り外してください。
  - ・ 周辺機器やケーブル類を接続している場合は、タブレット本体から取り外してください。



- 清掃するときは、清掃用スプレー (可燃性物質を含むもの) を使用しないでください。故障・火災の原因となります。

- タブレット本体の汚れを取る場合は、次の点に注意してください。

- ・ 爪や指輪などで傷を付けないように注意してください。

- ・ OA クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布を使って軽く拭き取ってください。

- ・ 汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭き取り、中性洗剤を使用した場合は、水に浸した布で拭き取ってください。また、拭き取るときは、タブレット本体に水が入らないよう十分に注意してください。

- ・ アセトン、シンナー、ベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきん、除光液、清掃用スプレー (可燃性物質を含むもの) は絶対に使わないでください。



- 液晶ディスプレイの汚れを取る場合は、さらに次の点に注意してください。
  - ・OA クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布かメガネ拭きを使って軽く拭き取ってください。水や中性洗剤を使用して拭かないでください。
  - ・市販のクリーナー、除光液、化学ぞうきんを使うと、成分によっては、画面の表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは、使わないでください。
    - ・アルカリ性成分を含んだもの
    - ・界面活性剤を含んだもの
    - ・アセトン、シンナー、ベンジンなどの揮発性の強いもの
    - ・研磨剤を含むもの
  - ・液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。破損するおそれがあります。

このタブレットには、次の機能が搭載されています。

これらの機能を使うと、タブレットをもっと便利に活用することができます。

- 「My Cloud」(→ P.48)
- 「Skype」(→ P.50)
- 「F-LINK (ケータイ連携機能)」(→ P.49)
- 「ステータスパネルスイッチ」(→ P.50)

## My Cloud

My Cloud [マイクラウド] は、タブレットを使って日常生活をもっと楽しく便利にする、富士通の新しい機能とサービスのご提案です。

スタート画面の「My Cloud」(My Cloud ホーム)のタイルをタップすると、My Cloud の活用方法などをご紹介するチュートリアルが始まります。

はじめよう



My Cloudで使える機能には次のようなものがあります。各機能は、スタート画面でまっすぐ上にスライドして表示されるアプリ画面から起動することができます。

### MyCloud でできること

#### ■My Cloud プレイ

タブレットに取り込んだ写真、ビデオ、音楽、ドキュメントなどのデータを一元管理することができます。



写真やビデオを選んでアルバムを作ったり、富士通が運営するクラウドサービス「My Cloud ライブラリー」に写真をアップロードしたりすることができます。また、ご家庭のパソコンやレコーダーに保存した動画やテレビ番組をまとめて管理したり、ネットワーク経由で再生したり、外出先からご家庭のパソコンのデータを閲覧したりすることができます。

#### ■My Cloud エコ DX

スマートフォンやタブレット端末を使って、外出先から ECHONET Lite 対応家電製品の運転をオン/オフしたり、使用電力を確認したりすることができます。



※ ご利用いただくには最新版へのアップデートが必要です。

さらに詳しい説明をご覧になるには…

「My Cloud アプリ」のページ  
(<http://azby.fmworld.net/support/mycloudapps/>)  
をご覧ください。

## F-LINK (ケータイ連携機能)

F-LINK は、ネットワークを使ってパソコンやスマートフォン／タブレット端末／携帯電話間でデータのやり取りができる富士通独自の技術です。ケーブルを接続したり、媒体を用意したりする必要がなく、ワイヤレスで手軽にデータの転送ができます。

※ この機能で「ケータイ」と表記する場合、スマートフォン／タブレット端末を含みます。



F-LINK を使うと、次のようなことができます。

- 携帯機器内の写真、動画などのデータや、歩数・活動量を自分のタブレットに自動で取り込みます。
- 無線 LAN 搭載 SDHC メモリーカードから、写真、動画などのデータがワイヤレスで取り込めます。
- F-LINK 対応機器どうして個別にデータのやり取りをします。

### 詳しい使い方については…

「サポートページ」(<http://azby.fmworld.net/support/>) から Q&A ナンバー「6009-8007」を検索してご覧ください。

## F-LINK をお使いになるうえでの注意

### ■携帯機器の対応機種について

F-LINK に対応した携帯機器については、ホームページ (<http://azby.fmworld.net/support/soft/flink/>) をご覧ください。

### ■注意事項

- このタブレットにあらかじめインストールされているもの以外のセキュリティ対策アプリをインストールしている場合、次のプログラムからネットワークの接続の要求があったときは、接続を許可するように設定してください。
  - ・ F-LINK.exe
- 送受信したデータを利用するには、送信側／受信側ともにデータを利用できる環境が必要です (例：受信側に送信側と同様のアプリが搭載されていない場合、データは閲覧できません)。なお、携帯機器によっては扱えるファイル形式やファイルサイズが異なります。携帯機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- 受信側の空き容量が少ないと全部のファイルが取り込めないことや、送信側からファイルを送れない場合があります。表示されたメッセージに従ってください。
- ルーターで機器間の通信を遮断する設定が行われていた場合、ルーター経由で F-LINK の機能が動作しません。ルーターを経由する場合は、機器間の通信を許可する設定をしてください。設定の方法は、ルーターのマニュアルをご覧ください。

## Skype

Skype [スカイプ] ではさまざまな方法で世界中のお友達、ご家族、同僚と連絡を取り合うことができます。Skype を起動する場合は、スタート画面で「Skype」をタップします。



### Skype でできること

#### ■ユーザーどうしの通話

Skype のユーザーどうしなら無料で通話ができます。海外の友人と無料で通話したり、複数人で同時に通話したりできます。

お互いの顔を見ながら通話するなど、1対1のビデオ通話を無料で楽しむことができます。

なお、Web カメラを使用している間は、タブレットが一定時間後に自動的にスリープになる機能はご使用になれません。

#### ■インスタントメッセージやファイル送信

リアルタイムにメッセージを送受信することで、複数人と文字で会話をすることができます。また、通話中やメッセージの送受信中に必要となったファイルを転送することができます。

#### 詳しい使い方については…

「サポートページ」(<http://azby.fmworld.net/support/>) から Q&A ナンバー「2009-7938」を検索してご覧ください。


## ステータスパネルスイッチ

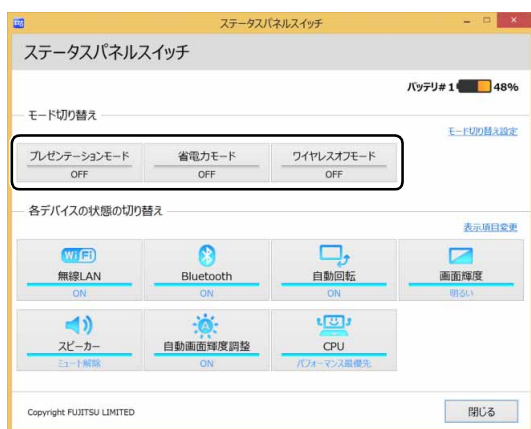
ステータスパネルスイッチは、画面上のボタンを操作してモードを切り替えるだけで、画面の明るさや CPU のパフォーマンスなどを一括で変更し、タブレットを使用する状況に適したモードに変更することができる機能です。

### ステータスパネルスイッチをお使いになるうえでの注意

- CPU を次の設定にしていると動画の再生時にコマ落ちが発生する場合があります。
  - ・ 電池持ちを最優先
  - ・ 電池を節約このような場合には、CPU を次のいずれかに設定してください。
  - ・ パフォーマンス最優先
  - ・ 「モード切り替え設定」で、CPU の  を  にする
- 複数のユーザーアカウントでタブレットを使用している場合、各モードでの設定は、タブレット 1 台に対して 1 つの設定です。例えば、省電力モード中に他のユーザーアカウントでサインインし直しても、省電力の状態は変化しません。
- 各デバイスの状態を「ON」から「OFF」に切り替える場合、切り替え前にそのデバイスの利用を中止し、接続または挿入されているデバイスをすべて取り外してから切り替えてください。デバイスを使用中に切り替えると、デバイスを停止できない場合があります。また、各デバイスの状態を「OFF」から「ON」に切り替える場合は、切り替え後に各デバイスをタブレットに接続または挿入してください。
- Windows へサインインした直後は、各デバイスの状態を切り替えると、切り替えに失敗する場合があります。各デバイスの状態の切り替えは、Windows へサインインした後、しばらくしてから実行してください。

## ステータスパネルスイッチの使い方

- 1 デスクトップ画面のタスクバーにある  をタップします。  
「ステータスパネルスイッチ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「モード切り替え」から、使用したいモードのボタンをタップします。  
選択したモードに切り替わります。



- ・プレゼンテーションモード  
タブレットを使ってプレゼンテーションなどを行うのに適したモードです。
- ・省電力モード  
画面の明るさや CPU のパフォーマンスを下げることで、タブレットの消費電力を抑えることができるモードです。
- ・ワイヤレスオフモード  
無線 LAN や Bluetooth ワイヤレステクノロジーなどの無線通信機能の電波を停止するモードです。

### Point

- ▶ 「各デバイスの状態の切り替え」で、それぞれの機能のボタンをタップすると、個別に状態を変更することができます。  
また、「表示項目変更」をタップすると、「各デバイスの状態の切り替え」に表示する項目を変更することができます。
- ▶ 画面の明るさを、省電力モードで設定された画面の明るさよりも暗くしている場合は、省電力モードにしても画面が暗くならない場合があります。

## 各モードの設定を変更する

各モードで制御するデバイスを選択したり、各デバイスの状態を個別に変更したりすることができます。

- 1 「ステータスパネルスイッチ」ウィンドウで、「モード切り替え設定」をタップします。



- 2 設定を変更します。



- ① モードを選択します。
- ② 制御するデバイスを選択します。
- ③ デバイスの状態や値を設定します。

- 3 「適用」をタップします。

- 4 「OK」をタップします。

## バックアップナビ

Windows が起動しなくなった場合や、データを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータのコピーを保存しておくことを「バックアップ」といいます。バックアップは大変重要ですので、忘れずに行うようにしてください。

このタブレットは「バックアップナビ」というバックアップツールを搭載しています。

### バックアップナビの機能

2種類のバックアップ方法を組み合わせて効率的にバックアップをとります。

#### ■日々作成するデータをバックアップ

デジタルカメラで撮った写真や、作成した文書などは定期的にバックアップしましょう。

「バックアップナビ」では、マイドキュメントやマイピクチャなどのそれぞれのユーザーが持っているフォルダーのデータを「マイデータ」と呼んでいます。「バックアップナビ」では「マイデータ」をまとめて簡単にバックアップできます。

詳しくは「マイデータ」(→ P.53) をご覧ください。

#### 自動バックアップ

「マイデータ」を定期的にバックアップするよう設定できます。「毎日」または「週に1回」など設定しておく、忘れずにバックアップできて便利です。「バックアップする」タブにある「マイデータの自動バックアップ」の「設定」ボタンをタップすると設定を変更できます。「バックアップナビ」の起動方法は「「パソコンの状態」をバックアップする」(→ P.54) をご覧ください。

#### ●ご利用になるうえでの注意

「自動バックアップの設定」のステップ2の画面に表示される「注意事項」の内容をよく読んで

#### ■Cドライブをまるごとバックアップ

トラブルに備えて、タブレットが快適に使用できている状態をまるごとバックアップしましょう。

「バックアップナビ」ではCドライブをまるごとバックアップできます。タブレットのセットアップが完了した後、およびインターネットやメールなどタブレットの設定を変更した後にバックアップすることをお勧めします。

詳しくは「パソコンの状態」(→ P.54) をご覧ください。

### バックアップナビをお使いになるうえでの注意事項

#### ■すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません

すべてのデータの保存／復元を保証するものではありません。また著作権保護された映像(デジタル放送の録画番組など)や音楽などは保存／復元できない場合があります。

#### ■管理者アカウントでWindowsにサインインしていることを確認してください

セットアップ時に作成したアカウントは管理者アカウントです。

標準アカウントでサインインしている場合は、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウで管理者アカウントのパスワードを入力してバックアップしてください。

#### ■「バックアップナビ」以外のアプリはすべて終了させてください

#### ■「バックアップナビ」では microSD カードにのみバックアップできます。他の媒体にはバックアップできません。

microSD カードは次のものをお使いください。

容量：64GB 以上

速度：SD スピードクラス 10、

または UHS スピードクラス 1

#### ■他のタブレットには復元できません

バックアップしたデータを復元できるのは、このタブレットのCドライブのみです。

## ■スリープにしないでください

バックアップ／復元や、バックアップデータをディスクにコピー中にスリープなどの省電力状態にすると、データが正常に書き込まれなくなります。タブレットを省電力状態にする操作はしないでください。

## マイデータ

### バックアップ／復元できる項目

- ユーザーのデータ  
ライブラリなどに登録されているフォルダーのデータがバックアップされます。
- 自分で指定したフォルダー

### 「マイデータ」の注意事項

#### ■次のデータは、バックアップできません

- 著作権保護された音楽データ、映像データ  
デジタル放送の録画番組、インターネット上の音楽配信サイトからダウンロードしたファイルなど、著作権保護された映像データや音楽データなどはバックアップ／復元できない場合があります。  
著作権保護された音楽データ、映像データのバックアップ／復元については、お使いのアプリのマニュアルやヘルプをご覧ください。

#### ■必ず AC アダプタを接続して、microSD カードにバックアップしてください

### 「マイデータ」のバックアップ／コピー／復元方法

バックアップ／コピー／復元方法については、サポートページから次の Q&A ナンバーを検索してご覧ください。

- マイデータをバックアップする方法「3309-7979」
- マイデータをコピーする方法「4309-7982」
- マイデータを復元する方法「0609-7981」

## パソコンの状態

フラッシュメモリディスクの C ドライブをまるごとバックアップします。タブレットにトラブルが発生した場合、C ドライブをまるごとバックアップしたときの状態に戻すことができます。

電源を切って作業しますので、この内容を印刷しておくことをお勧めします。

### 「パソコンの状態」の注意事項

#### ■必ず AC アダプタを接続してください

#### ■タブレットに不具合が起きているときは、「パソコンの状態」をバックアップしないでください

「パソコンの状態」をバックアップすると、タブレットの C ドライブをそのままの状態で保存するため、不具合も保存されてしまい、復元時に不具合も復元してしまいます。

#### ■保存先の容量を確認してください

「パソコンの状態」のバックアップデータは、前回のバックアップデータを上書きすることなく、バックアップするごとに新規で作成されます。C ドライブで使用している容量より保存先の容量が少ない場合は、「パソコンの状態」のバックアップはできません。不要になったバックアップデータは削除してください (→ P.56)。

#### 重要

- ▶ 「パソコンの状態」をバックアップ、および復元する場合、「バックアップナビ」起動前に microSD カードを挿入しないでください。microSD カードを挿入したまま「パソコンの状態」のバックアップ、および復元を開始すると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
- ▶ 「バックアップナビ」起動後に、画面の指示に従って接続してください。

### 「パソコンの状態」をバックアップする場所

#### ■microSD カード

バックアップナビでお使いになれる保存先は microSD カードのみです。

### 「パソコンの状態」をバックアップする

- 1 スタート画面でまっすぐ上にスライドします。
- 2 「FUJITSU-バックアップナビ」の「バックアップナビ」をタップします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をタップします。  
「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい]をタップしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をタップします。
- 4 「バックアップナビ」の概要を説明するウィンドウが表示されたら、「次へ」をタップします。
- 5 次の画面の操作をします。



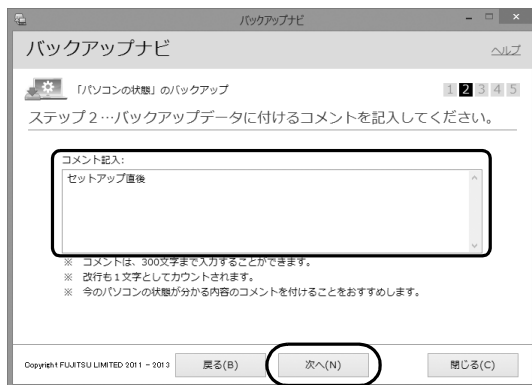
(これ以降の画面は機種や状況により異なります。)

- ① 「バックアップする」タブをタップします。
- ② 「パソコンの状態のバックアップ」をタップします。



- 6 コメント入力域に、いつの時点の「パソコンの状態」がわかるようなコメントを入力し、「次へ」をタップします。

例) ・セットアップ直後  
・インターネット設定変更



- 7 内容を確認して「次へ」をタップします。  
8 「OK」をタップします。  
9 「「パソコンの状態」のバックアップ」という画面が表示されたら、次の操作をします。



- ① microSD カードを挿入し、認識されるまで 10 秒ほど待ってから、「一覧を更新」をタップします。  
② 「ドライブ一覧」に挿入したドライブが表示されたら、タップして選択します。  
③ 「次へ」をタップします。

- 10 画面の内容を確認し、「開始する」をタップします。「パソコンの状態」のバックアップが始まります。しばらくお待ちください。終了までの時間表示が増えることがあります。これは、途中で終了時間を計算し直しているためです。完了すると「バックアップを終了しました。結果をご確認ください。」と表示されます。

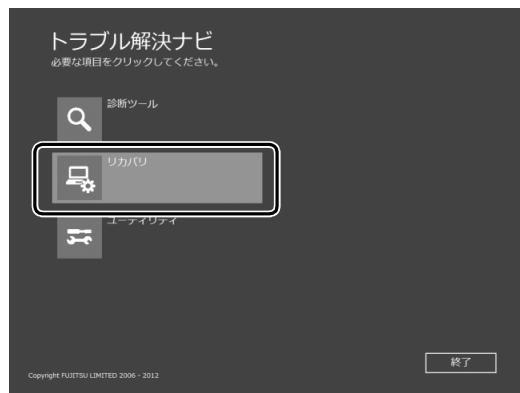
- 11 「閉じる」をタップします。  
タブレットが再起動します。

これで、指定したドライブに「パソコンの状態」がバックアップされました。

## 「パソコンの状態」を復元する

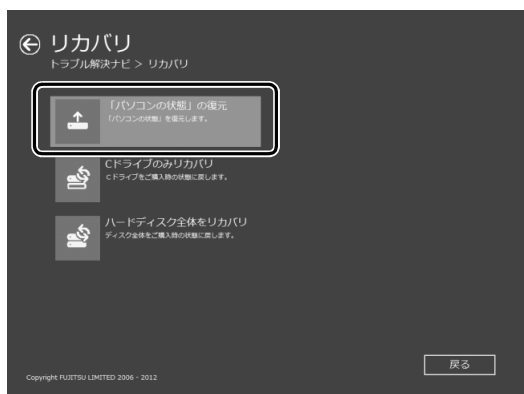
C ドライブをまるごと、「パソコンの状態」のバックアップ時点に戻します。  
C ドライブの現在のデータは失われてしまいます。別の媒体などにバックアップしてください。

- 1 「トラブル解決ナビ」を起動します。  
起動方法は「「トラブル解決ナビ」を起動する」(→ P.64) をご覧ください。  
2 「リカバリ」をタップします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります。)

### 3 「パソコンの状態」の復元」をタップします。



### 4 画面の内容を確認し、次の操作をします。



① 「ご使用上の注意」を下までスクロールして確認します。

「同意する」が選択できるようになります。

② 「同意する」をタップして●にします。

③ 「次へ」をタップします。

### 5 復元したい「パソコンの状態」のバックアップデータを選択します。



① microSDカードを挿入した後、認識されるまで10秒ほど待ってから、「一覧を更新」をタップします。

「バックアップデータ一覧」に「パソコンの状態」のバックアップデータが表示されます。

② 復元する「パソコンの状態」のバックアップデータをタップして選択します。

③ 「次へ」をタップします。

### 6 「復元開始」をタップします。



「パソコンの状態」のバックアップデータを使ってCドライブの復元が始まり、復元の進行状況を示す画面が表示されます。

### 7 そのまましばらくお待ちください。

終了までの残り時間は正確に表示されない場合や増える場合があります。これは途中で終了時間を計算し直しているためです。

しばらくすると、「復元が正常に終了しました。」と表示されます。

### 8 「閉じる」をタップします。

タブレットが再起動します。

これで、「パソコンの状態」のバックアップデータを使った復元が完了しました。

## 「パソコンの状態」のバックアップデータを削除する

「バックアップナビ」の「管理」タブで、microSDカードに保存した「パソコンの状態」のバックアップデータを削除できます。画面の指示に従って操作してください。

## メールや Office で困ったときは

「Outlook」（メールアプリ）や「Word」、「Excel」などの Office の製品については、アプリ提供元の日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

<p>マイクロソフト オフィス ホーム  <b>Microsoft Office Home and Business 2013</b>  <small>ビジネス</small>  <small>マイクロソフト エクセル</small>          ・ Microsoft Excel 2013  <small>マイクロソフト ワンノート</small>          ・ Microsoft OneNote 2013  <small>マイクロソフト アウトルック</small>          ・ Microsoft Outlook 2013  <small>マイクロソフト パワーポイント</small>          ・ Microsoft PowerPoint 2013  <small>マイクロソフト ワード</small>          ・ Microsoft Word 2013  <small>マイクロソフト パワーポイント</small>          ・ Microsoft PowerPoint 2013 楽しむ          もう フォト ウィザード</p>	<p><b>日本マイクロソフト株式会社</b>          技術サポート窓口          電話：0120-54-2244          受付時間：月～金／9:30～12:00、13:00～19:00、          土・日／10:00～17:00（日曜はインストール サポートのみ）          URL：<a href="http://support.microsoft.com/contactus/">http://support.microsoft.com/contactus/</a></p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

## ウイルス対策アプリなどで困ったときは

### マカフィー リブセーフのお問い合わせ先

<b>マカフィー リブセーフ</b>	<b>マカフィー株式会社</b> URL : <a href="http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/">http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/</a> ①テクニカルサポートセンター インストール方法、製品削除など技術に関するお問い合わせ窓口 電話 : 0570-060-033 (携帯電話からの場合 : 03-5428-2279) 受付時間 : 9:00 ~ 21:00 (年中無休) お問い合わせフォーム : <a href="http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/tspc_email.asp">http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/tspc_email.asp</a> ②カスタマーサービスセンター ご契約の更新、ご契約期間の確認など、ご契約に関するお問い合わせ窓口 電話 : 0570-030-088 (携帯電話からの場合 : 03-5428-1792) 受付時間 : 9:00 ~ 17:00 (祝祭日を除く) お問い合わせフォーム : <a href="http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_email.asp">http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_email.asp</a>  60 日間の試用期間中、サポートいたします。
--------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## その他のアプリのお問い合わせ先

記号	@nifty でブロードバンド	<b>ニフティ株式会社</b> @nifty お申し込み受付デスク 電話：0120-50-2210 ※携帯電話・PHS からもご利用可 受付時間：10:00～19:00（年中無休）
D	<b>DigiBook® Browser for FUJITSU</b>	<b>株式会社 DigiBook</b> 電話：03-6805-9240 FAX：03-5468-1250 受付時間：10:00～17:00 URL：https://secure.digibook.net/contact/ Eメール：info@digibook.net
I	<b>i-フィルター® 6.0</b>	<b>デジタルアーツ株式会社</b> サポートセンター 電話：0570-00-1334 受付時間：10:00～18:00（指定休業日を除く） URL：http://www.daj.jp/faq/ お問い合わせフォーム：http://www.daj.jp/ask/ 90日間の試用期間中、サポートいたします。
S	<b>Skype</b>	<b>日本マイクロソフト株式会社</b> URL：https://support.skype.com/ja/
か行	<b>学研パーソナル英和辞典 学研パーソナル和英辞典 学研パーソナル現代国語辞典 学研パーソナル版漢字辞典</b>	<b>株式会社学研教育出版</b> デジタルコンテンツ事業室 電話：03-3493-3286（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（→P.68）へお問い合わせください。
	<b>広辞苑第六版</b>	<b>株式会社岩波書店</b> 電子出版編集部 電話：03-5210-4082（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：13:00～17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（→P.68）へお問い合わせください。
さ行	<b>新和英中辞典第5版 リーダーズ英和辞典第3版</b>	<b>株式会社研究社</b> 電子出版室 電話：03-3288-7711（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（→P.68）へお問い合わせください。
	<b>ソフト使い放題</b>	<b>株式会社オプティム</b> ソフ得 ソフト使い放題サポートセンター 電話：ご契約前のお客様 03-6435-8566 ご契約後のお客様 050-3734-4960 受付時間：10:00～18:00（年中無休） FAQ：http://azby.fmworld.net/monthly/faq.html?unlimitedfrom=unlimitedNavi_faq#unlimited お問い合わせフォーム：http://www.optim.co.jp/contents/12049

※搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

は 行	<b>筆ぐるめ 21</b>	<b>富士ソフト株式会社</b> インフォメーションセンター 電話（ナビダイヤル）：0570-550-211 (IP 電話 /PHS の場合：03-5638-6139) 受付時間：9:30～12:00、13:00～17:00 (土日、祝祭日、及び弊社休業日を除く／11月1日から12月30日までは無 休（12月30日は12:00まで） URL：http://www.fudegurume.jp/ Eメール：users@fsi.co.jp
	<b>筆まめ Ver.24 ベーシック 富士通バンドル版</b>	電話（ナビダイヤル）：0570-666-226（ナビダイヤルがご利用いただけない 場合：042-679-7566） 受付時間：10:00～17:00（日曜、祝日除く） URL：http://fudemame-guide.com/support/product/fmfw24/faq/ ※本ソフトのサポートサービスは、2015年12月31日までです。

※搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。



その他のアプリについては、弊社がサポートいたします。「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（→ P.68）をご覧ください。



## よくあるトラブルと解決方法

### トラブルが発生した場合、まず次の点を確認してください

- 使用する装置（タブレットや周辺機器）の電源はすべて入っていますか？
- ケーブル類は正しいコネクタに接続されていますか？ また、ゆるんだりしていませんか？
- 電源コンセント自体に問題はありますか？  
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（ハブなど）の接続や電源も確認してください。
- タブレットを再起動するとトラブルが解消される場合があります。タブレットの操作が可能なときは、次の手順で再起動してください。
  1. 画面右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示します。
  2. 「設定」をタップします。
  3. 「電源」▶「再起動」の順にタップします。

### 起動・終了時のトラブル

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	ACアダプタが正しく接続されていない	ACアダプタが正しく接続されているか確認してください（→P.18）。
	バッテリー残量が少ない	ACアダプタを接続し、バッテリーを充電してください。
	上記の対処で解決しない	ACアダプタをいったん取り外し、強制終了スイッチ（→P.62）を押してから、再び取り付けてください。
画面に何も表示されない	画面が暗すぎる	次の手順で画面の明るさを調節してください。 <ol style="list-style-type: none"><li>1. 画面右端の外から中へスワイプして「チャーム」を表示し、（設定）をタップする。 『Windows 8.1基本操作クイックガイド』</li><li>2. 「設定チャーム」で「ディスプレイ」をタップする。</li><li>3. スライダーを上下に動かす。</li></ol>
	ディスプレイのバックライトが消灯している	画面をタップしてください。
	スリープになっている	電源ボタンを押してください。
	上記の対処で解決しない	電源ボタンを10秒以上押して電源を切り、10秒以上待ってから電源を入れ直してください。電源ボタンを10秒以上押しても電源が切れない場合は、ACアダプタを取り外してから強制終了スイッチを押してください（→P.62）。 なお、フラッシュメモリディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。

症状	考えられる原因	対処方法
Windows が起動しない	周辺機器が正しく取り付けられていない	周辺機器のマニュアルをご覧ください、正しく取り付けられているか確認してください。
	上記の対処で解決しない	ハードウェアの診断を行ってください (→ P.63)。
電源が切れない	Windows が正しく動いていない	次の手順で Windows を終了させてください。 フラッシュメモリディスクが動作しているときに電源を切ると、ファイルが失われたり、フラッシュメモリディスクが壊れたりする可能性がありますので、ご注意ください。 1.  を押しながら電源ボタンを押す。 2. 画面右下の  をタップして表示されるメニューで「シャットダウン」を選択する。
	上記の対処で解決しない	電源ボタンを 10 秒以上押し、電源を切ってください。電源ボタンを 10 秒以上押しても電源が切れない場合は、AC アダプタを取り外してから強制終了スイッチを押してください (→ P.62)。 なお、フラッシュメモリディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。

## Point

### ▶ 強制終了スイッチについて

電源ボタンで電源が切れなくなった場合は、タブレット本体裏面の強制終了スイッチを使用します。

AC アダプタを取り外し、クリップの先などを差し込んで押し、タブレットの電源が切れます。

強制終了スイッチを使用するときは、次の点にご注意ください。

- ・クリップの先などを差し込むときは、できるだけ垂直に、堅い物を押す感覚があるところまで差し込んでください。
- ・強制終了スイッチで電源を切った後、最初にタブレットの電源を入れるときには、必ず AC アダプタを接続した状態で電源ボタンを押してください。


## ディスプレイのトラブル

症状	考えられる原因	対処方法
画面に何も表示されない	「起動・終了時のトラブル」の「画面に何も表示されない」の項目をご覧ください (→ P.61)。	



## ここまでの確認でトラブルが解決しない場合

次の手順で表示される説明をご覧ください。

- 1  を押して、スタート画面を表示します。
- 2 「富士通アドバイザー」をタップします。  
「富士通アドバイザー」の画面が表示された場合は、内容をよくお読みになり、「同意する」をタップします。  
また、「富士通アドバイザーをバックグラウンドで実行しますか?」と表示された場合は、「許可」をタップします。
- 3 「富士通アドバイザー」の「トラブル解決」をタップします。

インターネットに接続して上記の操作を行うと、表示される内容が最新の状態に更新されます。

## 「富士通ハードウェア診断ツール」を使う

Windows が起動しなくなったときに、このタブレットのハードウェア (CPU、メモリ、ディスプレイ、フラッシュメモリディスク) に問題がないか診断します。

- 「トラブル解決ナビ」から起動できます。
- タブレット本体の電源を切り、あらかじめ周辺機器を取り外しておいてください。
- 診断したいハードウェアを選択できます。
- 診断時間は 5 ~ 20 分程度です。

### ■「富士通ハードウェア診断ツール」で診断する

- 1 「トラブル解決ナビ」を起動し (→ P.64)、「診断ツール」▶「富士通ハードウェア診断ツール」の順にタップします。  
「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「情報」ウィンドウが表示されます。
- 2 表示された注意事項をよく読み、「OK」をタップします。  
「情報」ウィンドウが閉じます。
- 3 診断したいアイコンにチェックが入っていることを確認し、「実行」をタップします。  
ハードウェア診断が始まります。  
診断時間は通常 5 ~ 20 分程度ですが、お使いのタブレットの環境によっては、長時間かかる場合があります。

### Point

- ▶ 診断を取りやめる場合は「キャンセル」をタップしてください。

- 4 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。

### ■エラーコードが表示された場合

メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。

### ■問題がない場合

診断後、「タブレットを以前の状態に戻す」 (→ P.64) に進んでください。

- 5 「診断結果」ウィンドウの「閉じる」をタップします。  
「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウに戻ります。
- 6 「終了」をタップします。  
「終了」ウィンドウが表示されます。
- 7 「はい」をタップします。  
「トラブル解決ナビ」ウィンドウに戻ります。
- 8 「終了」▶「シャットダウン」の順にタップします。  
タブレットの電源が切れます。

### Point

- ▶ Windows が起動しなくなったときは、起動メニューから起動できる「診断プログラム」を使用してもハードウェアの障害箇所を診断できます。診断時間は通常 5 ~ 20 分程度ですが、診断するタブレットの環境によっては長時間かかる場合があります。

1. BIOS の設定をご購入時の状態に戻します。
2. タブレット本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
3. タブレットの電源が入っていたら、電源を切ります。
4. 音量調節ボタン (–) を押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続けます。
5. 起動メニューが表示されたら、ボタンから指を離します。
6. 画面右下にある「Tab」をタップし、「アプリケーションメニュー」または「Application Menu」に切り替えます。
7. メニューが表示されたら、「診断プログラム」または「Diagnostic Program」をタップします。

8. 「診断プログラムを実行しますか？」または「Do you want to run Diagnostic Program?」と表示されたら、「実行」または「Run」をタップしてハードウェア診断を開始します。

ハードウェア診断が終了すると、診断結果が表示されます（お使いの機種によっては、いったんタブレットが再起動した後で診断結果が表示されます）。

- ・診断後にエラーコードが表示された場合は、メモしておき、サポートの窓口に伝えてください。
- ・トラブルが検出されなかった場合「再起動」または「Reboot」をタップしてください。
- ・トラブルが検出された場合画面に表示された内容をメモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。その後、「電源オフ」または「Power OFF」をタップしてタブレットの電源を切ってください。

## タブレットを以前の状態に戻す

ハードウェアに問題がなく、マニュアルやインターネットのQ&Aでも解決できなかった場合は、タブレットが問題なく動作していた時点の状態に戻す、という解決方法があります。

ただし、この解決方法は、今まで作成したCドライブ内のデータや設定がすべて削除されてしまうなど、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。

本当に必要かどうか再度確認してください。

どうしても必要な場合は、注意事項を必ず確認したうえで行ってください。

このタブレットでは2つのやり方でタブレットを以前の状態に戻すことができます。

- 「バックアップナビ」で「パソコンの状態」を復元する  
詳しくは、「バックアップ」(→ P.52) をご覧ください。  
「パソコンの状態」のバックアップを作成している場合、バックアップを作成した時点に戻すことができます。  
バックアップ後に行った設定や作成したデータなどは削除されます。

- ご購入時の状態に戻す

詳しくは、「ご購入時の状態に戻す」(→ P.72) をご覧ください。

「パソコンの状態」のバックアップを作成していない場合は、フラッシュメモリディスクの「リカバリ領域」のデータを使用し、ご購入時の状態に戻します。ご購入時の状態に戻るため、再度セットアップが必要です。現在お使いの状態に戻すには、アプリをインストールしたり、データを復元したりなど大変手間がかかります。

## 「トラブル解決ナビ」を起動する

### ■フラッシュメモリディスクから起動する

- 1 タブレット本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
- 2 タブレットの電源が入っていたら、電源を切ります。
- 3 音量調節ボタン(－)を押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続けます。
- 4 起動メニューが表示されたら、ボタンから指を離します。

### Point


- ▶ Windowsが起動してしまった場合は、手順2から操作をやり直してください。

- 5 画面右下にある「Tab」をタップし、「アプリケーションメニュー」または「Application Menu」に切り替えます。
- 6 メニューが表示されたら、「トラブル解決ナビ」または「Recovery and Utility」をタップします。「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

### ■「トラブル解決ナビディスク（リカバリ起動ディスク）」から起動する

◎「トラブル解決ナビディスク（リカバリ起動ディスク）」から「トラブル解決ナビ」を起動する方法です。タブレットを廃棄するときやリカバリ領域の削除／復元をするときなど、特別な操作をするときだけ行います。

## 重要

- ▶ この操作を行う場合は、次のディスクや機器(別売)が必要です。
    - ・リカバリディスクセット  
購入について詳しくは、「ディスクが必要な場合」(→ P.73)をご覧ください。
    - ・ポータブル CD/DVD ドライブ  
「スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM54)」をお勧めします。
    - ・USB 変換アダプタ (FMV-NCBL19)  
ポータブル CD/DVD ドライブをお使いになる場合に必要です。
  - ▶ この操作を行う場合、AC アダプタを接続できません。このため、バッテリーが充電されていることを事前に確認してから操作してください。
- 1 タブレット本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
  - 2 ポータブル CD/DVD ドライブを接続します。  
詳しくは、ポータブル CD/DVD ドライブに添付されているマニュアルをご覧ください。
  - 3 タブレットの電源が入っていたら、電源を切ります (→ P.117)。
  - 4 音量調節ボタン (–) を押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続けます。
  - 5 起動メニューが表示されたら、ボタンから指を離します。  
「アプリケーションメニュー」または「Application Menu」が表示された場合は、画面右下にある「Tab」をタップし、「起動メニュー」または「Boot Menu」に切り替えます。
  - 6  「トラブル解決ナビディスク (リカバリ起動ディスク)」をセットします。  
認識されるまで 30 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。
  - 7 「CD/DVD」や「CD/DVD Drive」などをタップします。
  - 8 そのまましばらくお待ちください。  
この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。
  - 9 「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

## ■「トラブル解決ナビ」が起動しない場合の解決方法

「トラブル解決ナビ」が表示されない場合は、次のように対処してください。

- BIOS の設定をご購入時の状態に戻すと解決する場合があります (→ P.65)。
- 市販のアプリや、Windows の「ディスクの管理」で領域設定を変更している場合は、「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を実行してください。  
詳しくは、「フラッシュメモリディスクの領域について」(→ P.106)をご覧ください。

### □ BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

- 1 タブレット本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
- 2 タブレットの電源が入っていたら、電源を切ります。
- 3 音量調節ボタン (+) を押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続けます。
- 4 BIOS の画面が表示されたら、ボタンから指を離します。

### Point

- ▶ Windows が起動してしまった場合は、手順 2 から操作をやり直してください。
- ▶ BIOS の画面が表示されず、Windows も起動しない場合は、電源ボタンを 10 秒以上押し続けて電源を切り、10 秒以上待った後、手順 3 から操作をやり直してください。

- 5 「終了」または「Exit」メニュー▶「標準設定値を読み込む」または「Load Setup Defaults」の順にタップします。
- 6 「はい」または「Yes」をタップします。
- 7 「変更を保存して終了する」または「Exit Saving Changes」をタップします。
- 8 「はい」または「Yes」をタップします。

BIOS セットアップについて詳しくは、「BIOS の設定」(→ P.108)をご覧ください。

# 富士通の窓口にご相談する

## ユーザー登録のご案内

### ■ユーザー登録とは

ご購入されたタブレットとお客様の情報を、富士通に登録していただくことです（入会費・年会費無料）。ユーザー登録をすると、1年間の無料電話相談などの手厚いサポートや専用の充実したサービスをご利用いただけます。

#### 重要

- ▶ ご登録いただける住所は、日本国内のみとなります。

### ■ユーザー登録をする

ここではインターネットでユーザー登録する方法を説明します。操作できない場合など、ユーザー登録に関するお問い合わせは、「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.68）の「電話で相談する」をご覧ください。

#### □必要なものを用意してください

##### ●保証書

製品の情報を確認するときに必要になります。登録後も大切に保管してください。



保証開始日

#### Point

- ▶ 保証開始日に初めて電源を入れた日を記入してください。  
保証開始日は「パソコンの情報」から確認できます。スタート画面でまっすぐ上にスライドし、「サポートツール」の「パソコンの情報」をタップしてください。

##### ●筆記用具

ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号などを本マニュアルに控えていただくときに必要になります。

#### □ユーザー登録方法

セットアップ後に表示された「はじめに行う設定」の「ユーザー登録を表示」のリンクをタップすると、インターネットのユーザー登録専用ホームページが表示されます。

#### 1 画面上の説明をお読みになり、手続きを行ってください。

ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号などを、次の欄に記入して、大切に保管してください。記入後は第三者に漏れないよう注意してください。

#### Point

- ▶ ユーザー登録専用ホームページを表示するにはインターネットに接続する必要があります。
- ▶ ユーザー登録にはメールアドレスが必要です。
- ▶ スタート画面で「富士通パソコンユーザー登録」をタップしてもユーザー登録専用ホームページを表示することができます。



## サポート&サービス紹介

富士通のタブレットをより楽しく快適に利用いただくために、インターネット上のサポートページやサービスをご用意しております。

### ■サポートページ

<http://azby.fmworld.net/support/>



(画面は状況により異なります)

富士通タブレットユーザーのためのサポートページです。

過去に電話窓口などにお問い合わせいただいたときの履歴をご確認いただくことができます。

富士通からの重要なお知らせなど、役立つ内容があります。

### □新着情報

すぐに使えるテクニックや、富士通タブレットユーザー向けのサービス情報などが毎週更新されます。

### ■会員専用サポート

マニュアルや、サポートページなどで確認しても、問題が解決できない場合、電話やメールで技術相談を受けられます。

詳しくは、「お問い合わせ窓口のご紹介」(→ P.68)をご覧ください。

## ■お問い合わせ窓口のご紹介

### 富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口

お客様に合わせた様々な方法でお問い合わせができます。

メール Twitter ネットで故障診断 電話予約 電話 が、ご利用できます。

技術相談も、修理相談もワンストップで解決！ より便利に簡単にご利用できる窓口になりました。

富士通FMVサポートページ <http://azby.fmworld.net/support/> ※最新の情報はホームページをご覧ください。



#### “メール”で相談する

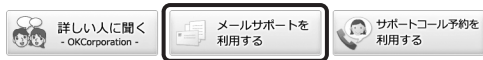
メール

ホームページ上の専用の質問フォームから送信いただいたFMVに関するお問い合わせを受け付け、Eメールで回答いたします。Q&A・パソコン活用情報を検索後にお問い合わせいただけます。

- ① Q&Aで調べる
- ② 質問フォームに入力する
- ③ メールで回答

各Q&Aページの下の方に質問フォームを表示するボタンがあります。

Q&Aで問題が解決しなときは、下記の方法もお試ください。



\*ユーザー登録が必要となります。

タブレット スマートフォン



#### “Twitter”でアドバイスを受ける

Twitter

TwitterのFMV公式アカウントを、ぜひフォローしてください。お役立ちQ&Aをご紹介します。お困り内容をつぶやくと、担当者からアドバイスが届くことも！（「富士通」[FMV]「My Cloud」などの言葉を交えてツイートしてみましょう）

FMV公式アカウント：@Fujitsu\_FMV\_QA

- \*お問い合わせにはTwitterへのログインが必要となります。
- \*お客様に沿った案内が必要な場合は、メールでの相談をご案内する場合がございます。
- \*お問い合わせいただいたすべてのご質問にお答えできない場合もございます。
- \*Twitterの特性を最大限に生かすため、お客様とのやりとりはみなさまに見える状態でツイートいたします。

タブレット スマートフォン



#### “インターネットで故障を診断”する

ネットで故障診断

画面にしたがって状況を確認したり設定を変更したりするだけでトラブルを診断し、解決方法をアドバイスします。故障と診断された場合は、その場で修理申し込みができます。

<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>

トラブル診断



もっと詳しく知りたい！



タブレット スマートフォン

電話予約

電話

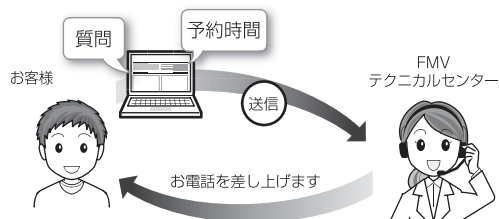
#### “電話”で相談する

\*ご利用料金に関しては、次ページの「ご利用料金とお支払いについて」をご覧ください。

#### 電話相談の“予約”をする

お客様がホームページよりご予約された時間帯に、FMVテクニカルセンターのサポート担当者からお電話を差し上げ、ご予約の際に入力されたご質問にお答えします。

<https://azby.fmworld.net/callback/>



- \*ユーザー登録が必要となります。
- \*富士通からお電話をかける連絡先は、日本国内に限らせていただきます。また日本語対応のみとなります。

タブレット スマートフォン

#### お困りごとのご相談はこちら

通話料無料 **0120-950-222** 受付時間：9:00～19:00(注)

携帯電話、PHS、IP電話、海外からはこちら **045-514-2255**  
(通話料金お客様負担) 受付時間：9:00～17:00

#### 修理受付はこちら

通話料無料 **0120-926-220** 受付時間：9:00～19:00(注)

携帯電話、PHS、IP電話、海外からはこちら **045-514-2260**  
(通話料金お客様負担) 受付時間：9:00～17:00

- 注：受付時間は窓口によって異なります。ガイダンスに従ってご利用ください。
- \*電話番号はお間違えのないように、十分ご確認のうえおかけください。
- \*システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
- \*音声ガイダンス内容・操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。
- \*ユーザー登録されている電話番号をお客様の発信番号が一致した場合には、ユーザー登録番号の入力が省略できます。
- 非通知設定による発信や、ユーザー登録されている番号と異なる発信番号等、一部ユーザー登録情報の確認ができない場合は、音声ガイダンスの指示に従ってユーザー登録番号を入力してください。

## □ご利用料金とお支払いについて

### ●ご利用料金

- ・タブレット本体に初めて電源を入れた日（保証開始日）から、**1年間無料**でご利用いただけます。[注]

注： Refreshed PCに関する電話による技術サポートに関しては、1年目もお問い合わせ1件あたり2,060円（税込）となります。

また、受付時間は月～金曜日（祝日を除く）9時～17時となります。

- ・2年目以降

お問い合わせ1件あたり2,060円（税込）

※ My CloudカードまたはAzbyClubカードでお支払いの場合は、1,540円/件（税込）でご利用いただけます。My CloudカードおよびAzbyClubカードについて詳しくは、(<http://azby.fmworld.net/members/mycloudcard/>) をご覧ください。

※ プレミアムサービスに利用登録されているお客様のご利用料金につきましては、プレミアムサービスの専用ホームページにてご案内いたします。



- ▶ お問い合わせ1件は、お電話の回数ではなく、技術相談1項目ごとに1件と扱います。同じご相談内容であれば次回お問い合わせいただく際、料金は加算いたしません。（ただし14日以内に限りです）

### ●お支払い方法

お支払い方法は、音声ガイダンスに従って、次のいずれかを選択してください。

クレジット カード支払い	音声ガイダンスで、クレジット カード番号、有効期限の入力をお 願います。
コンビニ振込	コンビニ振込をご利用の場合は、 手数料が別途210円かかります。

## □お問い合わせ前に確認してください

- 「サポートページ」(<http://azby.fmworld.net/support/>) で解決方法を確認しましたか？  
知りたい情報やトラブル解決方法をお調べいただけます。
- ユーザー登録はしましたか？  
電話サポートの利用にはユーザー登録が必要です。  
ユーザー登録方法は「ユーザー登録のご案内」(→ P.66) をご覧ください。

- アプリのお問い合わせ先を確認しましたか？  
各アプリ提供会社のお問い合わせ先は、「メールやOffice で困ったときは」(→ P.57) および「ウイルス対策アプリなどで困ったときは」(→ P.58) をご覧ください。
- お使いのタブレットをお手元にご用意いただいていますか？  
お電話中に操作を行っていただく場合がございますので、お手元にご用意ください。
- データのバックアップはしましたか？  
大切なデータの予備を保存しておく、安心です。  
バックアップ方法については、「バックアップ」(→ P.52) をご覧ください。

## ■修理を申し込む前の準備

- 故障かどうかをもう一度ご確認ください  
タブレットのトラブルは、設定の誤りなど、故障以外が原因のこともあります。実際に「故障や修理に関する受付窓口」へのお電話の半数以上は、タブレットの故障ではなく、設定を変更することで問題が解決しています。  
「ネットで故障診断」(<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>) で、本当にタブレットが故障しているか確認してください。
- 修理規定をご確認ください  
お申し込み前に必ず「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」(→ P.119) を確認のうえ、同意をお願いします。
- 修理料金の目安を確認できます  
ホームページで概算修理料金をご覧ください。  
<http://azby.fmworld.net/support/repair/syuribin/charge.html>
- 保証書をお手元にご用意ください  
保証期間は、初めてタブレット本体の電源を入れた日（保証開始日）から1年間となります。保証期間内は無料で修理させていただきます。  
ただし、保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書裏面「無料修理規定」を確認してください。



- ▶ 保証開始日は「パソコンの情報」から確認できます。スタート画面でまっすぐ上にスライドし、「サポートツール」の「パソコンの情報」をタップしてください。

- 故障品をお手元にご用意ください  
お申し込み時に操作いただく場合があるため、お手元に故障品をご用意ください。
- データのバックアップをおとりください  
修理前の診断作業および修理の結果、記憶装置（フラッシュメモリディスクなど）内に記録されたお客様データが消失する場合があります。弊社ではいかなる作業においても、お客様のデータの保証はいたしかねるため、大切なデータは必ずお客様自身で microSD カードにバックアップしてください。バックアップの方法については、「バックアップ」(→ P.52) をご覧ください。  
また、タブレットの故障などによりお客様がバックアップできない場合には、「PC データ復旧サービス」(有料) もご利用いただけます。

### PCデータ復旧サービス(有料)

<http://azby.fmworld.net/datarescue/>

### ■修理の申し込み

タブレットの修理は、ホームページまたは電話でお申し込みください。

#### □ホームページで申し込む(ネットで故障診断)

「ネットで故障診断」では、タブレットが故障しているかどうかを調べることができます。

故障と診断された場合は、ホームページから修理を申し込むことができます。

### ネットで故障診断

<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>

#### □電話で申し込む

「お問い合わせ窓口のご紹介」(→ P.68) の「修理受付はこちら」をご覧ください。

### 重要

- ▶修理のために交換した故障部品は返却しません。あらかじめご了承ください。
- ▶修理のお申し込みの際は、お客様の名前や電話番号をお伺いいたします。お客様の個人情報の取り扱いについては「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」(→ P.119) の第 13 条(個人情報の取り扱い) をご覧ください。

### ■お引き取りとお届け(パソコン修理便)

弊社指定の宅配業者がご自宅へタブレットをお引き取りに伺います。

お引き取りから修理・お届けまで約 7 日間です(土・日・祝日を含む)。[注]

注：修理の内容によっては、日数を要する場合があります。  
また、離島の場合は船便のための日数がかかります。

#### □お引き取り日時について

お引き取りは、修理受付の翌日以降、弊社設定の時間帯(9:00～21:00[注])で指定できます。

注：地域により異なります。お申し込み時にご確認ください。また、交通事情などにより指定日時にお伺いできない場合があります。

#### □お引き取りについて

宅配業者が指定日時にご自宅へ伺います。

梱包は宅配業者が行いますので、故障品は梱包せずに玄関先にご準備ください。

### 重要

- ▶次の各種パスワードは事前に解除してください。確認のために修理作業が中断し、修理に時間がかかる場合があります。

- ・ BIOS パスワード
- ・ ハードディスクパスワード

- 保証書を用意してください(保証期間中の場合)。宅配業者が故障品といっしょに梱包いたします。

- 宅配業者がお渡しする「お預かり伝票」を大切に保管してください。

- お引き取り後のキャンセルについては、診断料を申し受けます。あらかじめご了承ください。

- 「修理状況確認サービス」

(<http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/>)で携帯電話やスマートフォン、タブレットのメールアドレスをご登録ください。故障品の当社への到着、お見積もり発行時の連絡、修理完了品の発送、お届け予定日などをメールでお知らせします。

#### □お届けとお支払いについて

修理完了品を玄関先までお届けします。有料の場合は代金引換払いとなりますので、宅配業者に現金でお支払いください。

- 修理料金について

- ・保証期間内(保証開始日より 1 年間)：無料(保証書記載の「無料修理規定」による)
- ・保証期間外：有料(修理にかかる部品代、技術料等)

※交通事情などにより、ご指定の日時にお伺いできない場合があります。



## ■修理状況の確認

ホームページや電話で、修理状況を確認できます。

### □ホームページで確認する（修理状況確認サービス）

タブレット、スマートフォン、携帯電話（iモード、Ezweb、Yahoo! ケータイ）で「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」（8桁の番号）を入力して、修理状況を確認できます。

### 修理状況確認サービス

タブレット・スマートフォン・携帯電話から  
<http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/>

バーコード読み取り機能付きのスマートフォンや携帯電話では、右のバーコードからアクセスいただけます。



※ 携帯電話、スマートフォンの操作方法については、お使いの機種メーカーにお問い合わせください。

### □電話で確認する

音声ガイダンスに従ってダイヤルを押してください。「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」（8桁の番号）と、修理お申し込み時にご登録されたお電話番号を入力してください。

## 富士通修理お問い合わせダイヤル

キューニーロク ニーニーマル  
**0120-926-220**

▶▶ダイヤル **3** をプッシュ

☎ 通話料無料 / 受付時間：24時間365日

携帯電話,PHS, 海外からはこちら

ゴーチヨン ニーニーロクマル  
**045-514-2260**

（通話料金お客様負担）

受付時間：9：00～17：00

※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

## ■訪問修理サービス（有料）

弊社指定の修理サービス会社がご自宅に伺い、その場で修理を行う有料サービスです。

ご利用料金は、修理作業完了後に、修理担当者に現金でお支払いください。

### ●訪問修理の料金体系

	訪問料金	修理料金
保証期間内 （保証開始日より 1年間）	有料	無料 （保証書記載の「無料修理規定」による）
保証期間外	有料	有料

※ 離島の場合は、訪問料金とは別に、訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をご負担いただく場合があります。訪問修理サービスの詳細は、「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.68）の「修理受付はこちら」にお問い合わせください。

## ■PC引取点検サービス（有料）

タブレットを安心して長く使っていただくために、ハードウェア・アプリの点検や、タブレット内部の清掃を行う有料サービスです。

### PC引取点検サービス

<http://azby.fmworld.net/support/repair/tenken>

## ご購入時の状態に戻すリカバリとは

リカバリとは、タブレットを以前の状態に戻す操作です。

「よくあるトラブルと解決方法」(→ P.61) と「富士通アドバイザー」のトラブル解決をご覧になり、すべて対処しても解決しなかった場合のみ行います。

ここではCドライブをご購入時の状態に戻すリカバリについて説明します。

- ご購入時の状態に戻すリカバリの仕組み  
Cドライブをご購入時の状態に戻すリカバリは、フラッシュメモリディスクの「リカバリ領域」という場所に保存されているデータを使用します。「リカバリ領域」のデータでCドライブをまるごと上書きします。
- 現在のCドライブのデータについて  
Cドライブをまるごとご購入時の状態にするため、今まで作成したCドライブ内のデータや設定がすべて削除されてしまいます。そのためリカバリ後には、セットアップを行ったり、必要に応じてアプリをインストールしたり、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。

### 重要

- ▶リカバリする場合は必ず、バックアップをとってください。
- ▶リカバリ領域が破損してしまったなどの場合、ご購入時の状態に戻すには、「リカバリディスクセット」を購入する必要があります。詳しくは「ディスクが必要な場合」(→ P.73) をご覧ください。

## ご購入時の状態に戻すリカバリの準備

### ご購入時の状態に戻すリカバリの注意

#### ■必ずバックアップをとってください

リカバリを行うと、Cドライブのデータはすべて削除されます。

必要なデータはバックアップしてください。

- Windows が起動できるときは、「バックアップ」(→ P.52) をご覧ください。

#### ■必ずタブレット本体に AC アダプタを接続して本体のみでリカバリを行ってください

#### ■外付けハードディスクやUSB メモリは必ず取り外してください

リカバリを行う前に必ず取り外してください。接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

#### ■周辺機器 (プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなどの装置、HDMI 入力/出力端子、USB コネクタに接続しているすべての周辺機器) は取り外してください

接続したままだとマニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

#### ■メモリーカードは取り出してください

メモリーカードをセットしていると、マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

#### ■ファイルコピー中は他の操作をしないでください

むやみにタップせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、リカバリが正常に終了しない場合があります。

#### ■時間に余裕をもって作業しましょう

リカバリ実行からアプリのインストール終了まで、早く終了する機種でも2～3時間がかかります。

半日以上は時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

## 作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法

### ■画面が真っ暗になった

画面が真っ暗になった場合は、省電力機能が働いた可能性があります。

Windows ボタン  を押してください。

それでも復帰しない場合は、電源ボタンをポチッと押してください。

### ■電源が切れない

電源ボタンを 10 秒以上押し続けて電源を切ってください。

## ディスクが必要な場合

- リカバリ領域が破損してしまったなどの場合、「リカバリディスクセット」が必要です  
弊社のホームページから購入してください。  
「リカバリディスク有償サービス」  
<http://azby.fmworld.net/support/attachdisk/>  
・「リカバリディスクセット」を使い、タブレットをご購入時の状態に戻す場合は、フラッシュメモリディスク全体をリカバリします。このとき、別売のポータブル CD/DVD ドライブと USB 変換アダプタも必要です。詳しくは「フラッシュメモリディスクの領域について」の「リカバリ領域を復元する」(→ P.106) をご覧ください。

## ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する

準備ができたならリカバリを実行します。フラッシュメモリディスクの C ドライブの内容がいったんすべて消去され、リカバリ領域から Windows やアプリがインストールされてご購入時の状態に戻ります。

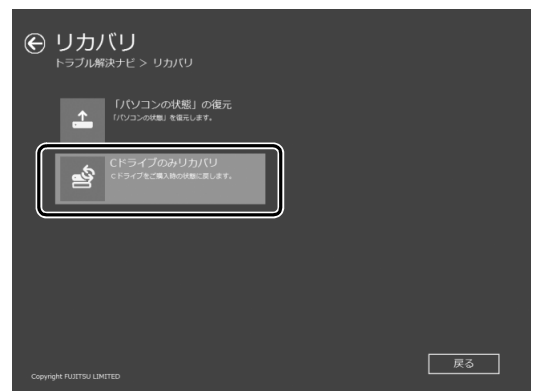
## C ドライブを初期状態に戻す

- 1 「トラブル解決ナビ」を起動します。  
「トラブル解決ナビ」を起動する(→ P.64) をご覧ください。
- 2 「リカバリ」をタップします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります。)

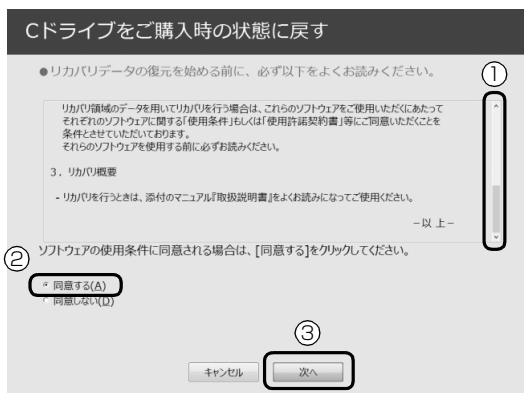
- 3 「C ドライブのみリカバリ」をタップします。



#### 4 「次へ」をタップします。



#### 5 「ご使用上の注意」の内容を確認し、次の画面の操作をします。



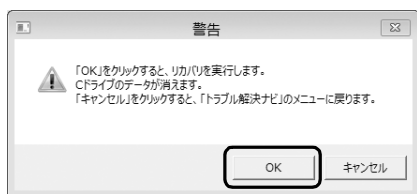
① 「ご使用上の注意」を下までスクロールして確認します。

「同意する」が選択できるようになります。

② 「同意する」をタップして  にします。

③ 「次へ」をタップします。

#### 6 警告画面で、「OK」をタップします。



復元の進行状況を示す画面が表示され、ご購入時の状態に戻すリカバリが始まります。

リカバリ途中で計算し直しているため、終了までのパーセンテージは正確に表示されない場合や増える場合があります。

#### 7 そのまましばらくお待ちください。

しばらくすると、「ディスクの復元が完了しました。」と表示されます。

#### 8 「完了」をタップします。

タブレットの電源が自動的に切れます。

### Windows のセットアップをする

これで Windows がご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れたときと同じように、Windows のセットアップが必要です。「セットアップする」(→ P.17) をご覧になり、セットアップしてください。

なお、電源は 30 秒以上待ってから入れてください。

#### ■セットアップ時の注意事項

- ユーザー登録は再度行う必要はありません。
- すでに Microsoft アカウントを取得されているため、「Windows のセットアップをする」の手順 11 では Microsoft アカウントを入力し、「次へ」をタップしてください。その後は画面の指示に従って操作してください。

## ディスプレイ

### 解像度と発色数についての注意

タブレットの画面は、タブレット本体の液晶ディスプレイの他に、次のディスプレイやテレビにも表示することができます。

#### ■接続できるディスプレイ

- タブレット本体の HDMI 出力端子 (microHDMI コネクタ) に接続したデジタルテレビ

#### Point

- ▶ タブレット本体の HDMI 出力端子 (microHDMI コネクタ) に別売の VGA 変換アダプタを接続すると、アナログディスプレイを接続できます。

#### ■注意事項

ディスプレイにタブレットの画面を表示するときは、次の点に注意してください。

- アプリによっては、解像度の設定により、正常に動作しないことがあります。アプリの動作環境を確認し、解像度を変更してください。
- 外部ディスプレイやデジタルテレビで表示できる解像度は、ディスプレイによって異なります。外部ディスプレイやデジタルテレビのマニュアルでご確認ください。
- プラグアンドプレイに対応している外部ディスプレイやデジタルテレビの場合、最大解像度は、液晶ディスプレイまたは接続したディスプレイの、どちらかの最大解像度の小さい方に設定されます。
- 同時表示を選択した場合、外部ディスプレイやデジタルテレビの画面は、液晶ディスプレイの画面と同一の解像度になります。
- 解像度を切り替えるときなどに、一時的に表示画面が乱れることがあります。故障ではありません。
- 同時表示時に、外部ディスプレイやデジタルテレビの画面が正しく表示されないことがあります。
- 解像度と発色数は、「外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数」(→ P.77) の表の組み合わせ以外には設定しないでください。

- 画面の解像度、およびリフレッシュレートを変更するときは、起動中のアプリや常駐しているプログラムを終了させてください。また、変更後は必ずタブレットを再起動してください。
- HDMI 出力端子で出力した場合、出力先のデジタルテレビでは画面の端が一部欠けることがあります。このような場合は、外部ディスプレイやデジタルテレビ側で設定を「ドットバイドット表示」などに変更してください。  
詳しくは、お使いのデジタルテレビや外部ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

### 液晶ディスプレイに表示できる解像度と発色数

液晶ディスプレイに表示できる解像度と発色数は、次のとおりです。

解像度 (ピクセル)	発色数
768 × 1024	約 1677 万色
800 × 1280	

### 外部ディスプレイやデジタルテレビの接続

#### ■外部ディスプレイやデジタルテレビを接続すること

タブレット本体に外部ディスプレイやデジタルテレビを接続することで、次のことができます。

- 表示するディスプレイを切り替える。
- 2つのディスプレイに同時に表示する。
- 2つのディスプレイで1つのデスクトップを表示する (マルチモニター機能)。
- 接続したデジタルテレビやディスプレイで音声を出力する。

ここでは、外部ディスプレイやデジタルテレビを接続する手順について説明しています。

#### 重要

- ▶ HDMI出力端子に接続したデジタルテレビやディスプレイで音声を出力するには、設定が必要な場合があります (→ P.85)。

## ■必要なものを用意する

### □外部ディスプレイやデジタルテレビ

外部ディスプレイやデジタルテレビによって接続するコネクタや接続方法が異なります。それぞれ次のコネクタなどに接続します。接続するときは、必ず外部ディスプレイやデジタルテレビのマニュアルもご覧ください。

#### ●外部ディスプレイをアナログ接続する場合

- ・タブレット本体の HDMI 出力端子 (microHDMI コネクタ) に別売の VGA 変換アダプタを使って接続できます。

#### ●デジタルテレビや液晶ディスプレイで HDMI 対応のものを接続する場合

- ・タブレット本体の HDMI 出力端子 (microHDMI コネクタ) に microHDMI ケーブルを使って接続します。

### □外部ディスプレイやデジタルテレビのマニュアル

外部ディスプレイやデジタルテレビにより接続方法が異なります。必ず外部ディスプレイやデジタルテレビのマニュアルもご覧ください。

## ■外部ディスプレイやデジタルテレビを接続する

### 警告



- 外部ディスプレイやデジタルテレビの接続/取り外しを行う場合は、必ずタブレット本体の電源を切り、AC アダプタを取り外してください。感電の原因となります。

**1** タブレット本体の電源を切り、AC アダプタを接続している場合は、取り外します。

**2** タブレット本体にケーブルを接続します。

必要に応じて別売の VGA 変換アダプタを先に接続してください。

接続するコネクタにより使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、「必要なものを用意する」(→ P.76) をご覧ください。

また、コネクタの場所については、「各部の名称と働き」(→ P.35) をご覧ください。

**3** 外部ディスプレイやデジタルテレビにケーブルのもう一方のコネクタを接続します。

接続方法は、外部ディスプレイやデジタルテレビのマニュアルをご覧ください。

**4** 外部ディスプレイやデジタルテレビの電源ケーブルを接続して、電源を入れます。

**5** タブレット本体の電源を入れます。

外部ディスプレイなどを接続する場合は、消費電力が大きいので、AC アダプタのご使用をお勧めします。

必要に応じて、表示するディスプレイを切り替えてください。

外部ディスプレイやデジタルテレビ接続後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示された場合は、次のように対応してください。

- 外部ディスプレイやデジタルテレビに CD-ROM などが必要なファイルが添付されていることがあります。この場合は、添付のマニュアルをご覧ください。必要なファイルをインストールしてください。

### Point

▶ 外部ディスプレイやデジタルテレビを接続後、接続したディスプレイのみに表示する設定にしても、接続するディスプレイによっては、タブレット本体の液晶ディスプレイと接続したディスプレイの両方に画面が表示されることがあります。必要に応じて、表示するディスプレイを切り替えてください。

▶ 液晶ディスプレイや接続した外部ディスプレイやデジタルテレビに、タブレットの画面を表示するときの画面の解像度については、「解像度と発色数についての注意」(→ P.75) をご覧ください。

## 外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数

### □外部ディスプレイコネクタに接続したディスプレイの場合

接続した外部ディスプレイがサポートしている次の解像度を表示できます。

外部ディスプレイがこの解像度をサポートしているかどうかは、お使いの外部ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

解像度 (ピクセル) <sup>[注1]</sup>	発色数
1024 × 768	約 1677 万色
1280 × 800	
1280 × 1024	
1360 × 768	
1440 × 900	
1600 × 900	
1600 × 1200	
1680 × 1050	
1920 × 1080	
1920 × 1200 <sup>[注2]</sup>	

注1 外部ディスプレイの解像度と同じ場合、表示できます。

注2 アナログ RGB での最大サポート解像度は 1920 × 1200 ドット、60Hz(CVT RB, Coordinated Video Timings Reduced Blanking) です。お使いのディスプレイが 1920 × 1200 ドット表示を CVT RB で対応していれば選択できますが、CVT RB ではなく、Standard Timings で対応している場合には選択できず、1920 × 1080、1680 × 1050 などの解像度が選択可能な解像度になります。

### □HDMI出力端子に接続したデジタルテレビやディスプレイの場合

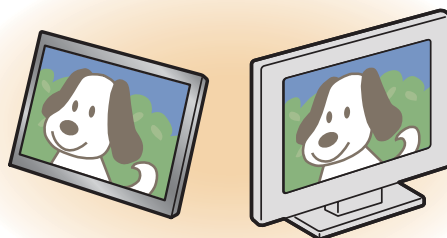
接続したデジタルテレビやディスプレイがサポートしている次の解像度を表示できます。

デジタルテレビやディスプレイがこの解像度をサポートしているかどうかは、お使いのデジタルテレビやディスプレイのマニュアルをご覧ください。

解像度 (ピクセル) <sup>[注]</sup>	発色数
1280 × 720 (720p)	約 1677 万色
1360 × 768	
1920 × 1080 (1080i, 1080p)	

注 接続したデジタルテレビやディスプレイの解像度より大きい解像度の場合は表示できません。

### □液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示の場合



●同時表示を行う場合、表示するディスプレイを次のように設定してください。

#### ・液晶ディスプレイ

メインディスプレイ (またはプライマリデバイス) :  
内蔵ディスプレイ (またはノートブック、Notebook)

#### ・外部ディスプレイ

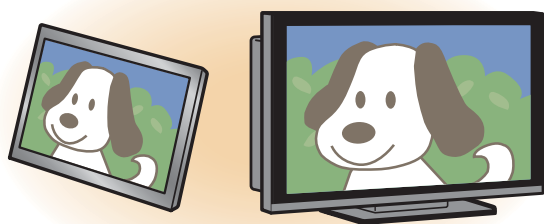
2番目のディスプレイ (またはセカンダリデバイス) :  
PC モニター nnn (または PC モニタ)

nnn には、お使いのディスプレイの型名が表示されます。お使いのタブレットの液晶ディスプレイの解像度は、「液晶ディスプレイに表示できる解像度と発色数」(→ P.75) をご確認ください。

- 外部ディスプレイの解像度は、外部ディスプレイのマニュアルにてご確認ください。
- 同時表示を行う場合、タブレット本体、外部ディスプレイともに、画面は横向き表示固定になります。画面表示の回転はできません。
- 液晶ディスプレイの解像度以下であり、かつ、お使いの外部ディスプレイがサポートしている次の解像度を表示できます。

解像度 (ピクセル)	発色数
1024 × 768	約 1677 万色
1280 × 800	

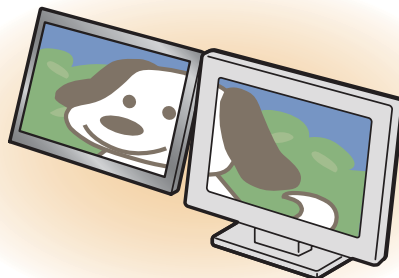
□液晶ディスプレイとデジタルテレビの同時表示の場合



- 同時表示を行う場合、液晶ディスプレイ、デジタルテレビともに、横向き表示固定になります。タブレット本体の画面表示の回転はできません。
- 同時表示を行う場合、表示するディスプレイを次のように設定してください。
  - ・液晶ディスプレイ
    - メインディスプレイ (またはプライマリデバイス) : 内蔵ディスプレイ (またはノートブック、Notebook)
  - ・デジタルテレビ
    - 2番目のディスプレイ (またはセカンダリデバイス) : デジタルテレビ
- 接続したデジタルテレビがサポートしている次の解像度を表示できます。

解像度 (ピクセル)	発色数
1280 × 720	約 1677 万色

□マルチモニターの場合



- マルチモニター機能をお使いになる場合、液晶ディスプレイは縦向き表示固定に、外部ディスプレイやデジタルテレビは横向き表示固定になります。タブレット本体の画面表示の回転はできません。
  - マルチモニター機能をお使いになるときは、表示するディスプレイを次のように設定してください。
    - ・液晶ディスプレイ
      - メインディスプレイ (またはプライマリデバイス) : 内蔵ディスプレイ (またはノートブック、Notebook)
    - ・外部ディスプレイやデジタルテレビ
      - 2番目のディスプレイ (またはセカンダリデバイス) : PC モニター nnn (または PC モニタ、デジタルテレビ)
- nnn には、お使いのディスプレイの型名が表示されます。接続したディスプレイに表示できるそれぞれの解像度で表示できます。ただし、1920 × 1080 より大きい解像度には表示できません。




## 画面の解像度の変更

ここでは、ディスプレイにタブレットの画面を表示するときの、画面の解像度を変更する方法について説明しています。

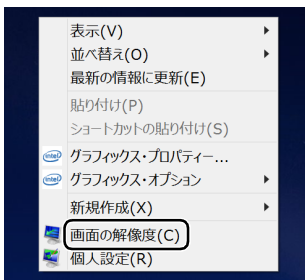
### 重要

- ▶ 設定変更時の画面表示の乱れについて  
解像度を変更するときに一時的に画面表示が乱れることがあります。故障ではありません。

### 1 スタート画面で「デスクトップ」をタップします。

 『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』


### 2 デスクトップ画面の何もないとこを右タップし、表示されるメニューから、「画面の解像度」をタップします。




(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

「画面の解像度」ウィンドウが表示されます。

### 3 解像度を変更します。

「解像度」の  をタップし、表示される画面で解像度を選択します。




解像度の変更  
 をドラッグします。

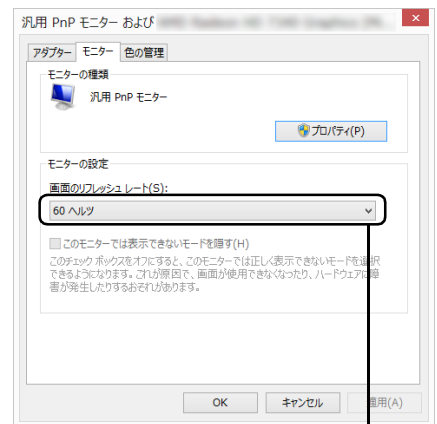
接続した外部ディスプレイやデジタルテレビの解像度を変更したい場合は、「ディスプレイ表示の変更」でディスプレイを選んでから設定してください。設定可能な解像度は外部ディスプレイやデジタルテレビのマニュアルをご覧ください。


### 4 「適用」をタップします。

設定を確認するウィンドウが表示されたら、「変更を維持する」をタップします。

#### ■ リフレッシュレートの変更

1. 「画面の解像度」ウィンドウで「詳細設定」をタップし、表示されたウィンドウで「モニター」タブをタップします。
2. リフレッシュレートの  をタップし、表示されるメニューからリフレッシュレートを変更します。



 をタップして選びます。

### 3. 「適用」をタップします。

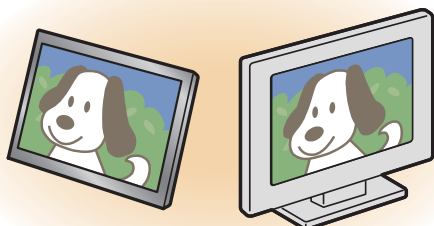
設定を確認するウィンドウが表示されたら、「変更を維持する」をタップし、「OK」をタップします。

### 5 「OK」をタップします。

## 表示するディスプレイの切り替え

このタブレットに外部ディスプレイやデジタルテレビなどを接続した場合に、表示するディスプレイを切り替えることができます。

ここでは、切り替え方法について説明しています。



### ■ディスプレイの表示について

ディスプレイの表示は、次のように切り替えることができます。なお、お使いのタブレットにより搭載されているコネクタが異なります。

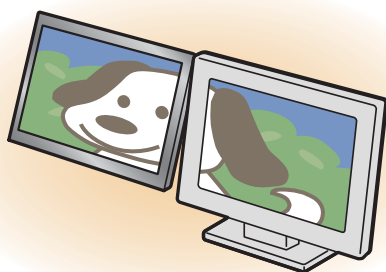
#### ●1つのディスプレイで表示する

- ・タブレット本体の液晶ディスプレイ
- ・接続したアナログディスプレイ
- ・接続したデジタルテレビ

#### ●2つのディスプレイで同時に表示する

- ・タブレット本体の液晶ディスプレイと、接続した外部ディスプレイ
- ・タブレット本体の液晶ディスプレイと、接続したデジタルテレビ

#### ●2つのディスプレイで1つのデスクトップを表示する



2つのディスプレイで1つのデスクトップを表示する方法については、「マルチモニター機能を使う」(→ P.82) をご覧ください。

## 重要

- ▶ 動画再生中に、表示するディスプレイを切り替えないでください。

## Point

- ▶ HDMI出力端子に接続したデジタルテレビやディスプレイには、BIOS セットアップの画面を表示することはできません。
- ▶ Windowsが起動すると、表示されるディスプレイは、前回 Windows で使用していた状態になります。  
ただし、外部ディスプレイが接続されていない場合や、プラグアンドプレイに対応していないディスプレイが接続されている場合は、液晶ディスプレイのみの表示になります。
- ▶ お使いのテレビによってはテレビの解像度が液晶ディスプレイよりも低いいため、鮮明に表示できない場合があります。

### ■デスクトップ画面から切り替える

## Point

- ▶ 外部ディスプレイによって対応している解像度や走査周波数が異なるため、正常に表示されないことがあります。状況に応じて次の操作を行ってください。
  - ・何も表示されない場合  
何も操作しないでお待ちください。10秒ほどで表示先が液晶ディスプレイに戻ります。
  - ・正常に表示されない場合  
外部ディスプレイのマニュアルで外部ディスプレイが対応している解像度や走査周波数を確認し、設定を変更してください。

#### 1 スタート画面で「デスクトップ」をタップします。

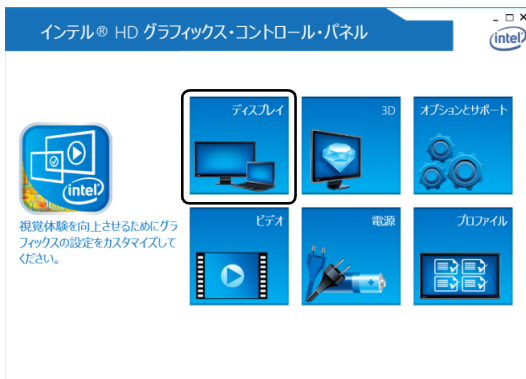
 『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

#### 2 デスクトップ画面の何も無いところを右タップ

し、表示されるメニューから「グラフィックス・プロパティ…」をタップします。

「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」ウィンドウが表示されます。

### 3 「ディスプレイ」をタップします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

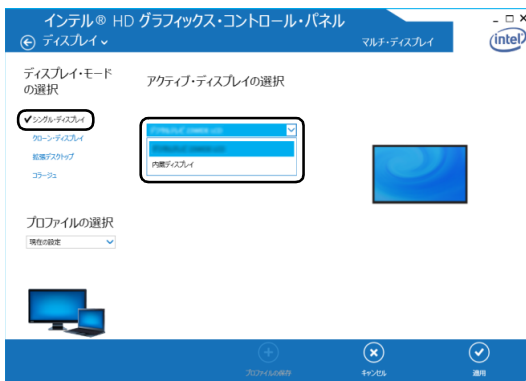
### 4 「ディスプレイ」をタップし、「マルチ・ディスプレイ」をタップします。



### 5 表示するディスプレイを選択します。

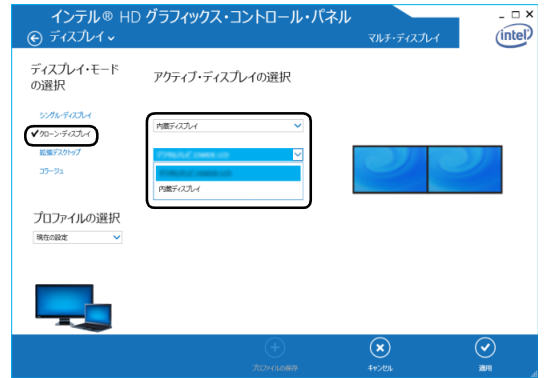
#### ■ 1つのディスプレイで表示する場合

「ディスプレイ・モードの選択」の「シングル・ディスプレイ」をタップした後、「アクティブ・ディスプレイの選択」の ▾ をタップし、表示するディスプレイを選択します。



#### ■ 2つのディスプレイで同時に表示する場合

「ディスプレイ・モードの選択」の「クローン・ディスプレイ」をタップした後、「アクティブ・ディスプレイの選択」の ▾ をタップし、表示するディスプレイを選択します。このとき、最上段は「内蔵ディスプレイ」に設定してください。



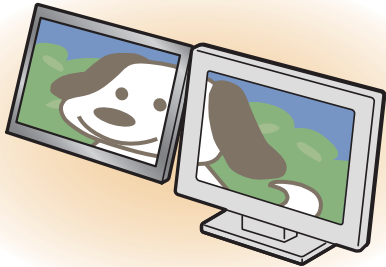
### 6 適用をタップします。

「適用」をタップすると、画面にメッセージが表示されることがあります。この場合は画面の指示に従って操作してください。

### 7 画面右上の ✕ をタップし、すべてのウィンドウを閉じます。

## ■マルチモニター機能を使う


このタブレットには、タブレットの液晶ディスプレイと接続したディスプレイを使用して、2つのディスプレイで1つのデスクトップを表示できる「マルチモニター機能」があります。



### □マルチモニター機能をお使いになるうえでの注意

- マルチモニター機能をお使いになる前に、使用中のアプリを終了してください。
- マルチモニター機能をお使いになるときは、タブレットの液晶ディスプレイをメインディスプレイ（プライマリデバイス）、接続したディスプレイを2番目のディスプレイ（セカンダリデバイス）に設定してください。
- マルチモニター機能の使用中のご注意
  - ・マルチモニター機能を使用中は、キーボードでディスプレイの表示を切り替えることはできません。
  - ・2つのディスプレイにまたがるウィンドウがある場合は、表示するディスプレイの設定を変更しないでください。
  - ・2番目のディスプレイ（セカンダリデバイス）のみに表示されているアプリを起動中に、2番目のディスプレイ（セカンダリデバイス）の使用を終了しないでください。アプリおよびWindowsの動作が不安定になり、データが保存されないことがあります。
- メインディスプレイ（プライマリデバイス）のみで表示されるもの
  - ・液晶ディスプレイの全画面表示
  - ・一部のスクリーンセーバー
  - ・動画再生画面の全画面表示
  - ・アクセラレーター機能を使用している動画再生画面

### □マルチモニター機能を設定する

- 1 外部ディスプレイをタブレットに接続します。
- 2 スタート画面で「デスクトップ」をタップします。  
『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』
- 3 デスクトップ画面の何も無いところを右タップし、表示されるメニューから、「画面の解像度」をタップします。  
「画面の解像度」ウィンドウが表示されます。
- 4 「複数のディスプレイ」の▼をタップして「表示画面を拡張する」を選択します。




（画面は機種や状況により異なります）

- 5 「適用」をタップします。
- 6 確認のウィンドウが表示されたら「変更を維持する」をタップし、すべてのウィンドウを閉じます。

### □ディスプレイの表示位置を変更する

ここでは使用する2つのディスプレイの表示位置を変更する場合の手順について説明します。

- 1 マルチモニター機能を設定します。
- 2 スタート画面で「デスクトップ」をタップします。  
『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』
- 3 デスクトップ画面の何も無いところを右タップし、表示されるメニューから、「画面の解像度」をタップします。  
「画面の解像度」ウィンドウが表示されます。
- 4 ディスプレイのイラストを、表示する位置にドラッグします。  
ディスプレイのイラストの配置により、「1」のディスプレイから「2」のディスプレイへの移動方法が決定されます。イラストの位置をディスプレイの物理的な配置と対応させる必要はありません。

## ■マルチディスプレイ内を左右に移動させたい場合

「1」「2」と表示されたディスプレイを左右に並べます。



左右に並べます。

(画面は機種や状況により異なります)

## ■マルチディスプレイ内を上下に移動させたい場合

「1」「2」と表示されたディスプレイを縦に並べます。



上下に並べます。

(画面は機種や状況により異なります)

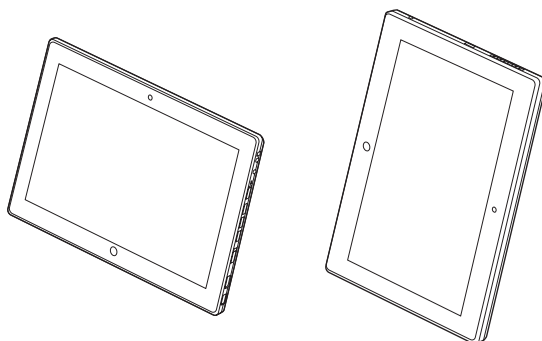
## 5 「適用」をタップします。

分割したデスクトップを表示する位置が変更されます。

## 6 確認のウィンドウが表示されたら「変更を維持する」をタップし、すべてのウィンドウを閉じます。

## 画面表示の回転

横向きでも縦向きでもタブレットを操作できます。画面表示の向きは手動で変更したり、タブレット本体の向きを変えたときに自動的に変更するように設定できます。



## ■注意事項


- 画面表示の向きの設定は、Windows が起動している場合にのみ有効です。
- 表示するディスプレイを切り替えたときの画面表示について
  - ・同時表示の場合、液晶ディスプレイ、外部ディスプレイやデジタルテレビとともに、横向き表示固定になります。タブレット本体の画面表示の回転はできません。
  - ・マルチモニター表示の場合、液晶ディスプレイは縦向き表示固定に、外部ディスプレイやデジタルテレビは横向き表示固定になります。タブレット本体の画面表示の回転はできません。
  - ・外部ディスプレイやデジタルテレビのみで表示した場合、タブレット本体の向きを変えるように動かすと、外部ディスプレイやデジタルテレビの表示も回転します。

## ■手動で画面表示の向きを変える

タブレット本体の向きにかかわらず手動で画面表示の向きを変更できます。

## ■状態が変わったときの動作を設定する

□ステータスパネルスイッチで設定を変更する

1 デスクトップ画面のタスクバーにある  をタップします。

2 「ステータスパネルスイッチ」ウィンドウの「自動回転」ボタンをタップします。

タップするたびに、デスクトップ画面左上部に「自動回転オフ」「自動回転オン」と表示され、タブレット本体を傾けたときの画面の自動回転のオン／オフが切り替わります。

## ディスプレイ省電テクノロジー設定

このタブレットには、見た目の画質を維持したままバックライトの省電力を行い、バッテリー駆動時間を延ばす「ディスプレイ省電テクノロジー」機能があります。

### ■ディスプレイ省電テクノロジーをお使いになるうえでの注意

- バッテリー駆動時のみ動作します。
- ご購入時は次のように設定されています。
  - ・ディスプレイ省電テクノロジー機能：「有効」
  - ・レベル：右から3番目
- ディスプレイ省電テクノロジー機能が動作しているときは、次のように表示される場合がありますが、故障ではありません。
  - ・表示している画像を切り替えたときに画面の明るさや色調が徐々に変更される。
  - ・画像のグラデーション部分に段差が見える。

### ■ディスプレイ省電テクノロジー機能を設定する

- 1 デスクトップ画面の何もないところで右タップし、表示されるメニューから「グラフィックス・プロパティ…」をタップします。  
「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「電源」をタップします。
- 3 「ディスプレイ省電テクノロジー」を設定します。
  - ・動作させる場合は、「有効」をタップし、動作レベルのバーを設定します。  
バーを左に設定するほど画質が優先され、バーを右に設定するほどバッテリー駆動時間が優先される設定になります。
  - ・動作させない場合は、「無効」をタップするか、「最高画質」に設定します。
- 4 「適用」をタップします。  
「適用」をタップすると、画面にメッセージが表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 5 画面右上の × をタップし、すべてのウィンドウを閉じます。


## サウンド

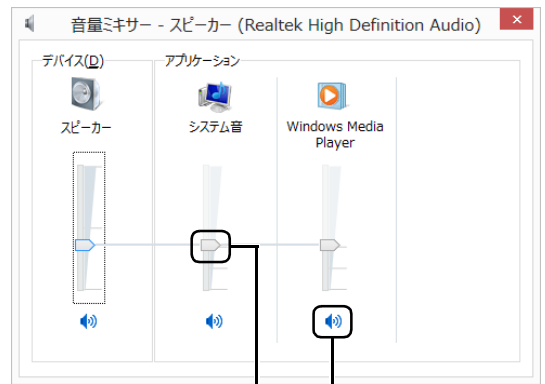
### 再生時／録音時のサウンドを調節する



このタブレットのサウンドを調節するときは、スピーカーから聞こえる音がひずまない範囲に設定・調整してください。スピーカーが故障する原因となる場合があります。

### ■デスクトップアプリごとに音量を調節する

デスクトップアプリは「音量ミキサー」ウィンドウでアプリごとに音量を調節できます（一部のデスクトップアプリには個別に調節できないものもあります）。



- 1 音量を調節したいデスクトップアプリを起動します。
- 2 デスクトップ画面左下隅の  を右タップし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 3 「ハードウェアとサウンド」▶「サウンド」の順にタップし、「システム音量の調整」をタップします。「音量ミキサー」ウィンドウが表示されます。
- 4 「アプリケーション」の一覧で、音量の設定を変更したいアプリの音量つまみを上下にドラッグして、適切な音量に調節します。



・ミュート  
ここをタップして  にすると音が消えます。  
もう一度タップして  にすると元の音量に戻ります。

・音量つまみ  
下にドラッグすると音が小さく、上にドラッグすると音が大きくなります。

(画面は機種や状況により異なります)

- ・デバイス  
このタブレットのスピーカーから出る音量です。デスクトップ画面右下の通知領域の「音量つまみ」で設定した音量と同じです。HDMI 出力端子に接続したテレビから音を出す場合は、「HDMIデバイス」と表示されます（HDMI出力端子搭載機種のみ）。
- ・アプリケーション  
起動しているデスクトップアプリごとに音量を調節できます。「デバイス」に設定した音量が最大値になります。
- ・音量つまみ  
下にドラッグすると音が小さく、上にドラッグすると音が大きくなります。
- ・ミュート  
ここをタップして  にすると音が消えます。もう一度タップして  にすると元の音量に戻ります。


### 5 (閉じる) をタップします。

「音量ミキサー」ウィンドウが閉じます。

## ■再生や録音する機器ごとに音量を調節する

### □再生や録音する機器を選択する

このタブレットで音声を再生したり録音したりするときに、音声の出力先を選択することができます。HDMI 出力端子に接続したデジタルテレビやディスプレイから音を出したい場合も、次の手順で再生する機器を選択してください（HDMI出力端子搭載機種のみ）。

- 1 デスクトップ画面左下隅の  を右タップし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「サウンド」の順にタップします。「サウンド」ウィンドウが表示されます。

### 3 「再生」タブや「録音」タブで機器を選択し、「既定値に設定」をタップします。



(画面は機種や状況により異なります)


選択した機器にチェックマークが付きます。

### 4 「OK」をタップします。

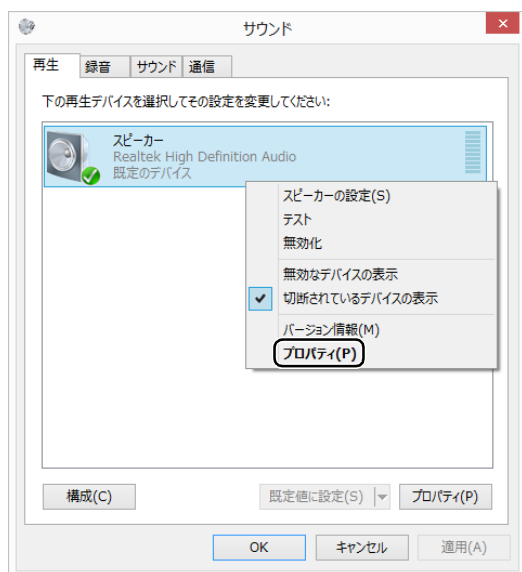
「サウンド」ウィンドウが閉じます。

### □再生する機器の音量を調節する

ここでは、例としてスピーカーの音量を調節する方法を説明します。

- 1 デスクトップ画面左下隅の  を右タップし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「サウンド」の順にタップします。「サウンド」ウィンドウが表示されます。

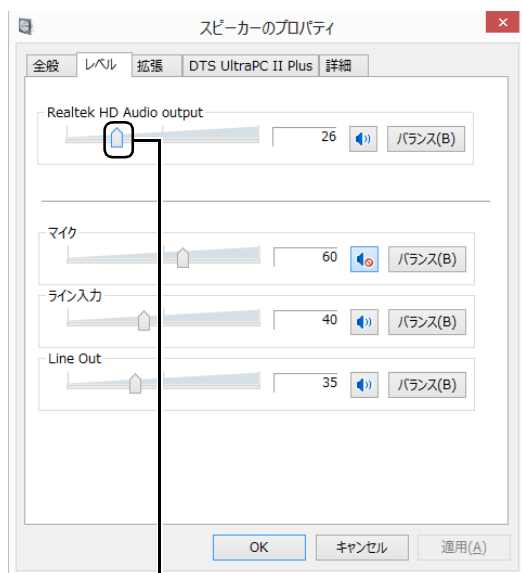
- 3 「再生」タブの「スピーカー」を右タップし、表示されるメニューから「プロパティ」をタップします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

「スピーカーのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 4 「レベル」タブをタップします。  
5 音量を調節したい項目で、音量つまみを左右にドラッグして、適切な音量に調節します。



音量つまみ

- ・ : スピーカーから音が聞こえます。
- ・ : スピーカーから音が聞こえません（ミュートになっています）。
- ・ 「バランス」：左右の音量のバランスを調節できます。

- 6 「OK」をタップします。  
「スピーカーのプロパティ」ウィンドウが閉じます。  
7 「OK」をタップします。  
「サウンド」ウィンドウが閉じます。

#### □ 録音する機器の音量を調節する

ここでは、例としてマイクの音量を調節する方法を説明します。

- 1 デスクトップ画面左下隅の を右タップし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。  
2 「ハードウェアとサウンド」▶「サウンド」の順にタップします。  
「サウンド」ウィンドウが表示されます。  
3 「録音」タブの「マイク」を右タップし、表示されるメニューから「プロパティ」をタップします。



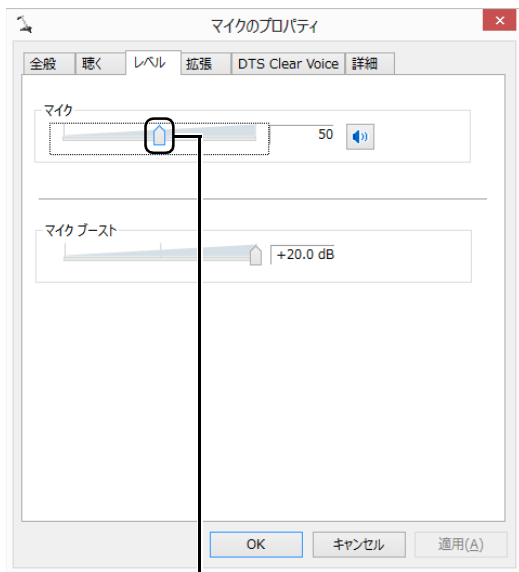
(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

「マイクのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- 4 「レベル」タブをタップします。



- 5 音量を調節したい項目で、音量つまみを左右にドラッグして、適切な音量に調節します。



音量つまみ

- ・  : スピーカーから音が聞こえます。
  - ・  : スピーカーから音が聞こえません (ミュートになっています)。
- 6 「OK」をタップします。  
「マイクのプロパティ」ウィンドウが閉じます。
- 7 「OK」をタップします。  
「サウンド」ウィンドウが閉じます。

## 通信

### 有線 LAN

ここでは、LAN (有線 LAN) を使うために必要となるものや LAN ケーブルの接続方法、ネットワークの設定方法について説明しています。

無線 LAN をお使いになる場合には、「無線 LAN」(→ P.91) をご覧ください。

#### 重要

- ▶ ネットワーク設定時のご注意  
TCP/IP などのネットワークの設定は、有線 LAN と無線 LAN で異なります。お使いになる状況に合わせて、必要な設定を行ってください。
- ▶ セキュリティ対策をしてください  
初めてインターネットに接続するときは必ずセキュリティ対策をしてください。  
このタブレットの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性が新たに見つかったり、悪質なコンピューターウイルスが出現していたりする可能性があります。初めてインターネットに接続する場合は、マニュアルの手順に従って、タブレットを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。

#### Point

- ▶ 別売の LAN 変換ケーブルを接続すると有線 LAN をお使いになれます。microUSB コネクタに接続するため、AC アダプタを接続できず、バッテリーでの運用となります。ご注意ください。

#### ■必要なものを用意する

LAN を利用してインターネットに接続するには、次のような機器が必要です。

- 別売の LAN 変換ケーブル
- ネットワーク機器

ネットワーク接続の目的に合わせて、このタブレットで使える LAN のスピードを確認してから必要なものをご用意ください。ネットワーク機器には次のようなものがあります。

- ・ダイヤルアップルーター
- ・ブロードバンドルーター
- ・ブロードバンドモデム
- ・ハブ

## ●LAN ケーブル

ストレートタイプとクロスタイプがあります。また、お使いになるネットワークのスピードに合ったものが必要です。接続するネットワーク機器のマニュアルをご覧ください。必要なものをご用意ください。

## ●ネットワーク機器のマニュアル

お使いになるネットワーク機器によって、接続や設定の方法が異なります。必ずネットワーク機器のマニュアルや、プロバイダーや回線事業者から提供されるマニュアルもご覧ください。

## ■LAN ケーブルを接続する

### ⚠ 警告

- ⊘ 雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでタブレット本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。落雷の可能性がある場合は、あらかじめタブレット本体の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。落雷による感電、火災の原因となります。

### ⚠ 注意

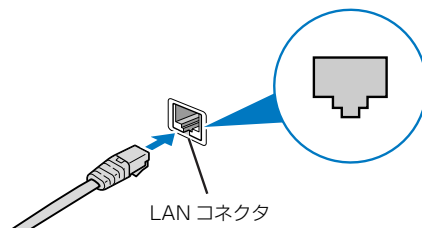
- ⚠ LAN コネクタに指などを入れないでください。感電の原因となることがあります。
- ❗ LAN ケーブルを接続する場合は、必ず LAN コネクタに接続してください。接続するコネクタを間違えると、故障の原因となることがあります。

### 1 タブレット本体の電源を切ります。

AC アダプタを取り外します。

### 2 別売の LAN 変換ケーブルを接続します。

- 3 別売の LAN 変換ケーブルの LAN コネクタに、LAN ケーブルの一方を接続し、もう一方を、お使いになるネットワーク機器のコネクタに接続します。



LAN ケーブルをコネクタの向きに合わせてしっかり差し込みます。

- 4 ネットワーク機器の電源を入れます。

- 5 タブレット本体の電源を入れます。

### Point

- ▶ スリープの解除をお勧めします  
LAN 機能を使ってネットワーク（インターネットなど）に接続中は、スリープにしないことをお勧めします。お使いの環境によっては、ネットワーク（インターネットなど）への接続が正常に行われない場合があります。なお、ご購入時の状態では、一定時間タブレットを操作しないとスリープになるよう設定されていますので、前述のような不都合がある場合には、「スリープの設定変更」（→ P.100）をご覧ください。
- ▶ LAN ケーブルを取り外すときは  
LAN コネクタから LAN ケーブルを取り外すときは、プラグのツメを押さえながら引き抜いてください。ツメを押さえずに無理に引き抜くと破損の原因となります。

続いてネットワークの設定をします。


## ■ネットワークの設定をする

ネットワークへは、「TCP/IP の設定」と「フルコン  
ピューター名とワークグループの確認」を行うことに  
より接続することができます。

### □TCP/IP の設定

#### Point

▶ TCP/IPの設定を変更する場合は、Windowsに  
管理者アカウントでサインインしてください。

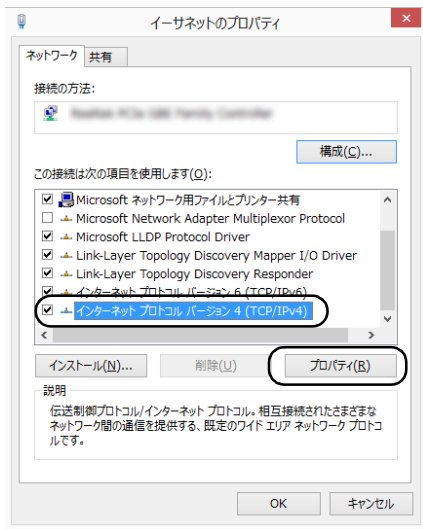
1 デスクトップ画面左下隅の  を右タップし、表  
示されたメニューから「ネットワーク接続」をタッ  
プします。

ネットワーク接続の一覧が表示されます。

2 一覧から「イーサネット」を右タップし、表示さ  
れるメニューから「プロパティ」をタップします。

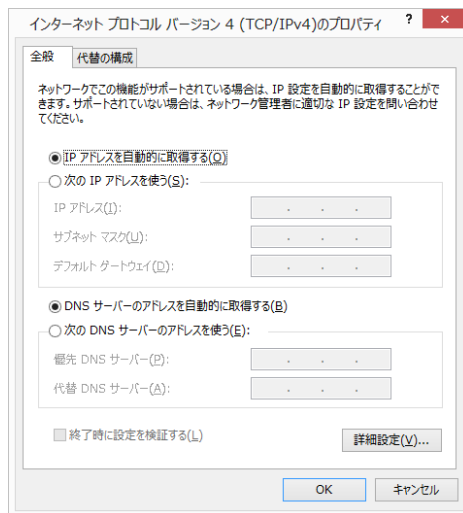


3 「この接続は次の項目を使用します」の一覧から、  
「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/  
IPv4)」をタップし、「プロパティ」をタップします。



他のプロトコルのネットワークに接続する場合  
は、お使いのネットワークにあわせて設定してく  
ださい。

## 4 IP アドレスの設定をします。



### ■ネットワーク上にブロードバンドルーターな どの DHCP サーバーがある場合

1. 「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS  
サーバーのアドレスを自動的に取得する」が

になっていることを確認します。

になっている場合は、 をタップして  
 にします。

### ■ネットワーク上に DHCP サーバーがない場合

1. 「次の IP アドレスを使う」の  をタップし  
て  にします。

2. 「IP アドレス」に IP アドレスを入力します。

例：192.168.0.1

3. 「サブネットマスク」にサブネットマスクを  
入力します。

例：255.255.255.0


#### Point

▶ IP アドレスの重複にご注意ください

タブレット本体の IP アドレスをブロードバンド  
モデムやルーター、お使いのネットワーク上  
にある他のパソコンやタブレットと重複しないよ  
うに設定してください。IP アドレスが重複する  
と、ネットワークによる通信ができません。

5 「OK」をタップします。

6 「OK」をタップします。


7 画面右上の  をタップし、表示されているす  
べてのウィンドウを閉じます。

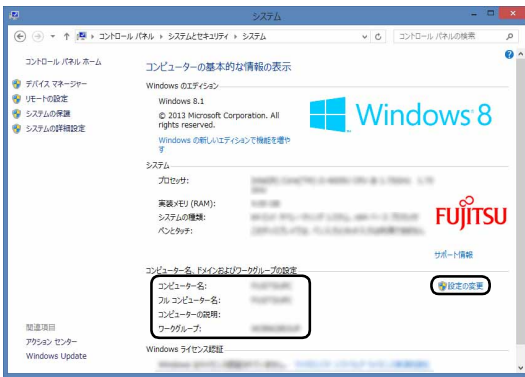
続いて、フルコンピューター名、ワークグループを確  
認します。

## □フルコンピューター名とワークグループの確認

### Point

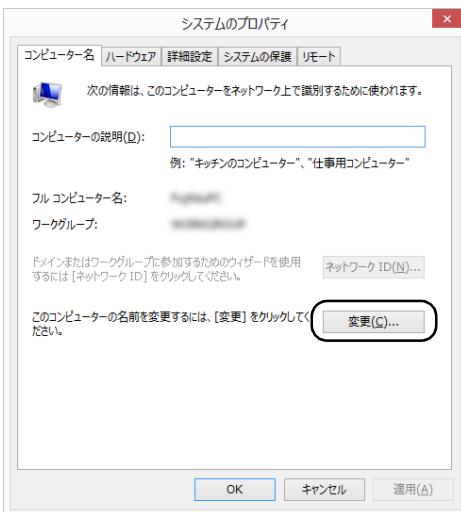
- ▶ フルコンピューター名、ワークグループを変更する場合は、管理者アカウントでサインインしてください。

- 1 デスクトップ画面左下隅の  を右タップし、表示されたメニューから「システム」をタップします。
- 2 「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」の「フルコンピューター名」、「ワークグループ」を確認します。変更する場合は「設定の変更」をタップします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

- 3 「システムのプロパティ」ウィンドウで「変更」をタップして、「フルコンピューター名」または「ワークグループ」を変更します。



## ■フルコンピューター名

ネットワーク上で、パソコンやタブレットを識別するための名前です。設定するときには、他のパソコンやタブレットと重複しないように、半角英数字 15 文字以内で名前を付けてください。機種名やパソコンやタブレットの使用者名などをフルコンピューター名に設定すると、識別しやすくなります。

## ■ワークグループ

ネットワークにつながったパソコンやタブレットの集まりを表します。複数のパソコンやタブレットに共通のワークグループの名前を付けると、同じネットワークにつながっている「仲間」として、ネットワーク上でファイルやプリンターの共有が行えます。ワークグループは、半角英数字 15 文字以内で好きな名前を付けることができます。通常、ネットワークを組むときは、各パソコンやタブレットに同じワークグループを設定してください。

- 4 「OK」をタップします。

再起動を確認するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。

## 無線 LAN

### 無線 LAN 搭載機種のみ

無線 LAN でインターネットに接続する方法については、「インターネットに接続する」(→ P.114)をご覧ください。

また、無線 LAN の電波を発信/停止する方法については、「無線通信機能の電波を発信する/停止する」(→ P.98)をご覧ください。

### ■無線 LAN をお使いになるうえでの注意

ここでは、無線 LAN をお使いになるうえで注意していただきたいことについて説明しています。

#### □無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関する注意

##### 重要

- ▶ お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンやタブレットなどと無線 LAN アクセスポイント（ワイヤレス LAN ステーション、ワイヤレスブロードバンドルーターなど）間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

#### ●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ・ ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- ・ メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

#### ●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- ・ コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN アクセスポイントやタブレットに搭載されている無線 LAN は、これらの問題に対応するためのセキュリティのしくみをもっています。

そのため、別途ご購入された無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品の、セキュリティに関する設定を正しく行うことで、これらの問題が発生する可能性を少なくすることができます。

しかし、無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品は、ご購入時の状態ではセキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

上記のようなセキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品に添付されている取扱説明書に従い、これらの製品のセキュリティに関するすべての設定を必ず行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

## □電波放射の環境への影響

- このタブレットは、他の高周波デバイス同様に、高周波エネルギーを放出していますが、このタブレットが放出するエネルギーのレベルは、例えば携帯電話のような無線デバイスが放出する電磁エネルギーよりはるかに低く抑えられています。
- このタブレットは、高周波安全基準および勧告のガイドライン内で動作するため、本製品の使用者に対し、安全性を確信しています。本基準および勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究班の審議および広範な研究文献を継続的に調査し解釈する科学者たちの委員会を根本としています。
- ある状況や環境において、このタブレットの使用は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制限されることがあります。例えば、下記にあげる場合です。
  - ・他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある環境での使用
- 特定の団体や環境（例えば空港）で無線デバイスの使用に適用される方針が明確にわからない場合は、機器の電源を入れる前に本製品の使用許可について問い合わせをしてください。

## □電波放射の人体への影響

このタブレットから放射される出力パワーは、例えば携帯電話が放射する電波のレベルよりはるかに低くなっています。それでも、このタブレットは、通常の動作中に人間の接触に対し電位が最小限にとどめられるように使用されなくてはなりません。使用中はこのタブレットのアンテナ部分に極力触れないでください。

無線 LAN アンテナの場所については、「各部の名称と働き」(→ P.35) をご覧ください。

## □無線 LAN による通信を行うための注意

- このタブレットは、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 航空機内での使用は、各航空会社に事前にご確認ください。

- IEEE 802.11g と IEEE 802.11b が混在する環境では、IEEE 802.11g は IEEE 802.11b との互換性をとるため、IEEE 802.11g 本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g と IEEE 802.11b を別の無線 LAN ネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を5チャンネル以上空けてお使いください。
- このタブレットの使用時、特に無線 LAN で通信中はアンテナ部分に極力触れないでください。通信性能が低下する場合があります。また、このタブレットを設置する場合には、周囲が金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできている場所を避けてください。通信性能が低下し、設置環境によっては通信できなくなることがあります。無線 LAN アンテナの場所については、「各部の名称と働き」(→ P.35) をご覧ください。
- このマニュアルに従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。
- このタブレットがラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（このタブレットの電源を入/切することで原因となっているかが判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようにしてください。
  - ・このタブレットと受信機の距離を離す
  - ・受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントにこのタブレットを接続する
  - ・経験のあるラジオ/テレビ技術者に相談する
- このタブレットの不正な改造は行わないでください。不正な改造により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任は負いません。
- 近くに他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器がある場合、干渉により本来の性能が出ない場合があります。この場合、他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器と使用しているチャンネルの間隔を空けるように変更して、干渉の影響が最小となるチャンネルでお使いください。それでも解決しない場合は、他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器から3m以上離して干渉の影響が最小となる場所でお使いください。

□良好な通信を行うために

- タブレット本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、次のとおりです。

無線 LAN の種類 [注]	推奨する最大通信距離
IEEE 802.11a 準拠	見通し半径 15m 以内
IEEE 802.11b、 IEEE 802.11g 準拠	見通し半径 25m 以内
IEEE 802.11n、 IEEE 802.11ac 準拠	見通し半径 50m 以内

注 お使いの機種により搭載されていない種類もあります。

ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、アプリ、設置状況、電波状況などの使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

- タブレット本体は、他の電気機器から離して設置してください。タブレット本体と電源が入った電気機器を近づけていると、正常に通信できなかつたり、電気機器の障害になったりすることがあります。正常に通信できない場合は、使用するチャンネルや使用場所を変更してください。特に、電子レンジなどの強い高周波エネルギーを出す機器の使用時は、影響を受けやすく、正常に通信できないことがあります。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、タブレット本体の設置場所を変えてみてください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。
- このタブレットの無線 LAN は、Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器と同じ周波数帯(2.4GHz帯)を使用するため、タブレット本体の近辺で Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器を使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。

- Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器との電波干渉を防ぐには、次の対策を行うと、電波の干渉を防ぐことができる場合があります。

- ・ Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器とタブレット本体との間は 10m 以上離して使用する。
- ・ Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器の電源を切るか、電波を停止する。  
Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアルをご覧ください。電源を切るか、電波を停止してください（単独で電源を切れないものを除く）。

## ■無線 LAN の仕様 (IEEE 802.11b/g/n 準拠)

項目	仕様 [注 1]
ネットワークの種類	IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠、IEEE 802.11n 準拠 (Wi-Fi® 準拠) [注 2]
転送レート	IEEE 802.11b 準拠：11 ~ 1Mbps (自動切り替え) IEEE 802.11g 準拠：54 ~ 6Mbps (自動切り替え) IEEE 802.11n 準拠：150 ~ 6Mbps (自動切り替え、HT20/40 対応) [注 3] [注 4]
使用周波数	2,400MHz ~ 2,497MHz
チャンネル	IEEE 802.11b 準拠：1 ~ 14ch IEEE 802.11g 準拠：1 ~ 13ch IEEE 802.11n 準拠： 2.4GHz モード 1 ~ 13ch
セキュリティ [注 5]	SSID (ネットワーク名) WEP (セキュリティキー (WEP キー) : 64/128 ビット) [注 6] WPA-パーソナル (WPA-PSK) (TKIP/AES) WPA2-パーソナル (WPA2-PSK) (TKIP/AES) WPA-エンタープライズ (WPA) (TLS/PEAP) (TKIP/AES) WPA2-エンタープライズ (WPA2) (TLS/PEAP) (TKIP/AES) IEEE 802.1X (TLS/PEAP)

注 1 アドホック通信には対応していません。

注 2 Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。

注 3 IEEE 802.11n では HT20/40 に対応しています。HT40 を利用するには、無線 LAN アクセスポイントも HT40 に対応している必要があります。

注 4 IEEE 802.11n を使用するときの無線 LAN アクセスポイントの設定で、HT40 の機能を有効にする場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、ただちに HT40 の機能を無効にしてください。

注 5 IEEE 802.11n で接続するためには、パスフレーズ (PSK) を AES に設定する必要があります。

注 6 WEP による暗号化は上記ビット数で行いますが、ユーザーが設定可能なビット数は固定長 24 ビットを引いた 40 ビット / 104 ビットです。



## Bluetooth ワイヤレステクノロジー

ここでは、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使用する方法について説明しています。

### ■Bluetooth ワイヤレステクノロジーとは


Bluetooth ワイヤレステクノロジーとは、ヘッドセットやモデム、携帯電話などの周辺機器や他の Bluetooth ワイヤレステクノロジー搭載のパソコンやタブレットなどに、ケーブルを使わず電波で接続できる技術です。


#### 重要

- ▶ Bluetooth ワイヤレステクノロジーをお使いになる場合は、セキュリティの設定をすることをお勧めします。  
セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。

### ■Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使うための設定をする

タブレットと Bluetooth ワイヤレステクノロジー対応機器を接続するためには、「Bluetooth デバイスの管理」を使用します。

- 1 画面右端の外から中へスワイプして「チャーム」を表示し、 (設定) をタップします。

 『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

- 2 「設定チャーム」から「PC 設定の変更」▶「PC とデバイス」▶「Bluetooth」の順にタップします。「Bluetooth デバイスの管理」の画面が表示されます。

#### Point

- ▶ Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアルもあわせてご覧ください。それらのマニュアルに設定方法が記載されている場合は、そちらの手順に従って設定してください。

### ■Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特長

このタブレットの Bluetooth ワイヤレステクノロジーの主な特長は、次のとおりです。

なお、すべての Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器に接続可能なことを保証するものではありません。

- 出力 Class2、Bluetooth v4.0 に準拠しています。Bluetooth v4.0 およびそれ以前の規格に準拠した機器と接続が可能です。
- 最大通信速度は 2.1Mbps (Bluetooth v4.0 の理論上の最大値) です。ただし、実際の通信速度はお使いの環境により異なります。

### ■必要なものを用意する

- Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器

Bluetooth ワイヤレステクノロジーを利用してタブレットと接続する機器です。お使いのタブレットに搭載されている Bluetooth ワイヤレステクノロジーの規格に対応したものをご用意ください。なお、Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器には次のようなものがあります。お使いになる目的に応じてご用意ください。

- ・キーボード
- ・マウス
- ・プリンター
- ・ヘッドセット
- ・携帯電話

- Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアル  
お使いになる Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器によって設定方法が異なる場合があります。必ず Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアルもご覧ください。

## 重要

- ▶ ペ어링コード (PIN またはパスコード) について

タブレットと Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器の接続 (ペ어링) 設定をするときには、機器によっては「ペ어링コード (PIN またはパスコード)」が必要になる場合があります。「ペ어링コード (PIN またはパスコード)」については、後述の「Windows ヘルプとサポート」および Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアルをご覧ください。

- ▶ プロファイルについて

Bluetooth ワイヤレステクノロジーには「プロファイル」という仕様があり、同じプロファイルをもつ Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器どうしを接続し、そのプロファイルの機能を使用することができます。

このタブレットには、このタブレットがサポートしているプロファイルに対応した Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器を使用することができます。このタブレットがサポートしているプロファイルは次のとおりです。

- ・ HID、HCRP、DUN、SPP、OPP、PAN、A2DP、AVRCP、HFP、HOGP

## ■Bluetooth ワイヤレステクノロジーをお使いになるうえでの注意

ここでは、Bluetooth ワイヤレステクノロジーをお使いになるうえで注意していただきたいことについて説明しています。

### □Bluetooth ワイヤレステクノロジーご使用時におけるセキュリティに関する注意

## 重要

- ▶ お客様の権利 (プライバシー保護) に関する重要な事項です。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーでは、電波を利用して周辺機器や他のパソコンやタブレットとの間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物 (壁など) を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

### ●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード、その他の個人情報などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

### ●不正に使用される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内の周辺機器やタブレットへアクセスし、次の行為をされてしまうおそれがあります。

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す (情報漏洩)
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す (なりすまし)
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する (改ざん)
- ・ コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する (破壊)

このタブレットおよび一部の周辺機器や他のパソコンやタブレットに内蔵されている Bluetooth ワイヤレステクノロジーは、これらの問題に対応するためのセキュリティのしくみをもっています。

そのため、別途ご購入された Bluetooth ワイヤレステクノロジー搭載の周辺機器や他のパソコンやタブレットがセキュリティのしくみをもっている場合、セキュリティに関する設定を正しく行うことで、これらの問題が発生する可能性を少なくすることができます。しかし、Bluetooth ワイヤレステクノロジー内蔵の周辺機器や他のパソコンやタブレットは、ご購入時の状態ではセキュリティに関する設定が施されていない場合があります。上記のようなセキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、周辺機器や他のパソコンやタブレットに添付されている取扱説明書に従い、これらの製品のセキュリティに関するすべての設定を必ず行ってください。

なお、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで  
使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様ご  
自身の判断と責任においてセキュリティに関する設  
定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、Bluetooth ワ  
イヤレステクノロジーの仕様上やむを得ない事情に  
よりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、こ  
れによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

#### □Bluetooth ワイヤレステクノロジーによる通信を 行うための注意

- タブレット本体と通信相手の機器との推奨する最  
大通信距離は、見通し半径 10m 以内(出力 Class2  
の最大値) です。

ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性  
上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、アプ  
リ、設置状況、電波状況などの使用環境により通信  
距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不  
能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

- このタブレットの Bluetooth ワイヤレステクノロ  
ジー用アンテナは、タブレット本体に内蔵されてい  
ます。このタブレットの使用時、特に Bluetooth ワ  
イヤレステクノロジーの通信中はアンテナ部分に極  
力触れないでください。通信性能が低下する場合が  
あります。

また、このタブレットを設置する場合には、周囲が  
金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできて  
いる場所を避けてください。通信性能が低下し、設  
置環境によっては通信できなくなることがありま  
す。

Bluetooth ワイヤレステクノロジー用アンテナの  
場所については、「各部の名称と働き」(→ P.35)  
をご覧ください。

- タブレット本体は、他の電気機器から離して設置し  
てください。タブレット本体と電源が入った電気機  
器を近づけていると、正常に通信できなかつたり、  
電気機器の障害になったりすることがあります。正  
常に通信できない場合は、使用場所を変更してくだ  
さい。特に、電子レンジなどの強い高周波エネル  
ギーを出す機器の使用時は、影響を受けやすく、正  
常に通信できないことがあります。

- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないと  
きは、タブレット本体の設置場所を変えてみてくだ  
さい。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できな  
いことがあります。

- Bluetooth ワイヤレステクノロジーは IEEE  
802.11b、IEEE 802.11g や IEEE 802.11n の  
2.4GHz 帯規格の無線 LAN と同じ周波数帯の電波  
を使用します。そのため、ご使用の状態によっては  
無線 LAN と Bluetooth ワイヤレステクノロジーの  
電波が干渉し、他のパソコンやタブレットなどとの  
通信速度が低下したり、Bluetooth ワイヤレステ  
クノロジーで接続したワイヤレスヘッドホンなどの  
音質が悪くなったりする場合があります。

- 無線 LAN 機器との電波干渉を防ぐには、次の対策  
を行うと、電波の干渉を防ぐことができる場合があ  
ります。

- ・無線 LAN 機器とタブレット本体との間は 10m 以  
上離して使用する。
- ・無線 LAN 機器の電源を切る。
- ・無線 LAN 機器の電波を停止する。

- このタブレットに USB アダプタ型などの他の  
Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器を取り付  
けて、同時に使用しないでください。

#### □電波放射の環境への影響

- このタブレットは、他の高周波デバイス同様に、高  
周波エネルギーを放出していますが、このタブレッ  
トが放出するエネルギーのレベルは、例えば携帯電  
話のような無線デバイスが放出する電磁エネル  
ギーよりはるかに低く抑えられています。

- このタブレットは、高周波安全基準および勧告のガ  
イドライン内で動作するため、このタブレットの使  
用者に対し、安全性を確信しています。本基準およ  
び勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究  
班の審議および広範な研究文献を継続的に調査し  
解釈する科学者たちの委員会を根本としています。

- ある状況や環境において、このタブレットの使用  
は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制  
限されることがあります。例えば、下記にあげる場  
合です。

- ・他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある  
環境での使用

- 特定の団体や環境（例えば空港）で無線デバイスの使用に適用される方針が明確にわからない場合は、機器の電源を入れる前にこのタブレットの使用許可について問い合わせをしてください。

#### □電波放射の人体への影響

- このタブレットから放射される出力パワーは、例えば携帯電話が放射する電波のレベルよりはるかに低くなっています。それでも、このタブレットは、通常の動作中に人間の接触に対し電位が最小限にとどめられるように使用されなくてはなりません。使用中はこのタブレットのアンテナ部分に極力触れないでください。

#### □干渉に関する注意

- このマニュアルに従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。
- このタブレットがラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（このタブレットの電源を入／切することで原因となっているかが判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようにしてください。
  - ・このタブレットと受信機の距離を離す
  - ・受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントにこのタブレットを接続する
  - ・経験のあるラジオ／テレビ技術者に相談する
- このタブレットの不正な改造は行わないでください。不正な改造により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任を負いません。

## 無線通信機能の電波を発信する／停止する

タブレットに搭載されている無線 LAN や Bluetooth ワイヤレステクノロジーなどの無線通信機能の電波を発信／停止する方法について説明します。

病院や飛行機内、その他電子機器使用の規制がある場所では、あらかじめ無線通信機能の電波を停止してください。

無線通信機能の電波の発信／停止には、次の 2 つの方法があります。

- すべての無線通信機能の電波を発信／停止する  
タブレットに搭載されている、すべての無線通信機能の電波を発信／停止します。
- 特定の無線通信機能の電波だけを発信／停止する  
すべての無線通信機能の電波が発信されている状態で、特定の無線通信機能の電波の発信／停止だけを切り替えます。  
例えば、無線 LAN の電波は発信したまま、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの電波を停止したいときなどに便利です。


#### **P**oint


- ▶ 省電力モードで無線 LAN や Bluetooth ワイヤレステクノロジーを無効にする設定にしている場合は、省電力モードを OFF にしてください。

■すべての無線通信機能の電波を発信／停止する  
タブレットに搭載されている、すべての無線通信機能の電波を発信／停止します。

機内モードに切り替えて電波の発信を止めてください。手順については、サポートページから Q&A ナンバー「5909-9593」を検索してご覧ください。

## ■特定の無線通信機能の電波だけを発信／停止する





1 画面右端の外から中へスワイプして「チャーム」を表示し、 (設定) をタップします。

 『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』


2 「設定チャーム」で「ネットワーク」アイコンをタップします。



3 設定を切り替えます。

- ・電波を発信する場合は、発信する機能の  (オフ) をタップして  (オン) にします。
- ・電波を停止する場合は、停止する機能の  (オン) をタップして  (オフ) にします。





## □Bluetooth だけを発信／停止する

1 画面右端の外から中へスワイプして「チャーム」を表示し、 (設定) をタップします。

 『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

2 「設定チャーム」から「PC 設定の変更」▶「PC とデバイス」▶「Bluetooth」の順にタップします。「Bluetooth デバイスの管理」の画面が表示されます。

3 設定を切り替えます。

- ・電波を発信する場合は、発信する機能の  (オフ) をタップして  (オン) にします。
- ・電波を停止する場合は、停止する機能の  (オン) をタップして  (オフ) にします。

## スリープ

Windows の省電力機能を使用すると、タブレットを待機状態にしているときに消費電力を抑えることができます。ここでは、省電力機能のうち、「スリープ」について説明しています。

### スリープとは

#### ■スリープ

作業中のデータなどをメモリに保存してタブレットを待機状態にすることです。

ご購入時の設定では、一定時間タブレットを操作しないと、自動的にスリープになるように設定されています。

手動でスリープにする操作については、「スリープにする／復帰させる」(→ P.38) をご覧ください。

### スリープにするうえでの注意

- タブレットをお使いの状況によっては、スリープ、復帰(レジューム)に時間がかかる場合があります。
- スリープにした後、すぐに復帰(レジューム)しないでください。必ず、10 秒以上たってから復帰(レジューム)するようにしてください。また、再度スリープにする場合は、復帰(レジューム)させた後、必ず 10 秒以上たってから、スリープするようにしてください。
- スリープに移行するまでの間、USB マウスや USB キーボードなどの周辺機器を操作しないでください。復帰(レジューム)した後、周辺機器を正しく認識しなくなることがあります。
- 接続している周辺機器のドライバーが正しくインストールされていない場合、スリープにならないことがあります。
- スリープ、復帰(レジューム)のときに、画面に一瞬ノイズが発生する場合がありますが、故障ではありません。
- スリープ中は、周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。
- ネットワークの設定によっては、スリープ中に DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスの有効期限が切れると、タブレット本体がスリープから元の状態に戻ることがあります。この場合は、IP アドレスの有効期間を延長するか、DHCP の使用を中止して固定 IP をお使いください。

● 次の場合は、スリープにしないでください。

- ・ Windows の起動処理中または終了処理中
- ・ タブレットが何か処理をしている最中（プリンター出力中など）、および処理完了直後
- ・ フラッシュメモリディスクにアクセス中
- ・ オートラン CD-ROM/DVD-ROM（セットすると自動で始まる CD-ROM/DVD-ROM）を使用中
- ・ 音楽 CD やゲームソフトなどのサウンドを再生中
- ・ ディスクにデータを書き込みまたは書き換え中
- ・ ドライバーのインストールが必要な周辺機器を取り付けて、ドライバーをインストールしているとき
- ・ マルチモニター機能を使用中
- ・ ネットワークに接続して通信中
- ・ デジタルテレビに表示しているとき
- ・ マウスの操作中
- ・ LAN 機能を使ってネットワーク（インターネットなど）に接続中

## スリープの設定変更


ディスクにデータを書き込むときや、LAN を使用するときなど、必要に応じて設定を変更してください。

### ■電源ボタンを押したときの省電力機能を変更する

ご購入時の設定

- 電源ボタンを押す  
スリープ状態に切り替わる

設定を変更する

1 デスクトップ画面左下隅の  を右タップし、表示されたメニューから「電源オプション」をタップします。

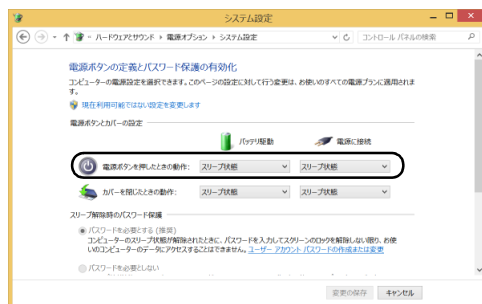
2 「電源オプション」ウィンドウが表示されたら、「電源ボタンの動作の選択をする」をタップします。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

- ・ 電源ボタンの動作の選択  
電源ボタンを押したときの省電力機能を変更する場合、タップします。

### 3 必要に応じて電源ボタンの項目を変更します。




### Point

- ▶ タブレットがスリープから復帰（レジューム）するとき、あらかじめ Windows に設定してあるパスワードの入力を必要とすることで、このタブレットのセキュリティを高めることができます。

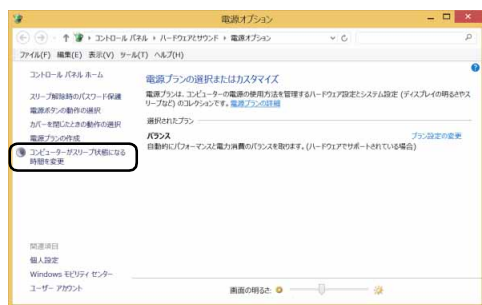
1. 「現在利用可能ではない設定を変更します」をタップします。
2. 「パスワードを必要とする（推奨）」の左の  をタップして  にします。

### 4 「変更の保存」をタップします。

### ■スリープになるまでの時間を変更する

1 デスクトップ画面左下隅の  を右タップし、表示されたメニューから「電源オプション」をタップします。

2 「電源オプション」ウィンドウが表示されたら、左側の「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をタップします。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

### 3 「コンピューターをスリープ状態にする」の設定を変更します。




### 4 「変更の保存」をタップします。

#### Point

#### ▶ 設定を元に戻す

変更した設定は次の手順で元に戻すことができます。


1. 「電源オプション」ウィンドウ左側の「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をタップします。
2. 「このプランの既定の設定を復元」をタップします。
3. 「はい」をタップします。
4.  をタップします。

## 電源プラン

このタブレットでは「バランス」が選択されています。タブレットの利用状況に応じた設定に変更することで、消費電力を抑えることができます。

#### ● バランス

ハードウェアでサポートされている場合に、自動的にパフォーマンスと消費電力のバランスをとります。

- 1 デスクトップ画面左下隅の  を右タップし、表示されたメニューから「電源オプション」をタップします。
- 2 「プラン設定の変更」をタップし、スリープやディスプレイの設定などを変更します。



(画面は機種や状況により異なります)

### 3 「変更の保存」をタップします。

## タブレットの節電

### 省電力モード


一部の機能の使用を制限することで、タブレット本体の動作を中断させずに、消費電力を抑えることができます。

詳しくは、「ステータスパネルスイッチ」(→ P.50)をご覧ください。

### バッテリーユーティリティ - 満充電量の設定

バッテリーの満充電量を80%に抑えることで、バッテリーの充電に使用する電力を節約するとともに、バッテリーの消耗を抑え、バッテリーの寿命を延ばすことができます。

#### ■設定を変更する

- 1 スタート画面でまっすぐ上にスライドします。  
『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』
- 2 「FUJITSU - バッテリーユーティリティ」の「バッテリーユーティリティ」をタップします。  
「バッテリーユーティリティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「バッテリー満充電量」をタップします。
- 4 「変更」をタップします。  
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をタップします。
- 5 「80% 充電モード」を選択し、「OK」▶「閉じる」の順にタップします。

- ご購入時のバッテリーの満充電量は、100%に設定されています。
- 「80% 充電モード」に変更すると、バッテリー残量が70%以上の場合は、ACアダプタを取り付けても充電されません。69%以下で充電されます。

## アプリ

このタブレットには、あらかじめたくさんのアプリがインストールされています。

一度削除したアプリをもう一度使いたいときや、アプリの動作がおかしくなったとき、アプリをインストールし直すことができます。

Windows 8.1には、Windows 8.1のスタート画面で動作するWindowsストアアプリと、デスクトップ画面で動作するデスクトップアプリの2種類があります。

### Windowsストア アプリ


Windows 8.1 専用のアプリです。

#### ■インストール

ストアからインストールします。ストアの利用にはMicrosoftアカウントでサインインする必要があります。

- 1 スタート画面で「ストア」をタップします。  
ジャンルごとにアプリが表示されます。
- 2 インストールしたいアプリをタップします。  
インストールしたいアプリが見つからない場合は、画面を左方向へスライドし、隠れている画面を表示してください。

#### Point




- ▶ 画面右上にある入力フォームから検索することもできます。検索したいアプリの名前を入力して、をタップします。

この後は画面の指示に従って操作してください。

#### ■更新プログラム

インターネットに接続していると、インストール済のストアアプリが最新のバージョンでなかった場合、自動的に更新されます。


#### □自動更新を無効にする

- 1 「ストア」画面で、画面右端の外から中へスワイプして「チャーム」を表示し、 (設定) をタップします。
- 2 「アプリの更新」をタップします。
- 3 「アプリの更新プログラム」の「アプリを自動的に更新する」の  (はい) をタップして  (いいえ) にします。

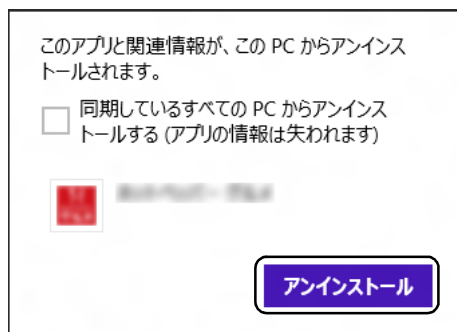


## ■アンインストール

スタート画面およびアプリ画面の操作でアンインストールできます。アンインストールした Windows ストア アプリはストアから再インストールすることができます。

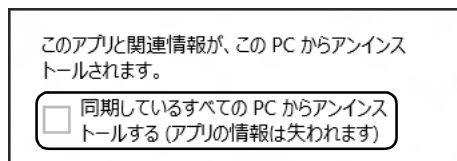
 『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

- 1 スタート画面またはアプリ画面でアンインストールしたいアプリのタイルを右タップします。
- 2 「アンインストール」をタップします。
- 3 次の画面が表示されたら「アンインストール」をタップします。



### Point

- ▶ 「同期しているすべてのPCからアンインストールする (アプリの情報は失われます)」タップして  にすると、お使いの Microsoft アカウントで他のパソコンやタブレットにサインインしたときもアンインストールされた状態になります。




## デスクトップアプリ

Windows 7 で使用していたものがほとんどそのまま使用できます。

### ■デスクトップアプリをインストール／アンインストールするうえでの注意

- デスクトップアプリをインストールする前には、必ずアプリのマニュアルなどを読んで、インストールの方法を確認する
- インストールし直す場合は、元のアプリを削除する

- 管理者アカウントでサインインする  
ユーザーアカウントの種類が、「標準アカウント」、「Guest アカウント」の場合はアプリの削除ができません。管理者アカウントでサインインしてください。ユーザーアカウントの種類は、次の手順で確認できます。

1. デスクトップ画面左下隅の  を右タップし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
2. 「ユーザーアカウントとファミリーセキュリティ」をタップします。
3. 「ユーザーアカウント」をタップします。「ユーザーアカウント」ウィンドウが表示されます。
4. 画面右のアカウント名の下に表示されている、アカウントの種類を確認します。「Administrator」は、管理者アカウントであることを意味します。

- 起動しているデスクトップアプリをすべて終了する  
他のアプリが起動していると、エラーが発生する場合があります。アプリの削除をする前に、次の作業を行ってください。

- ・ 起動しているアプリをすべて終了する
- ・ タスクバーに常駐するタイプのアプリをすべて終了する
- ・ スクリーンセーバーを「なし」に設定する
  1. デスクトップ画面のなにもないところを右タップし、表示されたメニューから「個人設定」をタップします。
  2. 画面右下の「スクリーンセーバー」をタップします。
  3. 「スクリーンセーバー」を「(なし)」にして、「OK」をタップします。


- 共有ファイルは削除しない  
アプリの削除中に、「共有ファイルを削除しますか?」というメッセージが表示されることがあります。共有ファイルは削除しないことをお勧めします。共有ファイルを削除すると、インストールされている他のデスクトップアプリが影響を受け、正しく動作しなくなる場合があります。

## ■インストール

### □搭載デスクトップアプリをインストールする

次の手順で、フラッシュメモリディスクのリカバリ領域からアプリをインストールすることができます。

- 1 スタート画面でまっすぐ上にスライドします。


 『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

- 2 「ソフトウェアディスク検索 (ハードディスク)」をタップします。

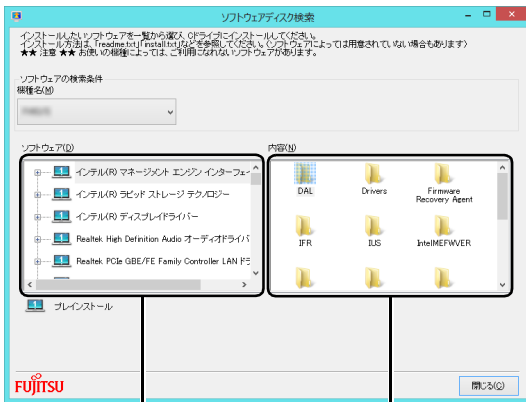
「ソフトウェアディスク検索 (ハードディスク)」が見つからない場合は、画面を右方向へスライドし、隠れている画面を表示してください。

- 3 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をタップします。

- 4 「ソフトウェアディスク検索 (ハードディスク)」ウィンドウが表示されたら、「OK」をタップします。

- 5 「機種名」欄の右側の  をタップし、表示されたリストからお使いの機種名 (品名) をタップして選択します。

- 6 「ソフトウェア一覧」からインストールするアプリの名称をタップしてインストールします。  
デスクトップアプリの名称をタップすると、アプリに含まれるファイルが画面右側に表示されます。





デスクトップアプリの名称      含まれるファイル

(画面は機種や状況により異なります)

- 7 デスクトップアプリのインストール方法は、各デスクトップアプリによって異なります。それぞれの「readme.txt」、「install.txt」などでインストール方法を確認してください。

## Point

- ▶ リカバリ領域を削除している場合や破損してしまった場合は、 「ソフトウェアディスク」から、デスクトップアプリをインストールしてください。
- ▶  「ソフトウェアディスク」は購入できません (→ P.73)。

### □「Office」をインストールし直す

#### 「Office」搭載機種のみ

「Office」搭載機種をお使いの方で、「Office」のみインストールし直したい場合は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。インストール方法については次のホームページをご覧ください。

<http://www.office.com/jppipcsetup/>

### □ドライバーをインストールし直す

サウンドの再生や画面表示などが正常に行われな  
いとき、ドライバーを更新すると問題が解決できる  
場合があります。


### □お使いのタブレットに搭載されているドライバーについて

- 各ドライバーは、改善のため事前連絡なしに変更することがあり、ご購入時に添付されているものよりも新しいバージョンのドライバーが、サポートページ (<http://azby.fmworld.net/support/>) の「機種別サポート情報・ダウンロード」で公開されている場合があります。

サポートページ (<http://azby.fmworld.net/support/>) の「機種別サポート情報・ダウンロード」に最新のドライバーがない場合は、ドライバーを削除し、再インストールしてください。

- ドライバーの削除や、再インストール手順については、各ドライバーのフォルダー内にある「readme.txt」「install.txt」などのファイルをご覧ください。

●ドライバーの格納されているフォルダーは、次の手順でご確認ください。

1. スタート画面でまっすぐ上にスライドします。  
『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』
2. 「ソフトウェアディスク検索(ハードディスク)」をタップします。  
「ソフトウェアディスク検索(ハードディスク)」が見つからない場合は、画面を右方向へスライドし、隠れている画面を表示してください。
3. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をタップします。
4. 「ソフトウェアディスク検索(ハードディスク)」ウィンドウが表示されたら、「OK」をタップします。  
「ソフトウェアディスク検索」ウィンドウが表示されます。
5. 「機種名」欄の右側の▼をタップし、表示されたリストからお使いの機種名(品名)をタップして選択します。
6. 「ソフトウェア」の一覧から更新したいドライバーをタップして選択します。  
選択したドライバーが格納されているフォルダーの内容が表示されます。



#### Point

- ▶ プリンターなど、このタブレットに添付されていない周辺機器のドライバーについては、お使いの周辺機器のマニュアルをご覧ください。

#### ■アンインストール

□デスクトップアプリのアンインストール機能を使う  
Windows に対応したデスクトップアプリには、アンインストール機能(デスクトップアプリを削除する機能)が用意されているものがあります。  
デスクトップアプリによって操作方法が異なります。詳しくは、デスクトップアプリのマニュアルまたはヘルプをご覧ください。

□「プログラムのアンインストール」機能を使う

- 1 起動しているデスクトップアプリをすべて終了します。
- 2 デスクトップ画面左下隅のを右タップし、表示されたメニューから「プログラムと機能」をタップします。
- 3 一覧から削除したい項目をタップします。
- 4 「アンインストールと変更」(または「アンインストール」)をタップし、画面の指示に従ってアプリを削除します。
- 5 デスクトップアプリの削除が終了したら、「プログラムと機能」ウィンドウで、をタップします。

#### Point

- ▶ 「プログラムのアンインストール」機能で削除できないデスクトップアプリについては、デスクトップアプリのマニュアルまたはヘルプをご覧ください。
- ▶ 「いくつかのファイルは削除されませんでした」と表示されても、削除が完了していれば通常問題ありません。

## フラッシュメモリディスクの領域について

電源を切って作業しますので、この内容を印刷しておくことをお勧めします。

### リカバリ領域を削除する

#### 重要

- ▶ 「リカバリディスク有償サービス」にて「リカバリディスクセット」を購入した場合のみ、リカバリ領域を削除できます。


リカバリ領域を削除して、その分 C ドライブで使用できる容量を増やすことができます。

#### ■注意事項

- リカバリ領域の削除後に、ご購入時の状態に戻すリカバリを行う場合は、「リカバリディスクセット」が必要です
- 外付けハードディスクや USB メモリは必ず取り外してください  
接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
- CD/DVD ドライブが搭載されていない機種の場合、ポータブル CD/DVD ドライブを用意してください  
・ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM54)」をお勧めします。  
・操作を開始する前のタブレットの電源が切れた状態のときに、あらかじめ接続してください。  
・ポータブル CD/DVD ドライブを接続するには、USB 変換アダプタが必要です。
- バッテリーを必ず 100% に満充電してから操作してください。

#### ■リカバリ領域の削除手順

- 1 ①「トラブル解決ナビディスク (リカバリ起動ディスク)」または ②「トラブル解決ナビ&ソフトウェア&リカバリデータディスク」を使って「トラブル解決ナビ」を起動します。  
「トラブル解決ナビ」を起動する (→ P.64) をご覧ください。
- 2 「ユーティリティ」をタップします。
- 3 「リカバリ領域の削除」をタップします。

- 4 「リカバリ領域の削除」の説明が表示されたら、「次へ」をタップします。  
「ご使用上の注意」が表示されます。
  - 5 内容をよくお読みになり、同意する場合は「同意する」をタップして ④ にし、「次へ」をタップします。  
「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。
  - 6 画面のメッセージに従って操作します。  
この後は、
    1. リカバリディスクセットの確認
    2. リカバリ領域の削除の順に進んでいきます。画面のメッセージに従って操作を進めてください。  
「リカバリ領域の削除が完了しました。」と表示されたら手順 7 に進んでください。
  - 7 「完了」をタップします。
  - 8 トラブル解決ナビの最初の画面が表示されたら、ディスクを取り出します。  
ポータブル CD/DVD ドライブを接続している場合は取り外します。
  - 9 「終了」をタップします。
  - 10 「再起動」をタップします。  
Windows が起動します。
  - 11 デスクトップ画面で  (PC) をダブルタップします。  
フラッシュメモリディスクの容量が増えていることを確認します。
- 以上でリカバリ領域の削除は完了です。

### リカバリ領域を復元する

#### 重要

- ▶ 「リカバリディスク有償サービス」にて「リカバリディスクセット」を購入した場合のみ、リカバリ領域を復元できます。

リカバリ領域を復元するためには「ハードディスク全体をリカバリ」を行います。リカバリ領域のみ復元することはできません。

「リカバリディスクセット」を用意してください。

## ■注意事項

- フラッシュメモリディスクの内容はすべて削除されます

リカバリ領域を復元するときに、フラッシュメモリディスクの領域が設定し直されます。このためフラッシュメモリディスクの内容はすべて削除されます。あらかじめ必要なデータをDVDや外付けのハードディスク、microSDカードなどにバックアップしておいてください。

- 「リカバリディスクセット」が必要です  
リカバリ領域の復元には、「リカバリディスクセット」が必要です。購入方法は「ディスクが必要な場合」(→ P.73)をご覧ください。
- 外付けハードディスクやUSBメモリは必ず取り外してください  
接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
- CD/DVDドライブが搭載されていない機種の場合、ポータブルCD/DVDドライブを用意してください  
・ポータブルCD/DVDドライブは、「スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM54)」をお勧めします。  
・ポータブルCD/DVDドライブを接続するには、USB変換アダプタが必要です。  
・操作を開始する前のタブレットの電源が切れた状態のときに、あらかじめ接続してください。
- バッテリーを必ず100%に満充電してから操作してください。

## ■リカバリ領域の復元手順

- 1 ①「トラブル解決ナビディスク (リカバリ起動ディスク)」または②「トラブル解決ナビ&ソフトウェア&リカバリデータディスク」を使って「トラブル解決ナビ」を起動します。  
「トラブル解決ナビ」を起動する(→ P.64)をご覧ください。
- 2 「リカバリ」をタップします。
- 3 「ハードディスク全体をリカバリ」をタップします。  
「ハードディスク全体をリカバリ」の説明が表示されます。
- 4 「次へ」をタップします。  
「ご使用上の注意」が表示されます。

- 5 「ご使用上の注意」をよく読み、同意する場合は「同意する」をタップして③にし、「次へ」をタップします。

- 6 画面のメッセージに従って操作します。

この後は、

1. リカバリディスクセットの確認
2. ハードディスクの領域を設定する
3. リカバリデータをコピーする
4. リカバリを実行する
5. リカバリ領域を復元する
6. 最終処理を実行する

の順に進んでいきます。画面のメッセージに従って操作を進めてください。

- 7 「ディスクの復元が完了しました。」と表示されたら、ディスクを取り出します。

- 8 「完了」をタップします。

タブレットの電源が自動的に切れます。

ポータブルCD/DVDドライブを接続している場合は取り外します。

以上で「リカバリ領域を復元する」は終了です。

続けて、「セットアップする」(→ P.17)をご覧ください。なり、セットアップを行ってください。

## Point

- ▶ ユーザー登録は再度行う必要はありません。
- ▶ すでにMicrosoftアカウントを取得されているため、「セットアップする」(→ P.17)の手順 11では、そのアカウントでサインインしてください。
- ▶ Office 搭載機種で、「リカバリディスク有償サービス」で購入したリカバリディスクセットを使い、ご購入時の状態に戻すリカバリを行った場合、Officeがインストールされた状態にリカバリされません。セットアップ後に、マイクロソフト社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。インストール方法については次のホームページをご覧ください。  
<http://www.office.com/jppipcsetup/>

## BIOS の設定

電源を切って作業しますので、この内容を印刷しておくことをお勧めします。

### BIOS セットアップの操作

#### ■BIOS セットアップとは

BIOS セットアップとは、タブレットの環境を設定するためのプログラムです。タブレットご購入時は、すでに最適なハードウェア環境に設定されています。通常の使用状態では、BIOS セットアップで環境を設定(変更)する必要はありません。

BIOS セットアップの設定は、次の場合などに行います。

- 特定の人だけがタブレットを使用できるように、パスワード(暗証番号)を設定するとき
- 起動時の自己診断テストで BIOS セットアップに関するエラーメッセージが表示されたとき

#### Point

- ▶ BIOS セットアップ画面は英語表記のみです。
- ▶ BIOS セットアップの設定項目については、BIOS セットアップ画面の「項目ヘルプ」をご覧ください。
- ▶ BIOS セットアップ画面の表示について  
HDMI 出力端子に接続したテレビやディスプレイには BIOS セットアップ画面は、表示されません。
- ▶ 起動時の自己診断テスト (POST (ポスト))  
タブレットの電源を入れたときや再起動したときに、ハードウェアの動作に異常がないか、どのような周辺機器が接続されているかなどを自動的に調べます。これを「起動時の自己診断テスト」(POST : Power On Self Test)といいます。
  - ・ 起動時の自己診断テスト中は電源を切らないでください。
  - ・ POST の画面は、液晶ディスプレイのみに表示されることがあります。また、HDMI 出力端子に接続したテレビやディスプレイには表示されません。
  - ・ タブレットは、自己診断テスト中の異常終了の回数を数えており、3 回続いた場合は 4 回目の起動時に「前回の起動が正常に完了しませんでした。」というメッセージを表示します。

#### ■BIOS セットアップを起動する

BIOS セットアップは、電源が切れた状態から操作を始めてください。

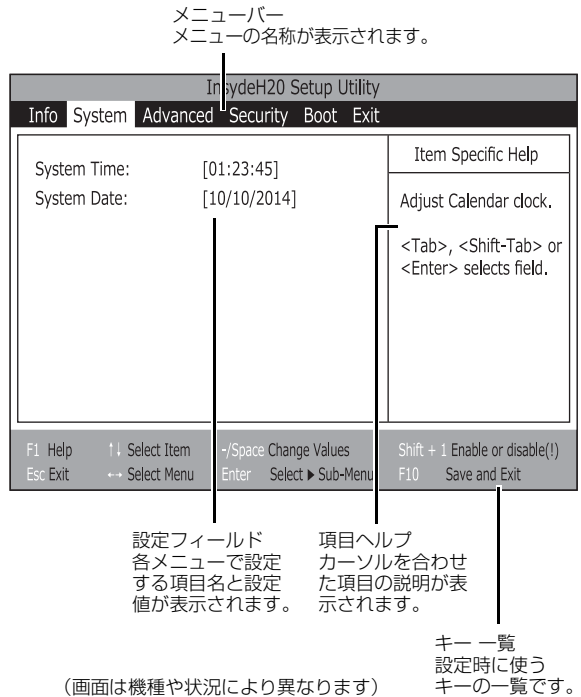
- 1 AC アダプタを接続し、音量調節ボタン (+) を押しながら、タブレットの電源ボタンを押します。
- 2 BIOS セットアップ画面が表示されたら、音量調節ボタン (+) から指を離します。

#### Point

- ▶ BIOS セットアップの画面ではなく Windows が起動してしまった場合は、起動が完了するのを待ってから、タブレットの電源を切り、もう一度手順 1 からやり直してください。

#### ■BIOS セットアップ画面の各部の名称と役割

BIOS セットアップ画面の各部の名称と役割は、次のとおりです。



## ■設定を変更する

### 重要

- ▶ BIOS セットアップの設定を間違えると、タブレットが起動できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

このような場合には、変更した設定値を元に戻すか、ご購入時の設定に戻してタブレットを再起動してください。

- 1 メニューバーの設定したいメニューをタップします。  
選択したメニュー画面が表示されます。
- 2 設定フィールドで、設定したい項目または設定値をタップで選択します。  
項目名に「▶」が付いている項目にはサブメニューがあります。もう一度タップするとサブメニューが表示されます。  
サブメニューから元の画面に戻るには、画面下のキー一覧の「Esc」をタップします。
- 3 選択したメニューの設定値をタップして変更します。  
設定値はもう一度タップすると確定します。文字を入力する項目では、入力エリアをタップしてソフトウェアキーボードが表示されたら、入力したい文字をタップしてください。  
続けて他の設定項目を変更する場合は、手順 1～3 を繰り返してください。
- 4 設定を保存して終了します。

## ■変更内容を取り消す

設定した内容を取り消すには、保存してある変更前の設定値を読み込みます。

- 1 画面下のキー一覧の「Esc」をタップします。  
「終了」(「Exit」)メニューが表示されます。サブメニューを表示しているときは、「終了」(「Exit」)メニューが表示されるまで、画面下のキー一覧の「Esc」を 2～3 回押してください。
- 2 「変更前の値を読み込む」(「Discard Changes」)をタップして選択し、もう一度タップします。  
「変更前の値を読み込みますか?」(「Load previous configuration now?」)というメッセージが表示されます。

- 3 「はい」(「Yes」)をタップします。

BIOS セットアップのすべての設定項目に変更前の値が読み込まれ、すべての変更が取り消されます。

### Point

- ▶ 設定した内容を保存せずに BIOS セットアップを終了する
  1. 「終了」(「Exit」)メニューの「変更を保存せずに終了する」(「Exit Discarding Changes」)をタップします。  
設定値を変更していないときは、これで BIOS セットアップが終了します。  
設定値を変更しているときは、「設定が変更されています! 変更した内容を保存して終了しますか?」(「Setup Warning」)というメッセージが表示されます。
  2. 「いいえ」(「No」)をタップします。  
すべての変更が取り消されて、BIOS セットアップが終了します。

## ■BIOS セットアップを終了する

変更した設定を有効にするためには、設定内容を保存しておく必要があります。

次の操作を行って、設定内容を保存してから BIOS セットアップを終了してください。

- 1 画面下のキー一覧の「Esc」をタップします。  
「終了」(「Exit」)メニューが表示されます。サブメニューを表示している場合は、「終了」(「Exit」)メニューが表示されるまで、画面下のキー一覧の「Esc」を 2～3 回押してください。
- 2 「変更を保存して終了する」(「Exit Saving Changes」)をタップして選択し、もう一度タップします。  
次のいずれかの確認メッセージが表示されます。

セットアップ確認	
変更した内容を保存して終了しますか?	
[はい]	[いいえ]

または

Setup Confirmation	
Save configuration changes and exit now?	
[Yes]	[No]

(画面は機種や状況により異なります)

### 3 「はい」(「Yes」) をタップします。

すべての設定値が保存された後、BIOS セットアップが終了し、このタブレットが再起動します。

#### Point

▶ BIOS セットアップを終了せずに設定内容を保存する

次の操作をすると、いったん設定内容を保存した後、続けて他の項目を設定できます。

1. 「終了」(「Exit」) メニューの「変更を保存する」(「Save Changes」) をタップして選択し、もう一度タップします。

「変更した内容を保存しますか?」(「Save configuration changes now?」) というメッセージが表示されます。

2. 「はい」(「Yes」) をタップします。

#### ■BIOS をご購入時の設定に戻す

ここでは、設定を変更した BIOS を、ご購入時の状態に戻す手順について説明しています。

- 1 BIOS セットアップを起動します。

- 2 画面下のキー一覧の「Esc」をタップします。

「終了」(「Exit」) メニューが表示されます。

- 3 「標準設定値を読み込む」(「Load Setup Defaults」) をタップして選択し、もう一度タップします。

確認のメッセージが表示されます。

- 4 「はい」(「Yes」) をタップします。

BIOS セットアップの設定項目に、標準設定値が読み込まれます。

- 5 「変更を保存して終了する」(「Exit Saving Changes」) をタップして選択し、もう一度タップします。

確認のメッセージが表示されます。

- 6 「はい」(「Yes」) をタップします。

読み込んだ標準設定値が保存された後、BIOS セットアップが終了し、このタブレットが再起動します。

## BIOS のパスワード機能

このタブレットでは、不正使用を防止するために BIOS パスワードを設定することができます。パスワードを設定すると、正しいパスワードを知っている人以外はこのタブレットを使用できなくなります。BIOS のパスワードは Windows が起動する前の設定なので、Windows のパスワードよりもさらにセキュリティを高めたいときに有効です。

#### ■BIOS のパスワードを設定するとできること

BIOS のパスワードを設定すると、次の場合にパスワードの入力を要求され、パスワードを知っている人のみこのタブレットを使用できるようになります。

- タブレットの電源を入れたとき
- タブレットを再起動したとき
- BIOS セットアップを始めるとき

#### ■BIOS パスワード機能をお使いになるうえでの注意

このタブレットの BIOS パスワード機能を使うときは、次の点に注意してください。

- パスワード設定時に必ず行うこと  
パスワードを忘れると、パスワード機能が解除できなくなり、修理が必要となります。  
そのため、パスワードを設定したら、次のことを行ってください。
  - ・「パスワードを変更する」(→ P.112) および「パスワードを削除する」(→ P.112) を印刷しておく
  - ・設定したパスワードを忘れないよう、書き留めておくまた、これらは安全な場所に保管しておいてください。  
パスワードを忘れてしまった場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元までご連絡ください。なお、保証期間にかかわらず修理は有償となります。
- パスワードを忘れるとすべてのデータが消えてしまいます  
パスワードの管理には充分注意してください。



## ■パスワードの種類

このタブレットで設定できるパスワードは次の2つです。

- 管理者用パスワード (Supervisor Password)  
このタブレットをご購入になった方などが使用するパスワードです。パスワード機能を使用するときには必ず設定してください。
- ユーザー用パスワード (User Password)  
「管理者」以外でこのタブレットをお使いになる方（ご家族など）が使用するパスワードです。BIOS セットアップで変更可能な項目に制限があります。「管理者用パスワード」を設定した場合のみ設定できます。

## ■パスワードを設定する

管理者用パスワード／ユーザー用パスワードを設定する方法を説明します。

### □管理者用パスワード／ユーザー用パスワードを設定する

- 1 BIOS セットアップを起動します。
- 2 「セキュリティ」(「Security」) メニューの「管理者用パスワード設定」(「Set Supervisor Password」) または「ユーザー用パスワード設定」(「Set User Password」) をタップして選択し、もう一度タップします。  
パスワード入力用のウィンドウが表示されます。
- 3 入力エリアをタップし、ソフトウェアキーボードでパスワードを入力します。  
入力エリアをタップするとソフトウェアキーボードが表示されます。
  - ・入力できる文字種はアルファベットと数字のみです。なお、アルファベットの太文字と小文字は区別されません。
  - ・入力した文字は表示されず、代わりに「■」や「\*」が表示されます。
  - ・ユーザー用のパスワードの最低文字数は、「ユーザー用パスワード文字数」で設定することができます。
- 4 パスワードを入力したらソフトウェアキーボードの **Enter** をタップします。  
パスワードの再入力を求められます。

5 手順3で入力したパスワードをソフトウェアキーボードで再度入力して、**Enter** をタップします。  
「セットアップ通知」(「Setup Notice」) と書かれたウィンドウが表示されるか、「変更が保存されました。」(「Changes have been saved.」) というメッセージが表示されます。

6 「継続」または「Continue」をタップして、設定を終了します。

再入力したパスワードが間違っていた場合は、「セットアップ警告」(「Setup Warning」) と書かれたウィンドウか、「パスワードが一致しません。もう一度パスワードを入力して下さい。」(「Passwords do not match. Re-enter password.」) というメッセージが表示されます。「継続」または「Continue」をタップして、手順3からやり直してください。

パスワードの設定を中止するときは、画面下のキー一覧の「Esc」をタップしてください。

7 「セキュリティ」(「Security」) メニューの「起動時のパスワード」(「Password on Boot」) を「使用しない」(「Disabled」) 以外に設定します。  
タブレットを起動したときに、BIOS のパスワードを求めるウィンドウが表示される設定になります。

## ■パスワード機能を使う

パスワードを設定すると、設定状態によって次の場合にパスワードの入力が必要になります。

- タブレットの電源を入れたとき
  - タブレットを再起動したとき
  - BIOS セットアップを始めるとき
- パスワードの入力を求めるウィンドウが表示されたら、ソフトウェアキーボードでパスワードを入力し、**Enter** をタップしてください。
- 設定したパスワードと違うパスワードを入力すると、「パスワードが正しくありません。」(「Invalid Password」) というメッセージが表示されます。その場合は、ソフトウェアキーボードの **Enter** をタップし、正しいパスワードを入力してください。
  - 誤ったパスワードを3回入力すると、「システムは使用できません。」(「System Disabled」) というメッセージが表示されます。その場合は、電源ボタンを10秒以上押し続けてタブレットの電源を切ってから10秒ほど待って、もう一度電源を入れます。

□タブレットの電源を入れたときなどのパスワード入力  
タブレットの電源を入れたときやタブレットを再起動したとき、BIOS セットアップを始めるときには、パスワードの入力を求めるウィンドウが表示されます。ソフトウェアキーボードでパスワードを入力し、**[Enter]** をタップしてください。

## ■パスワードを変更する／削除する

□パスワードを変更する

設定したパスワードを変更するときは、次の操作を行ってください。

- 1 BIOS セットアップを起動します。
- 2 「セキュリティ」(「Security」) メニューで変更したいパスワード設定をタップして選択し、もう一度タップします。
  - ・ 管理者用パスワード設定 (Set Supervisor Password)
  - ・ ユーザー用パスワード設定 (Set User Password)

パスワード入力用のウィンドウが表示されます。

- 3 設定してあるパスワードをソフトウェアキーボードで入力し、**[Enter]** をタップします。  
新しいパスワードの入力を求められます。
- 4 新しく設定したいパスワードをソフトウェアキーボードで入力し、**[Enter]** をタップします。  
新しいパスワードの再入力を求められます。

### 重要

- ▶ パスワード設定時に必ず行うこと  
パスワードを忘れると、パスワード機能が解除できなくなり、修理が必要となります。  
そのため、パスワードを設定したら、次のことを行ってください。
    - ・ 解除する手順が書かれたこのページを印刷しておく
    - ・ 設定したパスワードを忘れないよう、何かに書き留めておく
- また、これらは安全な場所に保管しておいてください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、「富士通 パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元までご連絡ください。なお、保証期間にかかわらず修理は有償となります。
- ▶ パスワードを忘れるとすべてのデータが失われます  
パスワードの管理には充分注意してください。

5 手順4で入力したパスワードをソフトウェアキーボードで再度入力し、**[Enter]** をタップします。  
「変更が保存されました。」(「Change has been saved」) というメッセージが表示されます。

6 「継続」または「Continue」をタップして、設定を終了します。

再入力したパスワードが間違っていた場合は、「セットアップ警告」(「Setup Warning」) と書かれたウィンドウか、「パスワードが一致しません。もう一度パスワードを入力して下さい。」

(「Passwords do not match. Re-enter password.」) というメッセージが表示されます。「継続」または「Continue」をタップして、手順4からやり直してください。

パスワードの設定を中止するときは、画面下のキー一覧の「Esc」をタップしてください。

### Point

- ▶ 誤ったパスワードを3回入力すると、「システムは使用できません。」(「System Disabled」) というメッセージが表示されます。その場合は、電源ボタンを10秒以上押してタブレットの電源を切ってから10秒ほど待って、もう一度電源を入れます。その後、正しいパスワードを入力してください。

□パスワードを削除する

設定したパスワードを削除するときは、「パスワードを変更する」(→ P.112) の手順を最初から行い、手順4～5で何も入力せずに、ソフトウェアキーボードの**[Enter]** をタップしてください。

## BIOS が表示するメッセージ一覧

タブレットを起動した直後に、画面上にメッセージが表示される場合があります。これらのメッセージは「BIOS セットアップ」という、タブレットの環境を設定するためのプログラムが表示しています。

### ■メッセージが表示されたときは

タブレット本体や周辺機器に問題があると、タブレットを起動したときにエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合は、次の手順に従って処置をしてください。

#### 1 BIOS セットアップの設定値を確認します。

BIOS セットアップに関するエラーメッセージが表示された場合は、BIOS セットアップを起動して各項目の値が正しいか確認してください。また、BIOS セットアップの設定値をご購入時の設定に戻して再起動してください。それでもメッセージが表示される場合は、手順 2 に進んでください。

#### 2 周辺機器を取り外します。

別売の周辺機器の拡張カードやメモリなどを取り付けている場合には、タブレットの電源を切ってからそれらの周辺機器を取り外し、再びタブレットを起動して動作を確認してください。それでも同じメッセージが表示される場合には、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

#### 3 取り外した周辺機器を、1 つずつ取り付けます。

取り外した周辺機器を1 つずつ取り付け、タブレットを再起動して動作を確認してください。このとき、各周辺機器のマニュアルや、ユーティリティソフトがある場合にはそれらのマニュアルも、あわせてご覧ください。

上記のように処置してもまだ同じメッセージが表示される場合や、次の「メッセージ一覧」に当てはまるメッセージがない場合は、タブレット本体が故障している可能性があります。「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」のご利用については、「サポート&サービス紹介」(→ P.67) をご覧ください。

### ■メッセージ一覧

このタブレットが表示するメッセージの一覧は、次のとおりです。メッセージ中の「n」には数字が表示されます。また、メッセージは機種により異なります。

#### ●Boot Failure

起動メニューで選択された起動デバイスから、起動できなかった場合に表示されます。

起動デバイスが正しく接続されているか確認してください。

セキュアブートに対応していない OS から起動する場合は、BIOS セットアップの「Security」メニューの「Secure Boot Configurations」 - 「Secure Boot Option」を「Disabled」に変更してください。

#### ●Bootable device was not found.

起動可能なデバイスが見つからなかった場合に表示されます。「Continue」をタップすると起動メニュー (Boot Menu) が起動しますので、起動可能なデバイスが表示されているかどうかを確認してください。

#### ●Invalid NVRAM Data NVRAM

NVRAMデータのテストでエラーが発見されたことを示しています。

#### ●Real Time Clock Error - Check Date and Time settings

リアルタイムクロックのテストで、エラーが発生したことを示しています。

#### ●Secure boot is failed \*\*ACCESS DENIED\*\*

セキュアブートに対応していない OS から起動しようとしたときに表示されます。

セキュアブートに対応していない OS から起動する場合は、BIOS セットアップの「Security」メニューの「Secure Boot Configurations」 - 「Secure Boot Option」を「Disabled」に変更してください。

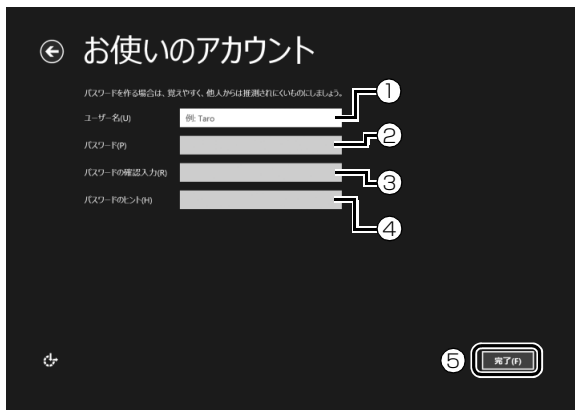
## インターネットに接続せずにセットアップしたときは

ここでは、セットアップ中にインターネットに接続しなかった場合、どのようにセットアップを完了したら良いか説明します。操作の流れは次のようになります。

- 1 Windows セットアップ時にローカルアカウントを取得する (→ P.114)
- 2 インターネットに接続する (→ P.114)
- 3 Microsoft アカウントに切り替える (→ P.116)
- 4 Windows を終了する  
「Windows のセットアップをする」手順 18 (→ P.31)
- 5 タブレットを快適にお使いいただくための準備をする (→ P.32)

## Windows セットアップ時にローカルアカウントを取得する

「Windows のセットアップをする」の手順 11 で次のような画面が表示された場合の操作方法です。



- ①「ユーザー名」を入力します。  
・「Windows のセットアップをする」の手順 7 で入力した PC 名と同じ名前を入力できません。  
・ 12 文字以内の半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) で好きな名前を入力してください。
- ②「パスワード」を入力します。  
12 文字以内の半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) で好きなパスワードを入力してください。
- ③②で入力したものと同じものを入力します。
- ④自分だけがパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。かなも漢字も使用できます。
- ⑤「完了」をタップします。

Windows のセットアップが完了しました。  
スタート画面が表示されるまでお待ちください。

## インターネットに接続する

このタブレットをお使いになるときは、無線 LAN でインターネットに接続してください。

インターネットの設定方法については、ご契約のプロバイダーの指示に従ってください。

### Point

- ▶ データ通信カードやアダプター、モバイル Wi-Fi ルーターなどのデータ通信機器をお使いになりインターネットに接続する場合、設定および使用方法については、データ通信機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- ▶ データ通信機器に関しては、ご契約のデータ通信サービス会社にお問い合わせください。
- ▶ 別売の LAN 変換ケーブルを使用すると、有線 LAN でもインターネットに接続できます。ただし、Microsoft アカウントに切り替えるときには (→ P.116)、AC アダプタの接続をお勧めします。AC アダプタを接続すると LAN 変換ケーブルは使用できなくなるので、無線 LAN でインターネットに接続してください。

### ■無線 LAN でインターネットに接続する

ここでは、無線 LAN アクセスポイントと内蔵無線 LAN を使って、無線 LAN でインターネットに接続する方法を説明します。

#### Step1 無線 LAN アクセスポイントを設定する

別売の無線 LAN アクセスポイントを用意し、インターネットに接続する設定を行ってください。設定方法は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

### 重要



- ▶ 無線 LAN アクセスポイントは、セキュリティの設定をしてお使いになることをお勧めします。  
セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。

無線 LAN アクセスポイントに設定した情報を、次の欄に記入してください。

記入後は第三者に漏れないよう注意してください。

## Step2 タブレットの設定をする

Windows 8.1 の標準機能を使って無線 LAN の設定を行う方法を説明します。



- 1 無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。  
無線 LAN アクセスポイントの電源の入れ方については、無線 LAN アクセスポイントに添付されているマニュアルをご覧ください。
- 2 画面右端の外から中へスワイプして「チャーム」を表示し、 (設定) をタップします。  
 「Windows 8.1 基本操作クイックガイド」
- 3 「設定チャーム」で「利用可能」アイコンをタップします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

- 4 次の画面の操作をします。



- ①「Wi-Fi」がオフになっていたら、 (オフ) をタップして  (オン) にします。
- ② Step 1 で記入した無線 LAN アクセスポイントのネットワーク名 (SSID) をタップします。
- ③ 「自動的に接続する」の  をタップして  にします。
- ④ 「接続」をタップします。

- 5 次の画面の操作をします。



- ① Step 1 で記入した無線 LAN アクセスポイントのパスワードを入力します。  
「ルーターのボタンを押しても接続できません。」と表示されていたら、無線 LAN アクセスポイント (ルーター) のボタンを押して接続できる場合があります。  
詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- ② 「次へ」をタップします。

- 6 正しく設定できたか確認します。

正しく設定できると、「接続済み」と表示されます。



### Point

- ▶ 「接続済み」と表示されなかった場合は、もう一度、Step 1 で記入した無線 LAN アクセスポイントの設定情報と、手順 5 で入力したパスワードを確認してください。
- ▶ 無線 LAN アクセスポイントで設定した内容と同じ情報をタブレットに設定しないと、ネットワークに接続できません。無線 LAN アクセスポイントの設定がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- ▶ プロバイダーから提供されるインターネット接続に必要な情報が正しく設定されているか確認してください。設定する情報がわからない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

これで無線 LAN を使ったインターネット接続は完了です。



## Microsoft アカウントに切り替える

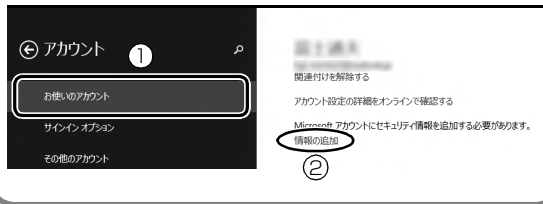
Windows 8.1ではMicrosoftアカウントでサインインすることで、様々な機能やサービスを快適に利用できます。インターネットに接続したら、ローカルアカウントをMicrosoftアカウントに切り替えてください。

Microsoft アカウントに切り替える方法については、サポートページからQ&Aナンバー「8209-9156」を検索してご覧ください。

### このPCで本人確認を行う

Microsoft アカウントに切り替えた後など、このタブレットを快適にお使いになるために、本人確認を行う必要がある場合があります。

- 1 「チャーム」を表示し、 (設定) をタップします。  

- 2 「設定チャーム」で「PC設定の変更」をタップし、「アカウント」をタップします。
- 3 ①「お使いのアカウント」をタップし、②「情報の追加」または「確認する」と表示されている場合は、本人確認を行う必要があります。  
タップし、その後は画面の指示に従って操作してください。



- ➡ この後は、「Windows のセットアップをする」の手順18、および「タブレットを快適にお使いいただくための準備をする」(→P.32)を行ってください。

## インターネットを安心してお使いいただくために

### 青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットの発展によって、世界中の人とメールのやりとりをしたり、個人や企業が提供しているインターネット上のサイトを活用したりすることが容易になっており、それに伴い、青少年の教育にもインターネットの利用は欠かせなくなっています。しかしながら、インターネットには違法情報や有害な情報などを掲載した好ましくないサイトも存在しています。

特に、下記のようなインターネット上のサイトでは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題の発生を助長していると見られています。

- ・アダルトサイト (ポルノ画像や風俗情報)

- ・他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- ・出会い系サイト・犯罪を助長するようなサイト
- ・暴力残虐画像を集めたサイト
- ・毒物や麻薬情報を載せたサイト

サイトの内容が青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。

有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信側で有害サイトの閲覧を制御する技術です。100% 万全ではありませんが、多くの有害サイトへのアクセスを自動的に制限できる有効な手段です。特に青少年のお子様がいいらっしゃるご家庭では、「フィルタリング」を活用されることをお勧めします。

「フィルタリング」を利用するためには、一般に下記の2つの方法があります。

「フィルタリング」はお客様個人の責任でご利用ください。

- ・タブレットにフィルタリングの機能をもつアプリをインストールする
  - ・インターネット事業者のフィルタリングサービスを利用する
- これらのアプリのインストール方法やご利用方法については、それぞれのアプリの説明書またはヘルプをご確認ください。なお、アプリやサービスによっては、「フィルタリング」機能を「有害サイトブロック」、「有害サイト遮断」、「Web フィルタ」、「インターネット利用管理」などと表現している場合があります。あらかじめ機能をご確認のうえ、ご利用されることをお勧めします。

#### 【参考情報】

- ・社団法人電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」
- ・デジタルアーツ株式会社 (i-フィルター<sup>®</sup> 6.0 提供会社)「フィルタリングとは - 家庭向けケーススタディー」


#### ■「i-フィルター<sup>®</sup> 6.0」について

このタブレットには、フィルタリング機能をもつ「i-フィルター<sup>®</sup> 6.0」が用意されています。使い方については、「「i-フィルター<sup>®</sup> 6.0」を使う」(→P.116)をご覧ください。

#### ■「i-フィルター<sup>®</sup> 6.0」を使う

このタブレットに用意されている「i-フィルター<sup>®</sup> 6.0」はご利用期間90日間のお試し版となっています。ぜひお試しください。初めてお使いになるときは、次の手順で初期設定を行ってください。

なお、お試し版を登録するにはメールアドレスが必要です。

- 1 インターネットに接続します。
- 2 デスクトップ画面上の  (i-フィルター 6.0 のセットアップ) をタップします。

- 3 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をタップします。

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をタップしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をタップします。

「有害サイトフィルタリングソフト「i-フィルター 6.0」のご紹介」の画面が表示されます。

- 4 「「i-フィルター 6.0」をインストールする」をタップします。

「i-フィルター<sup>®</sup> 6.0」の使用許諾の画面が表示されます。この後は画面の指示に従ってインストールを進めてください。

### Point

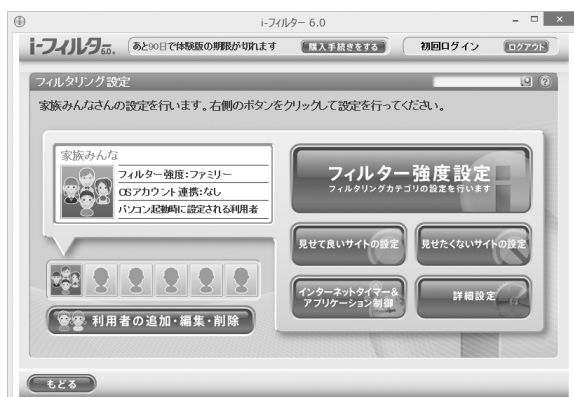
- ▶ 次のような画面が表示された場合は、「i-フィルター<sup>®</sup> 6.0」はインストール済みです。  
「OK」▶「完了」の順にタップして、画面を閉じてください。



- 5 「i-フィルター 6.0」の画面が表示されたら、インターネットに接続していることを確認して、「90 日の無料お試し付き「i-フィルター 6.0」【お申込み】」をタップします。

この後は画面の指示に従って登録を進めてください。登録が完了すると「i-フィルター<sup>®</sup> 6.0」が利用できるようになります。

次回使うときは、デスクトップ画面右下の通知領域に表示された ⓘ アイコンから、設定を行うことができます。



利用開始から 90 日間を超えてご利用になる場合は、継続利用の登録（有償）を行ってください。別のフィルタリングアプリをご利用になる場合は、市販のアプリをご購入のうえ、ご利用ください。

## タブレットの電源を完全に切る

日常的なタブレットの使用では、この方法で電源を切る必要はありません。

### 重要

- ▶ 次のような場合は、ここで説明している手順でタブレットの電源を切ってください。
- ・トラブル解決ナビを起動する
  - ・BIOS セットアップを起動する
- 上記以外にも、操作前にタブレットの電源を完全に切る必要のある場合があります。詳しくは、「Windows を終了する」(→ P.38) をご覧ください。

- 1 画面右端の外から中へスワイプして「チャーム」を表示し、⚙️(設定) をタップします。  
📖「Windows 8.1 基本操作クイックガイド」
- 2 「PC 設定の変更」をタップします。
- 3 画面左側のメニューで「保守と管理」をタップします。
- 4 画面左側のメニューで「回復」をタップします。
- 5 画面右側のメニューで「今すぐ再起動する」をタップします。
- 6 「オプションの選択」画面が表示されたら、「PC の電源を切る」をタップします。

## 廃棄・リサイクルのご案内

### ■個人のお客様へ

PC リサイクル対象外であり、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

### ■法人・企業のお客様へ

弊社ではお客様から排出される機器を回収リサイクル（有償）し、リチウムイオン電池など資源の有効活用に積極的に取り組んでいます。詳細は当社ホームページ「事業系 IT 製品リサイクルサービス」(<http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/lcm/recycle/>) をご覧ください。

## タブレットの廃棄・譲渡時のフラッシュメモリディスク上のデータ消去に関するご注意

### 重要

- ▶ フラッシュメモリディスク上のデータを消去した場合、ご購入時の状態に戻すには、「リカバリディスクセット」を購入する必要があります。詳しくは「ディスクが必要な場合」(→ P.73) をご覧ください。

タブレットを廃棄あるいは譲渡する際、フラッシュメモリディスクに記録されたお客様のデータが流出して、再利用される可能性があり、結果的にデータが流出してしまうことがあります。

原因として、タブレットのフラッシュメモリディスクに記録されたデータは、削除したり、フラッシュメモリディスクを再フォーマットしたりしても、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアを利用することで、読み取ることができからです。

また、フラッシュメモリディスク上のソフトウェアを削除することなくタブレットを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

そのため、タブレットを廃棄あるいは譲渡する際は、フラッシュメモリディスク上のデータが第三者に流出することがないよう全データの消去の対策をお願いいたします。対策として、専用ソフトウェアやサービス(有償)のご利用をお勧めいたします。

詳しくは、サポートページの「パソコン廃棄、譲渡前の常識！データを消去しよう」(<http://azby.fmworld.net/usage/special/erasedata/>) をご覧ください。

### ■ハードディスクデータ消去

タブレットの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の1つとして、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。

「ハードディスクデータ消去」は、WindowsなどのOSによるファイル削除やフォーマットと違い、フラッシュメモリディスクの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。

「ハードディスクデータ消去」の使用方法については、サポートページからQ&Aナンバー「6604-6237」を検索してご覧ください。



# 富士通パーソナルコンピュータ修理規定

最新版はホームページに掲載しています。  
<http://azby.fmworld.net/support/repair/syurikitei/>

## 第1条 (本規定の適用)

- 富士通株式会社(以下「富士通」といいます)は、お客様が富士通の「故障や修理に関する受付窓口」にて修理の依頼をされた場合、または富士通の専用ホームページ【<http://azby.fmworld.net/support/repair/index.html>】(以下「専用ホームページ」といいます)にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合および販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されないものとします。
- 前項に基づき富士通が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容が、次条に定める対象機器に同梱されている保証書(以下「保証書」といいます)裏面の無料修理規定(以下「無料修理規定」といいます)の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容が有効に適用されるものとします。

## 第2条 (対象機器)

本規定に基づく修理の対象となる機器(以下「対象機器」といいます)は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ(詳細は本規定末尾記載、以下同じ)および当該日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ用の富士通製周辺機器(ただしプリンタは除きます)とします。

## 第3条 (修理の形態)

- 富士通は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等を伺いながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると富士通が判断した場合には、次のいずれかの形態により修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があります。
- 引取修理(パソコン修理便)  
お客様のご自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。
- 訪問修理  
訪問修理が可能な製品について、お客様が訪問修理を希望された場合は、富士通指定の修理サービス会社の担当者がお客様のご自宅を訪問し、修理作業を行います。なお、訪問料は、保証書で特に無料と定められている場合を除き、保証期間の内外を問わず、別途有料となります。また、離島の一部地域では、訪問料とは別に訪問に要する実費(フェリー代、宿泊代等)をお客様にご負担いただく場合があります。
- 前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が外付けキーボード、マウス、ACアダプタにあると富士通が判断した場合は、富士通は、原因部品の良品をお客様のご自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から富士通に送付していただきます。

## 第4条 (保証期間内の修理)

- 保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、富士通は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。
- 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
  - 保証書が対象機器に添付されていない場合
  - 保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされている場合
  - ご使用上の誤り(水などの液体こぼれ、水没、落下等)、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合
  - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合
  - 富士通指定の有寿命部品、消耗品(バッテリー、乾電池等)または定期交換部品の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合
  - 接続している他の機器、非純正品、不適当な消耗品またはメディアのご使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合
  - お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合
  - 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合(例:対象機器にプレインストールまたは添付されたソフトウェア製品に起因する不具合、ウイルス感染による不具合等を含む)、以下同じとします)の場合
  - お客様が設定されたパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、メインボード、本体カバーその他の部品の交換が必要になった場合
  - お客様の使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障・損傷の場合(例:埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等)
- 第1項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても、別途それぞれの料金が発生するものとします。

- 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
- 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合で、ソフトウェアの再インストールにより復旧する場合であって、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフトウェア再インストール料

## 第5条 (保証期間外の修理)

- お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、富士通は、有料で修理を行います。
- 次の各号のいずれかに該当する場合は、修理料金の他にそれぞれの料金が発生するものとします。
  - 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
  - ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合で、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料
- お客様による修理のご依頼が保証期間外の引取修理の場合であって、お客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと富士通が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合(第6条第2項および第3項に定める場合を含みます)であっても、診断料が発生するものとします。
- お客様による修理のご依頼が保証期間外の訪問修理の場合であって、富士通指定の修理サービス会社の担当者が、訪問先でお客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと判断した場合は、当該診断作業に対して訪問料と診断料が発生するものとします。また、担当者がお客様ご指定の場所に訪問し、修理作業に入る前に修理のご依頼をキャンセルされた場合は、訪問料が発生するものとします。

## 第6条 (修理料金の見積もり)

- 修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理料金の見積もりを希望された場合、富士通は、引取修理の場合は対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとします。訪問修理の場合は訪問前にお客様から現象や使用環境等伺いした内容に基づき診断を行い、概算の見積金額をお知らせするものとします。富士通もしくは富士通指定の修理サービス会社の担当者は、当該見積金額での修理について、お客様にご了承いただいたうえで、修理を提示いたします。ただし、お客様から修理のご依頼時に修理料金の上限金額をご提示いただいた場合であって、修理料金が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。
- 前項のうち引取修理の場合であって、お客様に見積金額をお知らせした日から1か月を超えても、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。
- 第1項のうち引取修理の場合であって、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合等、お客様に見積金額をお知らせした後に当該金額を変更する必要がある場合には、富士通は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該再見積り後の金額での修理についてお客様にご了承いただいたうえで、修理を継続いたします。なお、当該再見積り後の金額での修理についてお客様にご了承いただけなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

## 第7条 (修理料金等の支払い方法)

第4条または第5条に基づき発生した修理料金等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただきます。

## 第8条 (修理期間)

引取修理の場合、富士通は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として7日間に対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7日間を超える場合があります。

- お客様が伺った故障の現象が確認できず、修理箇所の特定ができない場合
- 引取修理の場合であって、引き取り先が離島の場合
- 有料修理の場合であって、お客様が修理料金の見積もりを希望された場合
- お客様のご都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合
- 天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合
- 第12条第1項に定める補修用性能部品が在庫切れの場合

## 第9条 (修理品の保管期間)

引取修理の場合であって、修理完了後にお客様に修理の完了および返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、富士通は、対象機器をお預かりした日から6か月間の保管期間の経過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとみなし、当該対象機器を自由に処分できるものとします。この場合、富士通は修理料に対し、当該保管に要した費用および当該処分に関する費用を請求できるものとし、また、保証期間外の修理の場合は、別途修理料金または診断料を請求できるものとします。

## 第10条 (故障部品の取り扱いは)

修理を行うために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所有権を放棄するものとし、富士通は、当該故障部品をお客様に返却しないものと

します。なお、当該故障部は、環境への配慮から再調整後検査し、富士通の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

### 第 11 条 (修理ご依頼時の注意事項)

お客様は、修理をご依頼されるにあたり、あらかじめ以下の事項についてご了承いただくものとします。

- (1) お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合は、必ず対象機器に同梱されている保証書を対象機器に添付いただくものとします。
- (2) お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置 (ハードディスク等) に記憶されたデータ、プログラムおよび設定内容 (以下総称して「データ等」といいます) につきましては、富士通では一切保証いたしません。お客様は、修理をご依頼される前に、お客様の責任においてバックアップをとっていただくものとします。(日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。) なお、修理および修理前の診断作業の過程で、データ等が変化・消去される場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合 (第 6 条に定める場合を含みます) でも、当該キャンセルの時点で既に富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程でデータ等が変化・消去されている場合があります。
- (3) 富士通は、修理および修理前の診断作業の過程で、インターネットへの接続確認等の目的で対象機器をインターネットに接続する場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合 (第 6 条に定める場合を含みます) でも、当該キャンセルの時点で既に富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程で対象機器がインターネットに接続されている場合があります。なお、当該接続によりデータ等が変化・消去される場合があります。また、富士通は、当該接続によりデータ等が変化・消去される等の問題が生じ、当該問題を解決するために必要と判断した場合、データ等を変更、消去等する場合があります。
- (4) 修理完了後のオペレーティングシステム (OS) ならびにその他のプログラムの再インストールおよびセットアップ等につきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。
- (5) お客様ご自身で貼り付けられたシール等につきましては、取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。
- (6) 富士通は、修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。なお、修理期間中の対象機器の使用不能による補償等は、本規定で定める責任を除き富士通では一切責任を負わないものとします。
- (7) お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合は、当該設定を解除したうえで修理をご依頼いただくものとします。
- (8) 対象機器の修理とは関係のない記録媒体 (CD、DVD、メモリーカード、フロッピーディスク、MO 等)、他の機器との接続ケーブル、および添付品等につきましては、事前にお客様の方で対象機器から取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。なお、万が一これらが対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただいた場合、富士通ではこれらの管理につき一切責任を負わないものとします。
- (9) 修理のご依頼時に、当該修理にリカバリディスクが必要である旨富士通からお知らせした場合は、お客様は必ず対象機器に同梱されているリカバリディスクを添付いただくものとします。
- (10) 次の各号のいずれかに該当するものは、修理の対象から除かれるものとします。

- a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理
  - b. ウィルスの除去
  - c. 液晶ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換
  - d. データ等のバックアップおよび復旧作業
- (1) 訪問修理の場合であって、富士通または富士通指定の修理サービス会社がお客様への訪問日程調整のご連絡に努めたにもかかわらず、ご連絡がつかない状態が 2 週間以上継続した場合は、修理をキャンセルされたものとみなすことがあります。

### 第 12 条 (補修用性能部品)

1. 補修用性能部品は、製品の機能を維持するために必要な部品をいし、故障部品と機能、性能が同等な部品 (再利用品および第 10 条に定める故障部品の再利用も含む) とします。
2. 富士通における補修用性能部品の最低保有期間につきましては、対象機器に同梱されている説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

### 第 13 条 (個人情報の取り扱い)

1. 富士通は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報 (以下「お客様の個人情報」といいます) につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。

- (1) 修理を実施すること。
- (2) 修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。
- (3) お客様に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等によりお客様へ提供すること。

- (4) お客様の個人情報の取り扱いにつき、個別にお客様の同意を得るために、当該お客様に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、および当該同意を得た利用目的に利用すること。
2. 富士通は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、お客様の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。
3. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、お客様の個人情報につき、第 1 項に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

### 第 14 条 (責任の限定)

1. 富士通が実施した修理に富士通の責に帰すべき瑕疵が発見され、当該修理完了日より 3 か月以内に、当該修理時の「診断・修理報告書」を添えてその旨お客様より富士通にご連絡いただいた場合、富士通は自己の責任と費用負担において必要な修理を再度実施いたします。なお、この場合の瑕疵とは、当該修理を実施した箇所の不具合により再度修理が必要となる場合をいいます。
2. 合理的な範囲で富士通が前項の修理を繰り返し実施したにもかかわらず、前項の瑕疵が修理されなかった場合には、富士通は、当該瑕疵に起因してお客様に生じた損害につき、賠償責任を負うものとします。
3. 対象機器の修理に関連して富士通がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、その賠償額は、修理料金相当額を上限とします。また、富士通は、富士通の責に帰することのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益については、責任を負わないものとします。
4. 対象機器の修理に関連してお客様が被った損害が、富士通の故意または重大過失に起因するものである場合には、前項の規定は適用されないものとします。

### 第 15 条 (変更)

富士通は、本規定の内容を変更する必要がある場合は、お客様に対する通知をもって変更できるものとします。なお、当該通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。

### 第 16 条 (専属的合意管轄裁判所)

本規定に基づく対象機器の修理に関する訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

### 付則

本規定は、2014 年 4 月 1 日から実施します。

### ■対象機器

- ・ ARROWS Tab QH シリーズ
- ・ ARROWS Tab Wi-Fi QH シリーズ
- ・ FMV シリーズ
- ・ FMV STYLISTIC QH シリーズ
- ・ ESPRIMO / LIFEBOOK (品名が以下のように表記される製品)

品名: \* H \*\*\* / \*\*\*  
↑ ↑ ↑  
アルファベット 数字 数字またはアルファベット  
(2 ~ 3 桁) (1 ~ 3 桁)

品名: W \* \* / \*  
↑ ↑ ↑  
アルファベット 数字 アルファベット

品名: \* H / R \* \*  
↑ ↑ ↑  
アルファベット 数字またはアルファベット  
(1 ~ 2 桁)

# 文字コードの取り扱いに関する注意

## 環境依存文字の取り扱いについて

環境依存文字とは、お使いのアプリや相手のタブレットの環境によって、正しく表示されない可能性のある文字のことです。

文書データなどを作成するときに環境依存文字を使用すると、Eメールやホームページ上で字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。

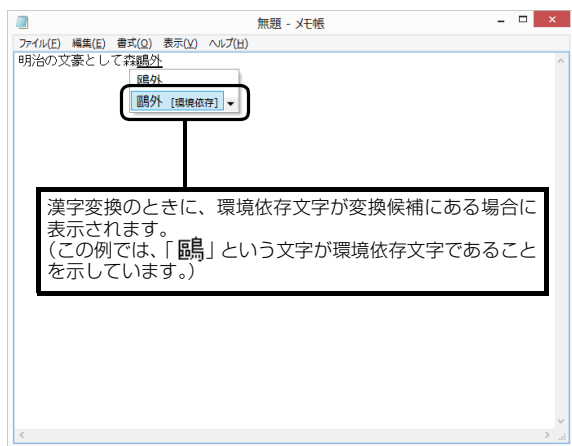
トラブルを避けるため、環境依存文字はできるだけ使用しないことをお勧めします。

環境依存文字を使用すると、次のようなトラブルが起きることがあります。

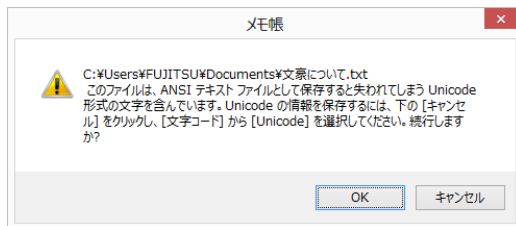
- ・ Eメールのやり取りで環境依存文字を使用すると、送信側と受信側で、字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。
- ・ アプリが環境依存文字に対応していない場合、アプリが環境依存文字を正しく表示したり認識したりできない場合があります。
- ・ お使いのプリンターによっては、環境依存文字を使用して印刷すると、字形が異なったり崩れたりして印刷される場合があります。
- ・ インターネットのサイトなどで運用側のシステムが環境依存文字に対応していない場合、環境依存文字を入力すると、字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。  
例 ショッピングサイト、検索サイト、ブログ、ホームページ、インターネット掲示板など

Windows 8.1、Windows 7では、環境依存文字を取り扱うときに、注意をうながすメッセージが表示されます。次に表示されるメッセージの例を説明します。

### 例 1 文字入力中に環境依存文字を示すメッセージ



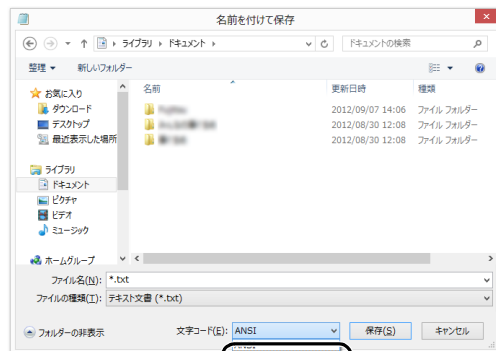
### 例 2 環境依存文字を含んだファイルを保存するときに表示されるメッセージ



- ・ 環境依存文字を含んだファイルを保存するときに表示されます。「キャンセル」をタップすると作成中の状態に戻るので、環境依存文字を変更して保存し直すことをお勧めします。

### Point

- ▶ 文字コードを他の形式にして保存する  
環境依存文字を含んだファイルは、次のように文字コードを Unicode 形式にすることで保存できます。ただし、Unicode に対応していない OS やアプリでこのファイルを開くと、文字化けを起こしたり正常に表示されなかったりする場合がありますのでご注意ください。



文字コード「Unicode」を選んでから保存してください。

## Windows 8.1、Windows 7 と Windows XP 以前との文字の互換性

Windows 8.1、Windows 7、Windows Vista は、日本工業規格「JIS X 0213:2004」に対応しています。Windows XP 以前の OS は「JIS X 0213:2004」に対応していないため、「JIS X 0213:2004」で新たに追加された文字や字形変更された文字を使用して作った文書データは、字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。また、Windows XP 以前の OS で作られた文書データに、「JIS X 0213:2004」で字形変更された文字が含まれる場合は、異なった字形で表示されます。

□参考：JIS X 0213:2004 改正における字形変更の比較（一例）

改正後字形：Windows 8.1、Windows 7、Windows Vista 改正前字形：Windows XP 以前の OS

UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形
5026	倦	倦	5C60	屠	屠	6753	杓	杓	701E	漣	漣
50C5	僅	僅	5DF7	巷	巷	6962	檜	檜	7026	瀦	瀦
5132	儲	儲	5E96	庖	庖	698A	榭	榭	7058	灘	灘
51A4	冤	冤	5EDF	廟	廟	6994	榔	榔	707C	灼	灼
537F	卿	卿	5FBD	徽	徽	69CC	槌	槌	7149	煉	煉
53A9	厩	厩	6062	恢	恢	6A0B	榭	榭	714E	煎	煎
53DB	叛	叛	6108	愈	愈	6A3D	樽	樽	717D	煽	煽
54E8	哨	哨	6241	扁	扁	6ADB	櫛	櫛	7259	牙	牙
55A9	喻	喻	6357	抄	抄	6B4E	歎	歎	7337	猷	猷
5632	嘲	嘲	6372	捲	捲	6C72	汲	汲	7511	甌	甌
5642	噂	噂	63C3	揃	揃	6DEB	淫	淫	75BC	疼	疼
564C	噌	噌	647A	摺	摺	6EA2	溢	溢	77A5	瞥	瞥
56C0	轉	轉	64B0	撰	撰	6EBA	溺	溺	7941	祗	祗
5835	堵	堵	64E2	擢	擢	6F23	漣	漣	7947	祇	祇
5C51	屑	屑	6666	晦	晦	7015	瀕	瀕	79B0	禰	禰

UCS: Universal multiple-octet coded Character Set

改正後字形：Windows 8.1、Windows 7、Windows Vista 改正前字形：Windows XP 以前の OS

UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形
79E4	秤	秤	84EC	蓬	蓬	8CED	賭	賭	9306	鑄	鑄
7A7F	穿	穿	8511	蔑	蔑	8FBB	辻	辻	939A	鎚	鎚
7B08	笈	笈	853D	蔽	蔽	8FBF	迪	迪	9453	鎚	鎚
7B75	筵	筵	85A9	薩	薩	8FC2	迂	迂	9784	鞞	鞞
7BAD	箭	箭	85AF	薯	薯	8FC4	迄	迄	9798	鞞	鞞
7BB8	箸	箸	85F7	藷	藷	8FE6	迦	迦	98F4	飴	飴
7BC7	篇	篇	86F8	蛸	蛸	9017	逗	逗	9905	餅	餅
7BDD	篝	篝	8755	蝕	蝕	9019	這	這	990C	餌	餌
7C3E	簾	簾	8956	襖	襖	9022	逢	逢	9957	饗	饗
7C7E	粩	粩	8A1D	訝	訝	903C	逼	逼	9A19	騙	騙
7FEB	翫	翫	8A3B	註	註	9041	遁	遁	9BD6	鯖	鯖
7FF0	翰	翰	8A6E	詮	詮	905C	遜	遜	9C2F	鰯	鰯
817F	腿	腿	8AFA	診	診	9061	遡	遡	9C52	鱒	鱒
82A6	芦	芦	8B0E	謎	謎	912D	鄭	鄭	9D09	鴉	鴉
8328	茨	茨	8B2C	謬	謬	914B	曾	酋	9D60	鵠	鵠
845B	葛	葛	8C79	豹	豹						

## タブレット本体の主な仕様

ここでは、タブレット本体の主な仕様を紹介しています。

### ■仕様の調べ方

仕様について詳しくは「富士通アドバイザー」(→ P.32)の「サポート & サービス情報」から「パソコンの仕様を調べる」を選択して表示されるホームページの内容をご覧ください。なお、仕様の詳細を調べるときに、お使いのタブレットの型名が必要になることがあります。型名は次の場所に記載されています。

- 保証書
- タブレット本体の裏面に貼付されたラベル
- スタート画面でまっすぐ上にスライドし、「サポートツール」の「パソコンの情報」をタップすると表示される画面



- ▶ 型名の確認方法の詳細は、サポートページから Q&A ナンバー「3702-5873」を検索して参照できます。

### ■ARROWS Tab QH33/S

注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.124)をご覧ください。

品名		ARROWS Tab QH33/S
CPU注1		インテル® Atom™ プロセッサ Z3735F (インテル® バースト・テクノロジー対応)
メインメモリ注2		2GB (シングルチャンネル対応 DDR3L-1333)
無線 LAN注3	規格	IEEE 802.11b/g/n 準拠 (Wi-Fi® 準拠)注4
電源供給方式	ACアダプタ	入力 AC100V ~ 240V、出力 DC5V (2A)
	バッテリー	リチウムポリマ 20Wh
外形寸法 (幅×奥行×高さ) (突起部含まず)		126 × 215 × 9.9mm
本体質量注5		約 390g

タブレットの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

## 仕様一覧の注記について

注1 ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。

注2 メモリの交換、増設はできません。


注3 無線 LAN の仕様については、「無線 LAN」(→ P.91)をご覧ください。

注4 Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。

注5 各製品で質量が異なる場合があります。

## ■商標および著作権について

インテル、Intel、インテル Atom は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。  
McAfee、マカフィーは、米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。  
デジタルアーツ /DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター /i-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。  
デジブックは株式会社トリワークスの登録商標です。  
「メモリースティック」は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。

SDXC ロゴは、SD-3C, LLC. の商標です。 

ExpressCard™、ExpressCard™ ロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の商標で、富士通へライセンスされています。

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。 

Bluetooth® は、Bluetooth SIG の商標であり、富士通へライセンスされています。

Google、Google ロゴ、Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。

@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2014

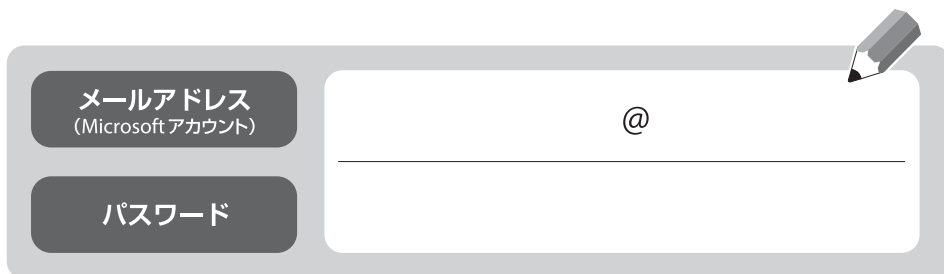
# Memo



## Microsoft アカウント

---

メールアドレス (Microsoft アカウント)、パスワードを記入してください。



The image shows a registration form for a Microsoft account. It features two dark grey buttons on the left: 'メールアドレス (Microsoft アカウント)' (Email address (Microsoft account)) and 'パスワード' (Password). To the right of these buttons is a large white input field with a horizontal line. Inside the input field, an '@' symbol is visible. A small pencil icon is positioned at the top right corner of the input field.

※第三者に漏れないよう充分に注意して管理してください。

---

### ARROWS Tab QH シリーズ

取扱説明書<詳細版>

B5FK-4771-01-02

発行日 2014年11月

発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

---

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

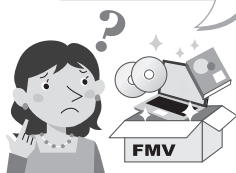


パソコン操作に困ったら、**お電話**ください。  
**プロ**がご自宅にお伺いし、解決します！

# 富士通パソコン出張サービス PC家庭教師

(有料)

セットアップって  
むずかしそう…  
やってくれないかな。



## パソコン 基本設定

めんどろなパソコンのセット  
アップは、お任せください！

14,300円(税込)～

ウイルス感染!?  
うちに来て、  
みてほしい。



## かけつけ診断

原因がわからないトラブルも  
プロが解決に導きます！

10,100円(税込)～※

デジカメの写真、  
どうやって  
プリントするの？



## 教えて パソコンレッスン

お客様の「したい」ことを  
丁寧に説明します！

14,300円(税込)～

(注) メニュー名、料金は、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※ 診断の結果、必要なリカバリ等の作業が発生した場合、別途費用が発生します。

通話料  
無料

みんな つなぐよ  
**0120-37-2794**

■ 受付時間：10時～19時 ■ 訪問時間：10時～20時 (有料サービス)

※ 携帯電話、PHSからも通話可能です。システムメンテナンスのため、休止させていただく場合がございます。

「PC家庭教師」は弊社指定のサービス会社をご自宅に伺い、その場でサポートする有料の出張サービスです。電話での技術相談をご希望の場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

「PC家庭教師」のほかにも、富士通の有料サービス「バリューplus」では、多彩なメニューをご用意しております。詳しくはホームページをご覧ください。

例 ● Word、Excelも電話で相談できるPCコンシェルジュサービス  
● 3年間メーカー延長保証サービス など

富士通 バリューplus

検索

